



ヨークベニマル iTERAN／AE 業務マニュアル【画面・詳細編】

【 第 1.2版 】

2020年11月20日

画面一覧

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. データ受信画面 | 26. 受領差異確認一覧画面 |
| 2. 受注一覧画面 | 27. 受領差異確認明細画面 |
| 3. 取引番号別数量訂正画面 | 28. 各種帳票出力画面 |
| 4. 商品別数量訂正画面 | 29. 受領データファイル出力画面 |
| 5. 電話受注入力画面 | 30. 受領訂正データファイル出力画面 |
| 6. 出荷確定画面 | 31. 請求予定作成画面 |
| 7. 出荷送信画面 | 32. 請求確定送信画面 |
| 8. 出荷梱包送信画面 | 33. 支払一覧画面 |
| 9. プルーフリスト出力画面 | 34. 請求リスト出力画面 |
| 10. 集計表リスト出力画面 | 35. 支払リスト出力画面 |
| 11. ピッキングリスト出力画面 | 36. 請求予定データファイル入力画面 |
| 12. 納品リスト出力画面 | 37. 請求データファイル出力画面 |
| 13. 受注データファイル出力画面 | 38. 支払データファイル出力画面 |
| 14. 受注データファイル入力画面 | 39. 支払法人マスタメンテ画面 |
| 15. 出荷確定データファイル出力画面 | 40. 発注者マスタメンテ画面 |
| 16. 出荷確定データファイル入力画面 | 41. 利用会社マスタメンテ画面 |
| 17. 集計表受注データファイル出力画面 | 42. 納品先マスター一覧画面 |
| 18. 検品システム連携ファイル出力画面 | 43. 納品先マスタメンテ画面 |
| 19. 大車輪SaaS連携ファイル出力画面 | 44. 商品マスター一覧画面 |
| 20. 検品システム連携ファイル入力画面 | 45. 商品マスタメンテ画面 |
| 21. 大車輪SaaS連携ファイル入力画面 | 46. 自動採番マスタメンテ画面 |
| 22. 直接納品先一括変更画面 | 47. 商品マスタファイル入力画面 |
| 23. 受領一覧画面 | 48. 納品先マスタファイル入力画面 |
| 24. 受領明細画面 | 49. 商品マスタファイル出力画面 |
| 25. 受領訂正明細画面 | 50. 納品先マスタファイル出力画面 |

画面名 データ受信

画面内容 受注、集計表受注、受領、受領訂正、支払データを受信します
受信と同時に各種帳票を出力することができます

画面レイアウト

【出荷伝票タイプ】

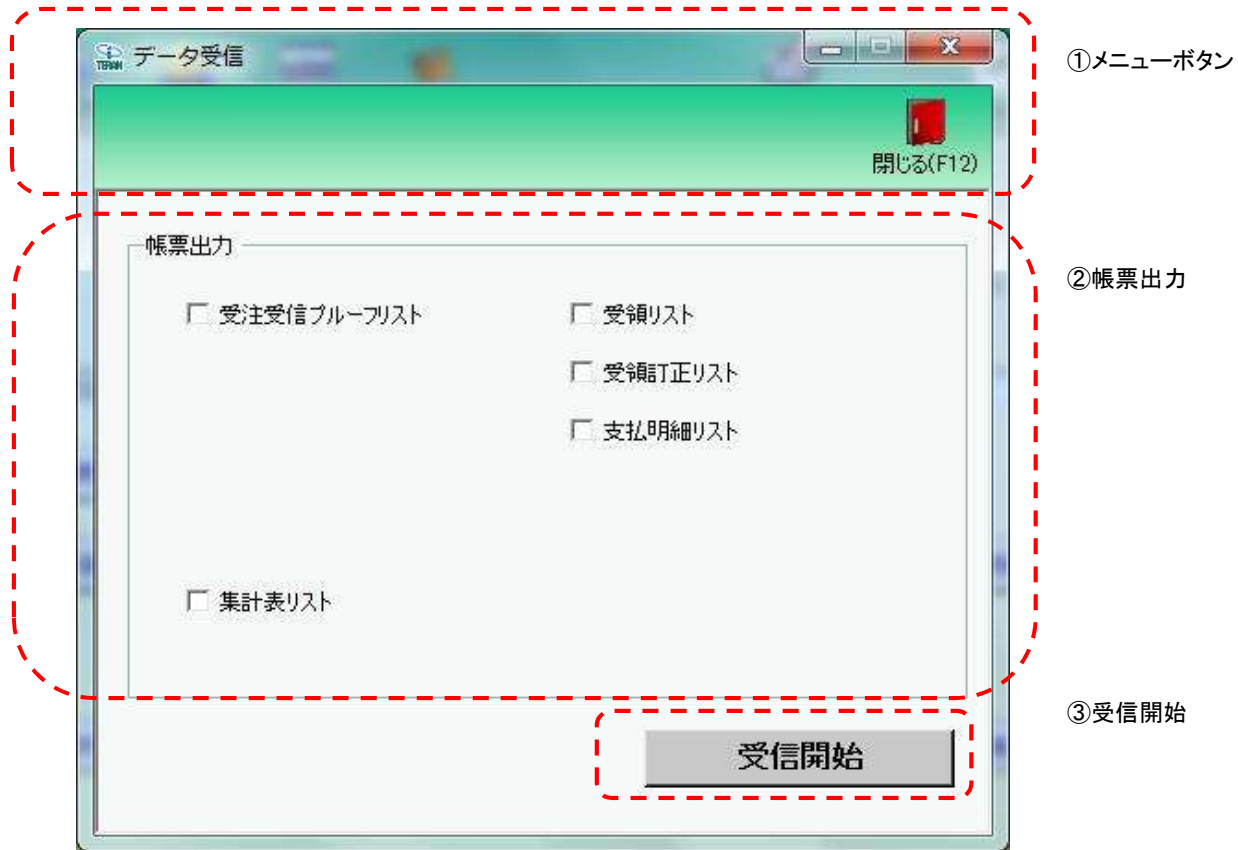
The screenshot shows a Windows-style window titled 'データ受信' (Data Reception). The window has a green header bar with a red 'X' button and the text '開じる(F12)'. Below the header is a white area with a list of checkboxes under the heading '帳票出力' (Print Output). The checkboxes are arranged in two columns:
Left column:
☐ 受注受信ブルーリスト
☐ 納品先別ピッキングリスト
☐ 商品別縦並びピッキングリスト
☐ 商品別横並びピッキングリスト
☐ 納品明細書
☐ 集計表リスト
Right column:
☐ 受領リスト
☐ 受領訂正リスト
☐ 支払明細リスト
At the bottom right of the window is a button labeled '受信開始' (Start Reception).
Callouts on the right side of the window:
①メニューボタン (Menu button) points to the red 'X' button.
②帳票出力 (Print output) points to the list of checkboxes.
③受信開始 (Start reception) points to the '受信開始' button.

画面名 データ受信

画面内容 受注、集計表受注、受領、受領訂正、支払データを受信します
受信と同時に各種帳票を出力することができます

画面レイアウト

【出荷梱包タイプ】



画面名	データ受信
-----	-------

画面操作方法

◆データを受信する

- ①.受信と同時に出力する帳票を選択します
- ②.『受信開始』ボタンを押すことで受信が開始されます

画面名 受注一覧画面

画面内容 オンライン受信した受注データを一覧表示します
詳細ボタンから取引番号別数量訂正画面を表示することにより、数量等の訂正を行うこともできます

画面レイアウト

The screenshot shows a software window titled '受注一覧' (Order List). It features a menu bar at the top with a red 'X' icon and the text '閉じる(F12)'. Below the menu bar is a search section with a label '対象期間' (Target Period) and two date input fields: '納品年月日' (Delivery Date) with values '10000101' and '30000101', and a '検索' (Search) button. Below the search section is a filter section with a label '絞込条件' (Filter Conditions) and five dropdown menus: '納品店舗' (Delivery Store) with '08505町北町', '直接納品先' (Direct Delivery Destination) with '0899982700:福島TC', '伝票番号' (Invoice Number) with '02606521', '取引先' (Customer) with '999999:株式会社テスト取', and '状況' (Status) with '0:未確定'. Below the filter section is a table titled '受注一覧' (Order List) with columns: '詳細' (Details), '納品年月日' (Delivery Date), '納品店舗' (Delivery Store), '直接納品先' (Direct Delivery Destination), '伝票番号' (Invoice Number), '取引先' (Customer), '商品区分' (Product Category), '発注区分' (Order Category), '原価金額合計' (Total Cost Amount), 'データ作成元' (Data Source), and '状況' (Status). The table contains one row of data: '詳細' (Details), '20150305', '08505町北町', '0899982700:福島', '02606521', '999999:株式会社', '02:準特価(中目)', '01:外注', '65,000', '0:オンライン受信', and '0:未確定'.

①メニューボタン

②対象期間

③絞込条件

④受注一覧

画面名	受注一覧画面
-----	--------

画面操作方法

- ◆ 受注データを一覧画面で確認する
 - ①.『対象期間』に表示対象の納品年月日を入力します
 - ②.『検索』ボタンを押すことで、「受注一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます
 - ③.「受注一覧」に表示したデータを絞り込むには、「絞込条件」を指定します
 - ④.『詳細』ボタンを押すことで、取引番号別数量訂正画面を開きます

画面名	受注一覧画面
-----	--------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
検索ボタン ※①メニューボタン	・「②対象期間」の『納品年月日』を条件に、「③絞込条件」内のコンボボックスを再作成、「④受注一覧」に該当データを表示します ※『検索』ボタン押下時に、「③絞込条件」内のコンボボックスに入力/選択されていた値をクリアします ※該当データが表示件数(14行)以上存在した時、「④受注一覧」にスクロールバーを表示します ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
対象期間 ※②対象期間	・『納品年月日』の条件は、以下のような指定が可能です 1.「“～”の左にあるテキストボックス指定」「“～”の右にあるテキストボックス未指定」⇒ 左のテキストボックスで指定した値以降全てを検索対象とします 2.「“～”の左にあるテキストボックス未指定」「“～”の右にあるテキストボックス指定」⇒ 右のテキストボックスで指定した値以前全てを検索対象とします 3.「“～”の左にあるテキストボックス指定」「“～”の右にあるテキストボックス指定」⇒ 左右のテキストボックスで指定した範囲内を検索対象とします ----- 初期表示状態 ・『納品年月日』の左のテキストボックスにのみシステム日付を表示 ・『納品年月日』テキストボックスが入力可能の状態 ・『検索』ボタン押下可能の状態
絞込条件 ※③絞込条件	・「④受注一覧」に表示されたデータを絞込ます ※「④受注一覧」にデータが表示されている状態でのみ指定可能です ※各条件コンボボックスで選択した値全てをAND条件とし『受注一覧』の絞込を行います、各条件コンボボックスの絞込は行いません ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」、『取引先』は「取引先コード」をそれぞれ検索キーとして用います ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います ただし、絞込処理は「コード」のみで行うため、選択した「コード:名称」のデータのみを表示することはできません ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態
受注一覧 ※④受注一覧	・「②対象期間」「③絞込条件」で指定した条件に該当するデータを表示します ・『詳細』ボタンを押下することで、取引番号別数量訂正画面を開きます ※取引番号別訂正画面での数量等訂正可否は、データの状況によって以下のように決定されます 状況： 送信済 ⇒ 数量等訂正不可 未確定 ⇒ 数量等訂正可能 確定済 ⇒ 数量等訂正可能 ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示

画面名	受注一覧画面
-----	--------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・オンライン受信した受注データ ・[電話受注入力]画面にて作成した受注データ ・[受注データファイル入力]画面にて入力した受注データ
---------	--

表示並び順	受注一覧 ※④絞込条件	納品年月日＞納品店舗コード＞直接納品先コード＞伝票番号＞取引先コード
	納品店舗 ※③絞込条件	納品店舗コード(昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先コード(昇順)
	伝票番号 ※③絞込条件	伝票番号(昇順)
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)
	状況 ※③絞込条件	状況(昇順) ※「0:未確定」>「1:確定済」>「2:送信済」の順

画面名	受注一覧画面
-----	--------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②対象期間	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	入力	※	日付チェック	左右どちらか入力必須
2	②対象期間	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	入力	※	日付チェック	左右どちらか入力必須
3	③絞込条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
4	③絞込条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	10/12			選択			
5	③絞込条件	伝票番号	取引番号(発注・返品)	半角文字	9			入力/選択		半角数字のみ	
6	③絞込条件	取引先	取引先コード／ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	6/12			選択			
7	③絞込条件	状況	該当データの状況を「0:未確定」「1: 確定済」「2:送信済」で表示する	半角文字/ 全角文字				選択			以下に従い表示 0:未確定 1:確定済 2:送信済
8	④受注一覧	納品年月日	最終納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
9	④受注一覧	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			不可			
10	④受注一覧	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	10/12			不可			
11	④受注一覧	伝票番号	取引番号(発注・返品)	半角文字	9			不可			
12	④受注一覧	取引先	取引先コード／ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	6/12			不可			
13	④受注一覧	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:プロパ(税込) 02:中目(税込) 03:目玉(税込) 04:プロパ(税抜) 05:中目(税抜) 06:目玉(税抜) 07:プロパ(非課税) 08:中目(非課税) 09:目玉(非課税)
14	④受注一覧	発注区分	発注区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:外注 02:内注 04:客注 05:要望対応 09:資材・制服
15	④受注一覧	原価金額合計	原価金額合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
16	④受注一覧	データ作成元	データ作成元	半角文字	1			不可			以下に従い表示 0:オンライン受信 1:電話受注画面作成 2:ファイル入力作成
17	④受注一覧	状況	該当データの状況を「0:未確定」「1: 確定済」「2:送信済」で表示する	全角文字				不可			以下に従い表示 0:未確定 1:確定済 2:送信済

画面名 取引番号別数量訂正画面

画面内容 取引番号別に数量等の訂正を行います

画面レイアウト

取引番号別数量訂正

②取引番号

伝票番号
00403093

伝票番号絞込条件
納品年月日 訂正納品年月日 納品店舗 直接納品先

取引情報

納品店舗コード	直接納品先コード	変動原価指示	配送パターン	納品経路	納品法人コード	契約法人コード	取引先コード	
納品店舗名	直接納品先名	TC/DC区分		不定買区分	納品法人名		取引先名	
08695	0899969500			02-センター納品	08	08	999999	
栃木センター	栃木センター			00:定貨	㈱ ヨークベニマル		株式会社テスト取引	
出荷送信区分	訂正後納品日	発注年月日	発注区分	帳票区分	税率	DPTコード	カード区分	旧伝票印字情報
部門コード	納品年月日	中部門	商品区分	便区分	税区分		DPT名	
02:出荷データ作成	20150304	20150303	01:外注	FE	8.0	002	03:発注始まり(TA)	
12	20150304	121	01:定番	01:1便	01:原価内税	分類サンプル002		

取引明細情報

商品コード	タグ品番	タグ元値	行	売場分類	色名称	ロット入数	発注数量	欠品数量	原価単価	出荷原価金額	
商品名称				品揃分類	サイズ名称	出荷ケース数	出荷数量		売価単価	出荷売価金額	
0410803420002			01	192		5.0	25.0	0.0	900.15	22,504	
YBサンプル商品01				7365		5	25.0		1,500	37,500	
0410803420026			02	192		1.0	1.0	0.0	900.00	900	
YBサンプル商品02				7365		1	1.0		1,500	1,500	
0410803420064			03	192		1.0	1.0	0.0	900.00	900	
YBサンプル商品03				7365		1	1.0		1,500	1,500	
4513574013483			04	192		2.0	4.0	0.0	900.12	3,600	
YBサンプル商品06				7365		2	4.0		1,500	6,000	
4513574013490			05	192		1.0	1.0	0.0	900.00	900	
YBサンプル商品07				7365		1	1.0		1,500	1,500	
087703174542			06	192		1.0	1.0	0.0	900.00	900	
YBサンプル商品33				7365		1	1.0		1,500	1,500	

原価金額合計 158,365

①メニュー
ボタン

③絞込条件

④取引情報

⑤取引明細

画面名	取引番号別数量訂正画面
-----	-------------

画面操作方法

- ◆訂正後納品日、出荷数量等の訂正を行う
 - ①『伝票番号』コンボボックスで訂正対象の伝票番号を入力・選択します
もしくは、『次へ・前へ』ボタンを押し、訂正対象の取引番号を表示します
 - ②『訂正後納品日』『出荷数量』等の訂正を行います
 - ③訂正が完了したら、『保存』ボタンを押すことで訂正を確定します

画面名	取引番号別数量訂正画面
-----	-------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合は、当該画面を終了後、[受注一覧]画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・『出荷数量』等の訂正された値を保存します ※保存後は、該当の取引番号を選択した状態のままになっており、「④取引情報」「⑤取引明細情報」には該当のデータが表示された状態になります ※訂正したデータのピッキングリスト発行状態が『発行済』であった場合、訂正を保存することで、ピッキングリストの発行状態は『未発行』になります ※訂正したデータが『出荷確定済』だった場合、訂正を保存することで、『出荷未確定』の状態になります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『出荷数量』等を訂正すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
前へボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『伝票番号』コンボボックス内の値で、表示されている伝票番号の一つ前の伝票番号を表示し、「④取引情報」「⑤取引明細情報」に該当のデータを表示します ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『伝票番号』コンボボックスに表示されている伝票番号より小さい伝票番号が『伝票番号』コンボボックス内に存在する状態になると押下可能になります ※一つ前の伝票番号がない場合、『前へ』ボタンは押下不可の状態になります ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合、押下不可の状態になります
次へボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『伝票番号』コンボボックス内の値で、表示されている伝票番号の一つ後の伝票番号を表示し、「④取引情報」「⑤取引明細情報」に該当のデータを表示します ※伝票番号が表示されていない時は、伝票番号コンボボックス内の一番上にある伝票番号を表示し、「④取引情報」「⑤取引明細情報」に該当のデータを表示します ----- 初期表示状態 ・『伝票番号』コンボボックス内に値が存在しない時 ⇒ 押下不可の状態 ・『伝票番号』コンボボックス内に値が存在した時 ⇒ 押下可能の状態 ※『伝票番号』コンボボックスに表示されている伝票番号より小さい伝票番号が『伝票番号』コンボボックス内に存在する状態になると、押下可能な状態になります ※一つ後の伝票番号がない場合、『次へ』ボタンは押下不可の状態になります ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合、押下不可の状態になります

機能名称	機能説明
伝票番号コンボボックス ※②取引番号	・『伝票番号』コンボボックスに値を入力後「Enterキー」を押下、『伝票番号』コンボボックスから値を選択、もしくは、『次へ』『前へ』ボタンを押下することで、該当のデータを「④取引情報」「⑤取引明細」に表示し、『出荷数量』が訂正可能な状態となります ※[受注一覧]画面から遷移してきて、表示対象データが送信済データだった場合、全てのデータは訂正不可の状態になります ※該当データが表示件数(6行)以上存在した時、「⑤取引明細」にスクロールバーを表示します ----- 初期表示状態 ・入力/選択可能な状態 ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合、[受注一覧]画面で選択した取引番号を表示し、入力/選択不可の状態になります
伝票番号絞込条件 ※③絞込条件	・伝票番号絞込条件コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、『伝票番号』コンボボックスの絞込を行います ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」を検索キーとして用います ※各条件コンボボックスの選択と同時に『伝票番号』コンボボックスの絞込を行います、各条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード: 名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態 ※[受注一覧]画面から遷移してきた場合、選択不可の状態になります
取引情報 ※④取引情報	・入力・選択された伝票番号に該当する伝票ヘッダデータを表示します ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態
取引明細情報 ※⑤取引明細	・入力・選択された伝票番号に該当する伝票明細データを表示します ・出荷確定済データを表示した時、各項目を赤字で囲み表示します ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

画面名	取引番号別数量訂正画面
-----	-------------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ◆[受注一覧]画面から遷移してきた場合 ・オンライン受信した受注データ ※「出荷確定済」のデータ表示時には、「⑤取引明細情報」の各項目を赤枠で囲み表示します ◆受注/出荷業務メニューから遷移してきた場合 ・オンライン受信した受注データで、「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ
---------	--

表示並び順	伝票番号 ※②取引番号	伝票番号[取引番号](昇順)
	納品年月日 ※③絞込条件	着荷指定日[最終納品先納品日](降順)
	訂正納品年月日 ※③絞込条件	訂正納品年月日[訂正後直接納品先納品日](降順)
	納品店舗 ※③絞込条件	納品店舗コード[最終納品先コード](昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先コード(昇順)
	取引明細情報 ※⑤取引明細	行(昇順)

画面名	取引番号別数量訂正画面
-----	-------------

画面項目内容											
No	表示グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②取引番号	伝票番号	取引番号	半角文字	10			入力/選択	○	半角数字のみ	
2	③絞込条件	納品年月日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	選択			
3	③絞込条件	訂正納品年月日	訂正後直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	選択			
4	③絞込条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字	13/20			選択			
5	③絞込条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字	13/20			選択			
6	④取引情報	納品店舗コード	最終納品先コード	半角文字	13			不可		半角数字のみ	
7	④取引情報	納品店舗名	最終納品先名称	全角文字	20			不可			
8	④取引情報	直接納品先コード	直接納品先コード	半角文字	13			入力/選択	○	半角数字のみ	
9	④取引情報	直接納品先名	直接納品先名称	全角文字	20			入力			
10	④取引情報	変動原価指示	取引付属番号	半角文字	10			不可			以下に従い出力 1:変動原価
11	④取引情報	TC/DC区分	通過在庫区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 02:預かりDC
12	④取引情報	配送パターン	直接納品先名称カナ	半角文字	20			不可			
13	④取引情報	納品経路	納品経路	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:店舗直納 02:センター納品
14	④取引情報	不定貴区分	不定貴区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:定貴 01:不定貴
15	④取引情報	納品法人コード	発注者コード	半角文字	13			不可			
16	④取引情報	納品法人名	発注者名称	全角文字	20			不可			
17	④取引情報	契約法人コード	支払法人コード	半角文字	13			不可			
18	④取引情報	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			不可			
19	④取引情報	取引先名	取引先名称	全角文字	20			不可			
20	④取引情報	出荷送信区分	出荷データ有無区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:出荷データ作成要 02:出荷データ作成不要
21	④取引情報	部門コード	商品分類(中)	半角文字	10			不可			
22	④取引情報	訂正後納品日	訂正後直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	入力		日付チェック	
23	④取引情報	納品年月日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
24	④取引情報	発注年月日	発注日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
25	④取引情報	中部門	カテゴリ名称1(印字用)	全角文字	5			不可			
26	④取引情報	発注区分	発注区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:外注 02:内注
27	④取引情報	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
28	④取引情報	帳票区分	自由使用欄半角カナ	半角文字	60			不可			

No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
29	④取引情報	便区分	便No	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:無指定 01:1便 02:2便 03:3便
30	④取引情報	税区分	税区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:無指定 01:原価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
31	④取引情報	税率	税率	数値	2	1	Z9.9	不可			
32	④取引情報	DPTコード	商品分類(大)	半角文字	10			不可			
33	④取引情報	カード区分	処理種別	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:出荷始まり(手書き) 03:発注始まり(TA) 05:受領訂正
34	④取引情報	旧伝票印字情報	ラベル自由使用欄半角カナ(印字用)	半角文字	60			不可			
35	④取引情報	DPT名	自由使用欄	全角文字	60			不可			
36	⑤明細切替	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			不可			
37	⑤明細切替	商品名称	商品名	全角文字	25			不可			
38	⑤明細切替	タグ品番	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
39	⑤明細切替	タグ元値	規格カナ	半角文字	25			不可			
40	⑤明細切替	行	取引明細番号(発注・返品)	半角文字	4			不可			
41	⑤明細切替	売場分類	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
42	⑤明細切替	品揃分類	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
43	⑤明細切替	色名称	カラー名称	半角文字	20			不可			
44	⑤明細切替	サイズ名称	サイズ名称	全角文字	30			不可			
45	⑤明細切替	セット入数	発注単位	数値	3	1	ZZ9.9	不可			
46	⑤明細切替	出荷ケース数	出荷数量(発注単位数)	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
47	⑤明細切替	発注数量	発注数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
48	⑤明細切替	出荷数量	出荷数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	入力	○	数値のみ	
49	⑤明細切替	欠品数量	欠品数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
50	⑤明細切替	原価単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.Z9	入力	○	数値のみ	
51	⑤明細切替	売価単価	売単価	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	入力	○	数値のみ	
52	⑤明細切替	出荷原価金額	出荷原価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
53	⑤明細切替	出荷売価金額	出荷売価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
合計表示											
54	⑤明細切替	数量合計	数量合計	数値	6		ZZZ,ZZ9	不可			
55	⑤明細切替	原価金額合計	原価金額合計	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
56	⑤明細切替	売価金額合計	売価金額合計	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 商品別数量訂正

画面内容

商品別に数量等の訂正を行います

画面レイアウト

商品別数量訂正

②商品コード

商品コード 4548175382287

商品コード絞込条件

納品年月日 訂正納品年月日 納品店舗 直接納品先 伝票番号

商品別一覧

タグ品番	タグ元値	発注年月日	伝票番号	明細番号	商品区分	原価単価	セト入数	出荷ケース数	出荷原価金額
商品名称		納品年月日	納品店舗	売場分類	発注区分	売価単価	発注数量	出荷数量	出荷売価金額
色名称	サイズ名称	訂正納品日	直接納品先	品揃分類	DPT	変動原価指示	欠品数量	部門コード	帳票区分
71105	631	20150304	00403130	02	01:定番	485.50	4.0	4	7,768
YBサンプル商品13		20150305	08671:鹿沼	631	02:内注	798	16.0	16.0	12,768
白	M	20150305	08671:鹿沼	4000	001:分類サンプル		0.0	12	FE
		20150304	00403163	02	01:定番	485.50	4.0	4	7,768
YBサンプル商品13		20150304	08770:山形深町	631	02:内注	798	16.0	16.0	12,768
		20150304	08770:山形深町	4000	001:分類サンプル	1:変動原価	0.0	11	FE
		20150304	00403174	02	01:定番	485.50	4.0	4	7,768
YBサンプル商品13		20150305	08680:いわきセン	631	02:内注	798	16.0	16.0	12,768
		20150305	0899968000:いわ	4000	001:分類サンプル		0.0	11	FE

原価金額合計 23,304

全行の出荷数量を0に一括で変更

設定

①メニュー
ボタン

③絞込条件

④商品別
一覧

⑥全行一括
入力

画面名	商品別数量訂正
-----	---------

画面操作方法

◆ 出荷数量等の訂正を行う

- ①.『商品コード』コンボボックスで訂正対象の商品コードを入力・選択します
- ②.『出荷数量』等の訂正を行います
- ③.訂正が完了したら、『保存』ボタンを押すことで訂正を確定します

画面名	商品別数量訂正
-----	---------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・『出荷数量』等の訂正された値を保存します ・保存後は、『商品コード』コンボボックス、「④商品別一覧」をクリアします ※「②商品コード絞込条件」で選択していた値は保持します ※訂正したデータのピッキングリスト発行状態が『発行済』であった場合、訂正を保存することで、ピッキングリストの発行状態は『未発行』になります ※訂正したデータが『出荷確定済』だった場合、訂正を保存することで、訂正したデータのみが『出荷未確定』になります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『出荷数量』等を訂正すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
商品コードコンボボックス ※②発注者商品コード	・『商品コード』コンボボックスに値を入力後「Enterキー」を押下、もしくは『商品コード』コンボボックスから値を選択することで、選択した商品コードに対応するデータを「④商品別一覧」に表示し、『出荷数量』等が訂正可能な状態になります ----- 初期表示状態 ・入力/選択可能な状態
商品コード絞込条件 ※③絞込条件	・商品コード絞込条件コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、『商品コード』コンボボックスの絞込を行います ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」を検索キーとして用います ※各条件コンボボックスの選択と同時に『商品コード』コンボボックスの絞込は行いますが、各条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード: 名称」となっているコンボボックスでは、「コード: 名称」で重複判断を行います ただし、絞込処理は「コード」のみで行うため、選択した「コード: 名称」のデータのみを表示することはできません ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態
商品別一覧 ※④商品別一覧	・入力・選択された商品コードに該当する伝票データを表示します ※出荷確定済データを表示した時、出荷確定済データのみを赤枠で囲み表示します ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態
設定ボタン ※⑤全行一括入力	・警告メッセージ表示後、全行の出荷数量を“0”に訂正します ※スクロールバーで表示可能なデータも訂正対象に含みます ----- 初期表示状態 ・押下不可な状態 ※「④商品別一覧」にデータが表示されると、『設定』ボタンが表示され、押下可能な状態になります

画面名	商品別数量訂正
-----	---------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・オンライン受信した受注データで、「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ ※「出荷確定済」のデータ表示時には、「④商品別一覧」の各項目を赤枠で囲み表示します
---------	--

表示並び順	納品年月日 ※③絞込条件	納品年月日[最終納品先納品日](降順)
	訂正納品年月日 ※③絞込条件	訂正納品年月日[訂正後直接納品先納品日](降順)
	納品店舗 ※③絞込条件	納品店舗コード[最終納品先コード](昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先コード(昇順)
	伝票番号 ※③絞込条件	伝票番号(昇順)
	商品別一覧 ※④商品別一覧	伝票番号＞明細番号

自動計算	出荷数量入力 ※⑤取引明細	出荷数量に値を入力/変更することで、以下の項目が自動的に計算され表示されます 《画面表示項目》 ・出荷ケース数＝(出荷数量÷発注単位)の小数部切上 ・欠品数量＝発注数量－出荷数量 ※発注数量－出荷数量<0となる場合は、欠品数量＝0とします ・出荷原価金額＝(出荷数量×原単価)の小数部四捨五入 ・出荷売価金額＝(出荷数量×売単価)の小数部四捨五入 ・数量合計＝出荷数量合計の小数部四捨五入 ・原価金額合計＝出荷原価金額合計 《画面非表示項目》 ・発注単位数量合計＝発注単位数の合計 ・欠品数量(発注単位数)＝発注数量(発注単位数)－出荷数量(発注単位数) ※発注数量－出荷数量<0となる場合は、欠品数量(発注単位数)＝0とします
	原価単価入力 ※⑤取引明細	原価単価に値を入力/変更することで、以下の項目が自動的に計算され表示されます 《画面表示項目》 ・出荷原価金額＝(出荷数量×原価単価)の小数部四捨五入 ・原価金額合計＝出荷原価金額合計
	売価単価入力 ※⑤取引明細	売価単価に値を入力/変更することで、以下の項目が自動的に計算され表示されます 《画面表示項目》 ・出荷売価金額＝(出荷数量×売価単価)の小数部四捨五入 《画面非表示項目》 ・売価金額合計＝出荷売価金額合計

画面名	商品別数量訂正
-----	---------

画面項目内容											
No	表示グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②発注商品	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			入力・選択	○	半角数値のみ 必須チェック	
2	③絞込条件	納品年月日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	選択			
3	③絞込条件	訂正納品年月日	訂正後直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	選択			
4	③絞込条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字／ 全角文字	13/20			選択			
5	③絞込条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字／ 全角文字	13/20			選択			
6	③絞込条件	伝票番号	取引番号(発注・返品)	半角文字	10			選択			
7	④商品一覧	タグ品番	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
8	④商品一覧	タグ元値	規格カナ	半角文字	25			不可			
9	④商品一覧	商品名称	商品名	全角文字	25			不可			
10	④商品一覧	色名称	カラー名称	半角文字	20			不可			
11	④商品一覧	サイズ名称	サイズ名称	全角文字	30			不可			
12	④商品一覧	発注年月日	発注日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
13	④商品一覧	納品年月日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
14	④商品一覧	訂正納品日	訂正後直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
15	④商品一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
16	④商品一覧	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字	13/20			不可			
17	④商品一覧	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字	13/20			不可			
18	④商品一覧	明細番号	取引明細番号(発注・返品)	半角文字	4			不可			
19	④商品一覧	売場分類	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
20	④商品一覧	品揃分類	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
21	④商品一覧	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
22	④商品一覧	発注区分	発注区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:外注 02:内注
23	④商品一覧	DPT	商品分類(大)／ 自由使用欄	半角文字／ 全角文字	10/60			不可			
24	④商品一覧	原価単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.Z9	入力	○	数値のみ	
25	④商品一覧	売価単価	売単価	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	入力	○	数値のみ	
26	④商品一覧	変動原価指示	取引付属番号	半角文字	10			不可			以下に従い出力 1:変動原価
27	④商品一覧	セット入数	発注単位	数値	3	1	ZZ9.9	不可			
28	④商品一覧	発注数量	発注数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
29	④商品一覧	欠品数量	欠品数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
30	④商品一覧	出荷ケース数	出荷数量(発注単位数)	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
31	④商品一覧	出荷数量	出荷数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	入力	○	数値のみ	
32	④商品一覧	部門コード	商品分類(中)	半角文字	10			不可			
33	④商品一覧	出荷原価金額	出荷原価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
34	④商品一覧	出荷売価金額	出荷売価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
35	④商品一覧	帳票区分	自由使用欄半角カナ	半角文字	60			不可			

合計表示											
36	④商品一覧	数量合計	該当商品の数量合計	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
37	④商品一覧	重量合計	該当商品の重量合計	数値	10	3	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9,999	不可			
38	④商品一覧	原価金額合計	該当商品の原価金額合計	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
39	⑤全行一括	全行の出荷数量を0に一括で変更						不可			
画面非表示項目											
40	画面非表示	売価金額合計	売価金額合計	数値	10	0		不可			保存時に自動計算される
41	画面非表示	発注単位数量合計	発注単位数量合計	数値	6	0		不可			保存時に自動計算される
42	画面非表示	欠品数量 (発注単位数)	欠品数量 (発注単位数)	数値	6	1		不可			保存時に自動計算される

画面名 電話受注入力

画面内容 オンライン受注以外(電話、FAX)の受注データの新規作成・変更・削除を行います
受注データファイル入力にて入力した受注データに関しては、削除のみ行うことができます

画面レイアウト

◆ヘッダ入力

電話受注入力

自動採番(F8) ②伝票番号 保存(F4) 取消(F9) 商品マスタ(F10) 閉じる(F12)

伝票番号 0000011 明細入力 (Shift+PageDown)

取引情報

納品店舗コード	直接納品先コード	納品経路	納品法人コード	契約法人コード	取引先コード		
08671:鹿沼	08671:鹿沼	01:店舗直納	08:ヨークベニマル	08:ヨークベニマル	999999:テスト取引		
鹿沼	鹿沼	00:定貨	ヨークベニマル		テスト取引先		
部門コード	訂正後納品日	発注年月日	発注区分	帳票区分	税率	DPTコード	中部門
05	20191205	20191204	02:内注	便区分	税区分	10.0 005	051
			01:定番	00:無指定	01:原価内税	加工食品	

行追加

取引明細情報

商品コード	商品名称	行	売場分類	サイズ名称	セット入数	発注数量	欠品数量	原価単価	出荷原価金額	削除
			品揃分類	色名称	出荷ケース数	出荷数量		売価単価	出荷売価金額	
		01								削除

原価金額合計 0

①メニュー
ボタン

③取引情報

④取引明細

画面レイアウト

◆明細入力

電話受注入力

自動採番(F8)

②伝票番号

削除(F9)

保存(F4)

取消(F9)

商品マスタ(F10)

閉じる(F12)

伝票番号

0000011

ヘッダ入力
(Shift+PageUp)

取引情報

納品店舗コード	直接納品先コード		納品経路	納品法人コード変更	契約法人コード	取引先コード	
納品店舗名	直接納品先名		不定貫区分	納品法人名		取引先名	
08671:鹿沼	08671:鹿沼		01:店舗直納	08:ヨークベニマル	08:ヨークベニマル	999999:テスト取引	
鹿沼	鹿沼		00:定貫	ヨークベニマル		テスト取引先	
部門コード	訂正後納品日	発注年月日	発注区分	帳票区分	税率	DPTコード	中部門
	納品年月日		商品区分	便区分	税区分		DPT名
05		20191204	02:内注		10.0	005	051
	20191205		01:定番	00:無指定	01:原価内税	加工食品	

行追加

取引明細情報

商品コード	商品名称	行	売場分類	サイズ名称	セット入数	発注数量	欠品数量	原価単価	出荷原価金額	削除
			品揃分類	色名称	出荷ケース数	出荷数量		売価単価	出荷売価金額	
0410803420002		01	303	L	1.0	0.0	0.0	1,110.15	27,754	削除
YBサンプル商品01			0325	白	25	25.0		1,210	30,250	削除
0410803420021		02	303	M	5.0	0.0	0.0	2,350.04	11,750	削除
YBサンプル商品02			0325	D青	1	5.0		2,500	12,500	削除
0410803420064		03	303	L	15.0	0.0	0.0	772.00	23,160	削除
YBサンプル商品03			0325	L赤	2	30.0		840	25,200	削除
4513574013488		04	303	LL	1.0	0.0	0.0	1,100.00	4,400	削除
YBサンプル商品06			0325	黒	4	4.0		1,200	4,800	削除
4513574013491		05	303	M	1.0	0.0	0.0	1,340.00	1,340	削除
YBサンプル商品07			0325	D青	1	1.0		1,540	1,540	削除
4560210812161		06	303		15.0	0.0	0.0	410.00	6,150	削除
YBサンプル商品25			0325		1	15.0		490	7,350	削除

原価金額合計

74,554

①メニュー
ボタン

③取引情報

④取引明細

画面操作方法

◆伝票番号を自動で採番して、新規作成する

- ①『自動採番』ボタンを押すことで、『伝票番号』コンボボックスに自動的に出荷管理番号が採番され、「取引情報」欄がデータ入力可能な状態になります
※自動採番マスタは予め設定しておく必要があります
- ②『納品店舗コード』等を入力/選択します
- ③『明細入力』ボタンを押し、『取引明細情報』欄をデータ入力可能な状態にします
- ④『商品コード』コンボボックスから該当の『商品コード』を選択し、『出荷数量』等の入力/選択を行います
- ⑤入力が完了したら、『保存』ボタンを押すことで新規作成データを保存します

◆伝票番号を手動で入力して、新規作成する

- ①『伝票番号』コンボボックスに手動で伝票番号を入力し『新規』ボタンを押すことで、「取引情報」欄がデータ入力可能な状態になります
※自動採番マスタの設定は必要ありません
- ②『納品店舗コード』等を入力/選択します
- ③『明細入力』ボタンを押し、『取引明細情報』欄をデータ入力可能な状態にします
- ④『商品コード』コンボボックスから該当の『商品コード』を選択し、『出荷数量』等の入力/選択を行います
- ⑤入力が完了したら、『保存』ボタンを押すことで新規作成データを保存します

◆作成したデータを変更/削除する

- ①変更/削除対象の伝票番号を『伝票番号』コンボボックスに入力/選択します
- ②①で選択した伝票番号のデータを変更する場合は『変更』ボタンを、
削除する場合は『削除』ボタンを押下します
- ③②で『変更』ボタンを押下した時は、『出荷数量』等の訂正を行います
また、行を削除する場合は、対象の行の『削除』ボタンを、行を追加する場合は『行追加』ボタンを押下します
- ④『保存』ボタンを押下し、「変更」「削除」を確定します

画面名	電話受注入力
-----	--------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
自動採番ボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・伝票番号を自動採番して電話受注データの新規作成を行います ■「自動採番マスタ」の登録を行っている場合 「自動採番マスタ」を参照して、採番可能な「伝票番号」を自動的に採番します 自動採番機能を使用する場合も、採番した「伝票番号」が既に登録されていないかのチェックを行います ※「次回採番番号」が指定された「最大値」を超えた時は、「最小値」から採番を行います *チェックOKだった場合、画面を下記の状態にし、新規作成が行えるようになります ・『自動採番』『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『伝票番号』コンボボックスを入力/選択不可 ・『明細入力』ボタンを押下可能 ・「③取引情報」を入力/選択可 *チェックNGだった場合、「次回採番番号」+1を採番し、再度チェックを行います ※「次回採番番号」から+1000した番号まで全てが登録済みであった場合は、自動採番を停止し、 「次回採番番号の検索回数を超過しました 自動採番マスタにて【次回採番番号】を見直してください」とメッセージが表示され、初期画面に戻ります ■「自動採番マスタ」の登録を行っていない場合 「自動採番マスタの登録をしてください」とメッセージが表示され、初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・手入力した伝票番号で電話受注データの新規作成を行います ■『伝票番号』コンボボックスに「伝票番号」を入力した状態で『新規』ボタンを押下した場合 入力された「伝票番号」が既に登録されていないかチェックを行います ※チェックは、オンライン受信した受注データも含めた全データ(出荷未確定・確定済・送信済)で、同じ「伝票番号」があるかどうかのチェックを行います *チェックOKだった場合、画面を下記の状態にし、新規作成が行えるようになります ・『自動採番』『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『伝票番号』コンボボックスを入力/選択不可 ・『明細入力』ボタンを押下可能 ・「③取引情報」を入力/選択可 *チェックNGだった場合、「入力した伝票番号は既に存在しているため、作成できません」とメッセージを表示し、初期画面に戻ります ※「伝票番号」を指定して新規作成を行った場合は、「自動採番マスタ」でチェックデジットを指定していたとしても、 チェックデジットは自動的には付与されません ■『伝票番号』コンボボックスが空の状態でも『新規』ボタンを押下した場合 「伝票番号を入力してください」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・[電話受注入力]画面にて作成したデータの変更を行います ※[受注データファイル入力]画面にて入力したデータの変更は行えません ■『伝票番号』コンボボックスに「伝票番号」を入力した状態で『変更』ボタンを押下した場合 *入力された「伝票番号」が、[電話受注入力]画面にて作成したデータで、出荷未確定・確定済のデータが存在するかどうかのチェックを行います 「伝票番号」のチェックOKだった場合、画面を下記状態にし、変更が行えるようになります ・『自動採番』『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『伝票番号』コンボボックスを入力/選択不可 ・『明細入力』ボタンを押下可能 ・「③取引情報」を入力/選択可 *入力された「伝票番号」が[受注データファイル入力]画面にて入力したデータだった場合、 「受注データ入力画面で入力したデータの変更を行うことはできません」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります *[電話受注入力]画面にて作成したデータで、出荷未確定・確定済のデータが存在しなかった場合、 「入力・選択した伝票番号は存在しないため、変更処理は行えません」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります ■『伝票番号』コンボボックスが空の状態で『変更』ボタンを押下した場合 「伝票番号を入力してください」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能な状態
削除ボタン ※①メニューボタン ★F10ボタンで利用可能	・[電話受注入力]画面にて作成したデータ、及び[受注データファイル入力]画面にて入力したデータの削除を行います ■『伝票番号』コンボボックスに「伝票番号」を入力した状態で『削除』ボタンを押下した場合 *入力された「伝票番号」が、[電話受注入力]画面にて作成したデータ、及び[受注データファイル入力]画面にて入力したデータで、 出荷未確定・確定済のデータが存在するかどうかのチェックを行います チェックOKだった場合、画面を下記の状態にし、削除が行えるようになります ・『自動採番』『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『伝票番号』コンボボックスを入力/選択不可 ・『明細入力』ボタンを押下不可 ・「③取引情報」「⑤取引明細情報」を入力/選択不可 *チェックNGだった場合、「入力・選択した伝票番号は存在しないため、削除処理は行えません」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります ■『伝票番号』コンボボックスが空の状態で『削除』ボタンを押下した時★ 「伝票番号を入力してください」とメッセージ表示され、初期画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	★『自動採番』『新規』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・新規に入力されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『変更』ボタン押下によって『保存』ボタンを表示した時★ ・変更されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ※訂正したデータのピッキングリスト発行状態が『発行済』であった場合、訂正を保存することで、各種帳票の発行状態は『未発行』になります ※変更したデータが『出荷確定済』だった場合、変更を保存することで、『出荷未確定』の状態になります ★『削除』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・選択された「伝票番号」のデータを削除します ※削除後は初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『自動採番』『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ※データ編集中であった場合も、警告無しに全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『自動採番』『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『取消』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
商品マスタボタン ※①メニューボタン ★F10ボタンで利用可能	・[商品マスター一覧]画面を開きます - 当画面から「商品マスタ」の新規/変更/削除が可能です ・操作方法等は、[マスタメンテナンス業務]⇒[商品マスター一覧]画面と同じになりますが、『閉じる』ボタンを押下した時の処理のみ異なります ★[電話受注入力]画面から開いた場合の『閉じる』ボタン動作★ ・[電話受注入力]画面に戻ります ※[電話受注入力]画面の編集中に『商品マスタ』ボタンを押下した場合は、[電話受注入力]画面には、編集内容を保持した状態で戻ります ★[マスタメンテナンス業務]から開いた場合の『閉じる』ボタン動作 ・[マスタメンテナンス業務]に戻ります ・当該ボタンから行った「商品マスタ」の新規/変更/削除データは、[電話受注入力]画面に戻って直ぐに反映され、使用することができます ※『商品コード』コンボボックスで既に「商品コード」を選択している場合は、再度、「商品コード」を選択することによって、「商品名称」等の変更された値を反映させることができます ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
伝票番号コンボボックス ※③取引情報	・『伝票番号』コンボボックスに値を入力/選択後、『新規』『変更』『削除』ボタンを押下することで、各処理を開始することができます ※自動採番機能を使用する場合は、空の状態ですべて『新規』ボタンを押下します ----- 初期表示状態 ・入力/選択可能な状態

機能名称	機能説明
明細入力ボタン ※③取引情報 ★Shift+PageDownボタンで利用可能	・「③取引情報」欄を入力不可の状態にし、「⑤取引明細情報」欄を入力可能な状態に切り替えます ・なお、画面の切替前にエラー/必須項目のチェックを行い、必須項目が全て入力/選択されていない場合は、警告メッセージ表示され、画面切替を行うことはできません ・当ボタン押下後、当ボタンを押下不可に、『ヘッダ入力』ボタンを押下可能な状態にします 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『自動採番』『新規』『変更』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
ヘッダ入力ボタン ※④取引明細 ★Shift+PageUpボタンで利用可能	・「⑤取引明細情報」欄を入力不可の状態にし、「③取引情報」欄を入力可能な状態に切り替えます ・なお、画面の切替前にエラー/必須項目のチェックを行い、必須項目が全て入力/選択されていない場合は、警告メッセージ表示され、画面切替を行うことはできません 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『明細入力』ボタンを押下することで、押下可能な状態になります
取引情報 ※③取引情報	・入力・選択された出荷管理番号に該当する伝票ヘッダデータを表示します ★『自動採番』『新規』『変更』ボタンを押下した場合★ 各項目が入力/選択可能な状態になります ★『削除』ボタンを押下した場合★ 各項目は入力/選択不可な状態になります ・『契約法人コード』コンボボックスには、[支払法人マスタメンテ]画面にて登録した「支払法人コード」を表示します ・『納品法人コード』コンボボックスには、[発注者マスタメンテ]画面にて登録した「発注者コード」を表示します ・『納品法人コード』コンボボックスを選択することで、「⑤取引明細情報」の『商品コード』コンボボックスを以下の条件で絞込を行います “選択した発注者選択に紐づくSKUコード”または“発注者選択が指定されていないSKUコード” ※発注者選択を指定していない商品コードと、指定している商品コードが同じ商品マスタデータが存在した場合、 発注者選択を指定して登録した方の商品マスタデータを表示します ・一度、『明細入力』ボタンを押下した後に『ヘッダ入力へ』ボタンを押下した場合、「納品法人コード」を変更すると、警告メッセージ後に「⑤取引明細情報」欄に入力した値は全て削除され、初期状態に戻ります 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

機能名称	機能説明
取引明細情報 ※④取引明細	・入力・選択された出荷管理番号に該当する伝票明細データを表示します ※出荷確定済データを表示した時、各項目を赤枠で囲み表示します ★『新規』『変更』ボタンを押下した場合★ 各項目が入力/選択可能な状態になります ★『削除』ボタンを押下した場合★ 各項目は入力/選択不可な状態になります ・『商品コード』コンボボックスはコードを手入力して「Enterキー」を押すことによって、コンボボックス内から該当するデータを選択することが出来ます ・『商品コード』コンボボックスを選択することで、商品マスタに登録している値で、該当行の「商品名称」等の項目を自動的に補完し表示します ※画面に表示されていない項目も、商品マスタのデータで補完します ・データを削除する場合は、『削除』ボタンを押下します ※残りの行が1行の場合は、削除することはできません ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態
行追加ボタン ※④取引明細	・明細行を最大9行まで追加します ※商品コードが空の行は、保存されません ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態

画面名	電話受注入力
-----	--------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・[電話受注]画面にて作成した受注データ(出荷未確定、確定済のみ) ・[受注データファイル入力]画面にて入力した受注データ(出荷未確定、確定済のみ) ※「出荷確定済」のデータ表示時には、「⑤取引明細情報」の各項目を赤枠で囲み表示します ※[受注データファイル入力]画面にて入力した受注データは削除のみが可能です	
表示並び順	取引明細情報 ※⑤取引明細	行(昇順)
自動計算	原価単価入力 ※⑤取引明細	原価単価に値を入力/変更することで、右記の項目が自動的に計算され表示されます ≪画面表示項目≫ ・出荷原価金額＝(出荷数量×原単価)の小数部四捨五入 ・出荷原価金額合計＝出荷原価金額合計
	売価単価入力 ※⑤取引明細	売価単価に値を入力/変更することで、右記の項目が自動的に計算され表示されます ≪画面表示項目≫ ・出荷売価金額＝(出荷数量×売単価)の小数部四捨五入 ・出荷売価金額合計＝出荷売価金額合計
	出荷数量入力 ※⑤取引明細	出荷数量に値を入力/変更することで、右記の項目が自動的に計算され表示されます ≪画面表示項目≫ ・出荷ケース数＝(出荷数量÷発注単位)の小数部切上 ・欠品数量＝発注数量－出荷数量 ※発注数量－出荷数量＜0となる場合は、欠品数量＝0とします ・出荷原価金額＝(出荷数量×原単価)の小数部四捨五入 ・出荷売価金額＝(出荷数量×売単価)の小数部四捨五入 ・数量合計＝出荷数量合計の小数部四捨五入 ・原価金額合計＝出荷原価金額合計 ・売価金額合計＝出荷売価金額合計 ≪画面非表示項目≫ ・発注単位数量合計＝発注単位数の合計 ・欠品数量(発注単位数)＝発注数量(発注単位数)－出荷数量(発注単位数) ※発注数量－出荷数量＜0となる場合は、欠品数量(発注単位数)＝0とします

画面名	電話受注入力
-----	--------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②取引番号	伝票番号	取引番号	半角文字	10			入力/選択	○	半角数字のみ	
2	③取引情報	納品店舗コード	最終納品先コード	半角文字	13			入力/選択	○	半角数字のみ	
3	③取引情報	納品店舗名	最終納品先名称	全角文字	12			入力			
4	③取引情報	直接納品先コード	直接納品先コード	半角文字	13			入力/選択	○	半角数字のみ	
5	③取引情報	直接納品先名	直接納品先名称	全角文字	12			入力			
6	③取引情報	納品経路	納品経路	半角文字	2			選択	○		以下に従い出力 01:店舗直納 02:センター納品
7	③取引情報	不定貫区分	不定貫区分	半角文字	2			選択			以下に従い出力 00:定貫 01:不定貫
8	③取引情報	納品法人コード	発注者コード	半角文字	13			入力/選択	○		
9	③取引情報	納品法人名	発注者名称	全角文字	20			入力			
10	③取引情報	契約法人コード	支払法人コード	半角文字	13			入力/選択	○	半角数字のみ	
11	③取引情報	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			入力/選択	○	半角数字のみ	
12	③取引情報	取引先名	取引先名称	全角文字	20			入力			
13	③取引情報	部門コード	商品分類(中)	半角文字	10			入力	○	半角英数のみ	
14	③取引情報	訂正後納品日	訂正後直接納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	入力		日付チェック	
15	③取引情報	納品年月日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	入力	○	日付チェック	
16	③取引情報	発注年月日	発注日	半角文字	8		YYYYMMDD	入力	○	日付チェック	
17	③取引情報	発注区分	発注区分	半角文字	2			選択			以下に従い出力 01:外注 02:内注
18	③取引情報	商品区分	商品区分	半角文字	2			選択	○		以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
19	③取引情報	帳票区分	自由使用欄半角カナ	半角文字	60			入力			
20	③取引情報	便区分	便No	半角文字	2			選択	○		以下に従い出力 00:無指定 01:1便 02:2便 03:3便
21	③取引情報	税率	税率	数値	2	1	Z9.9	入力		数値のみ	
22	③取引情報	税区分	税区分	半角文字	2			選択	○		以下に従い出力 00:無指定 01:原価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
23	③取引情報	DPTコード	商品分類(大)	半角文字	10			入力	○	半角英数のみ	
24	③取引情報	DPT名	自由使用欄	全角文字	60			入力			
25	③取引情報	中部門	カテゴリ名称1(印字用)	半角文字	3			入力		半角英数のみ	
26	⑥明細切替	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			入力/選択	○	半角数字のみ	
27	⑥明細切替	商品名称	商品名	全角文字	25			不可			
28	⑥明細切替	行	取引明細番号(発注・返品)	半角文字	4			不可			
29	⑥明細切替	売場分類	商品分類(小)	半角文字	10			入力		半角英数のみ	
30	⑥明細切替	品揃分類	商品分類(細)	半角文字	10			入力		半角英数のみ	

31	⑥明細切替	サイズコード	サイズコード	半角文字	10			入力		半角英数のみ	
32	⑥明細切替	サイズ名称	サイズ名称	全角文字	30			不可			
33	⑥明細切替	セット入数	発注単位	数値	3	1	ZZ9.9	不可			
34	⑥明細切替	出荷ケース数	出荷数量(発注単位数)	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
35	⑥明細切替	発注数量	発注数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
36	⑥明細切替	出荷数量	出荷数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	入力	○	数値のみ	
37	⑥明細切替	欠品数量	欠品数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
38	⑥明細切替	原価単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.Z9	入力	○	数値のみ	
39	⑥明細切替	売価単価	売単価	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	入力	○	数値のみ	
40	⑥明細切替	出荷原価金額	出荷原価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
41	⑥明細切替	出荷売価金額	出荷売価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
合計表示											
42	④取引明細	数量合計	数量合計	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
43	④取引明細	原価金額合計	原価金額合計	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
44	④取引明細	売価金額合計	売価金額合計	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
画面非表示項目											
45	画面非表示	発注単位数量合計	発注単位数量合計	数値	6	0		不可			保存時に自動計算される
46	画面非表示	欠品数量 (発注単位数)	欠品数量 (発注単位数)	数値	6	1		不可			保存時に自動計算される
47	画面非表示	計上部署コード	画面項目「納品店舗コード」で選択されたコード	半角文字	10			不可			
48	画面非表示	計上部署GLN	画面項目「納品店舗コード」で選択されたコードに付随するGLN	半角文字	13			不可			
49	画面非表示	処理種別(カード区分)	"00"(出荷始まり)	半角文字	2			不可			
50	画面非表示	出荷データ有無区分(出荷送信区分)	"01"(出荷データ作成要)	半角文字	2			不可			
51	画面非表示	商品コード区分	"999"								
52	画面非表示	発注単位コード	"00"								

画面名 出荷確定

画面内容 出荷データの確定／確定解除を行います

画面レイアウト

①メニューボタン

②対象

③絞り込条件

④明細一覧

出荷確定

確定(F6) 確定解除(F7) 全選択(F10) 選択解除(F11) 取消(F9) 閉じる(F12)

対象
☒ 未確定データ ☐ 確定データ 検索

絞り込条件
納品年月日 伝票番号 納品店舗 直接納品先 取引先

明細一覧

選択	納品年月日	訂正後納品日	伝票番号	納品店舗	直接納品先	取引先	商品区分	出荷送信区分	原価金額合計	データ作成元
☐	20150305	20150305	00403126	08505:町北町	08505:町北町	999999:株式会社	01:定番	01:出荷データ作成	0	0:オンライン受信
☐	20150305	20150305	00403130	08671:鹿沼	08671:鹿沼	999999:株式会社	01:定番	01:出荷データ作成	9,806	0:オンライン受信
☐	20150305	20150305	00403141	08514:須賀川森宿	08514:須賀川森宿	999999:株式会社	01:定番	01:出荷データ作成	8,761	0:オンライン受信
☐	20150305	20150305	00403152	08600:郡山センタ	0899960000:郡山	999999:株式会社	01:定番	02:出荷データ作成	8,030	0:オンライン受信
☐	20150305	20150305	00403174	08680:いわきセンタ	0899968000:いわき	999999:株式会社	01:定番	02:出荷データ作成	9,806	0:オンライン受信
☐	20150305		0000055	08671:鹿沼	08671:鹿沼	999999:テスト取引	02:準特価(中目)	01:出荷データ作成	22,500	1:電話受注入力通
☐	20150304	20150305	00403163	08770:山形深町	08770:山形深町	999999:株式会社	01:定番	01:出荷データ作成	9,674	0:オンライン受信
☐	20150304	20150304	00403093	08695:栃木センタ	0899969500:栃木	999999:株式会社	01:定番	02:出荷データ作成	158,365	0:オンライン受信
☐	20150304		0000011	08671:鹿沼	08671:鹿沼	999999:テスト取引	01:定番	01:出荷データ作成	102,252	1:電話受注入力通
☐	20150304		0000022	08671:鹿沼	08671:鹿沼	999999:テスト取引	01:定番	01:出荷データ作成	8,030	1:電話受注入力通
☐	20150304		0000033	08671:鹿沼	08671:鹿沼	999999:テスト取引	02:準特価(中目)	01:出荷データ作成	22,500	1:電話受注入力通
☐	20150304		0000044	08671:鹿沼	08671:鹿沼	999999:テスト取引	02:準特価(中目)	01:出荷データ作成	22,500	1:電話受注入力通

画面名	出荷確定
-----	------

画面操作方法

◆出荷確定をする

- ①.『未確定データ』を選択し『検索』ボタンを押します
「明細一覧」に指定した「対象」のデータが表示されます
- ②.確定を行うデータにチェックを付けます
- ③.『確定』ボタンを押すことでチェックしたデータを出荷確定済みにします

◆出荷確定をする

- ①.『確定済データ』を選択し『検索』ボタンを押します
「明細一覧」に指定した「対象」のデータが表示されます
- ②.確定解除を行うデータにチェックを付けます
- ③.『確定解除』ボタンを押すことでチェックしたデータが確定解除され、出荷未確定に戻ります

画面名	出荷確定
-----	------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・『出荷確定済&出荷未送信』がある時、以下メッセージを表示します 「出荷送信対象のデータがあります 出荷送信画面を開きますか？」 ⇒「はい」選択で当該画面を終了し、出荷送信画面を自動で表示します 「いいえ」選択で当該画面を終了し、受注/出荷画面に戻ります ・『出荷確定済&出荷未送信』がない時は、上記メッセージを表示せずに当該画面を終了し、受注/出荷画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能な状態
確定ボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「④明細一覧」にてチェックを付けた出荷未確定データを「出荷確定済」の状態にします ※上記処理完了後、初期状態に戻します 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「②対象」にて『未確定データ』が選択されている状態で、『検索』ボタンを押下すると『確定』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
確定解除ボタン ※①メニューボタン ★F7ボタンで利用可能	・「④明細一覧」にてチェックを付けた出荷確定済データを「出荷未確定」の状態にします ※上記処理完了後、初期状態に戻します 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「②対象」にて『確定済データ』が選択されている状態で、『検索』ボタンを押下すると『確定解除』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
全選択ボタン ※①メニューボタン ★F10ボタンで利用可能	・「④明細一覧」に表示されているデータ全てにチェックを付けます ※既にチェックが付いている状態で押下しても何も動作しません ※複数ページが存在する時、全てのページのチェックボックスにチェックを付けます 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「④明細一覧」にデータが表示されている状態でのみ押下可能な状態になります
選択解除ボタン ※①メニューボタン ★F11ボタンで利用可能	・「④明細一覧」に表示されているデータ全てのチェックを外します ※既にチェックが外れている状態で押下しても何も動作しません ※複数ページが存在する時、全てのページのチェックボックスからチェックを外します 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「④明細一覧」にデータが表示されている状態でのみ押下可能な状態になります
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・「③絞込条件」「④明細一覧」をクリアし、初期状態にします 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「④明細一覧」にデータが表示されている状態でのみ押下可能な状態になります

機能名称	機能説明
検索ボタン ※②対象	・「②対象」のラジオボタンを条件に、「③絞込条件」内のコンボボックスを作成、「④明細一覧」に該当データを表示します ※「④明細一覧」に該当データを表示した後、『検索』ボタンを押下不可に、「②対象」を選択不可な状態にします ※該当データが表示件数(15行)以上存在した時、「④明細一覧」にスクロールバーを表示します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
対象 ※②対象	・『検索』ボタンが押されたら「③絞込条件」「④明細一覧」が使用可能な状態にします ----- 初期表示状態 ・『未確定データ』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『未確定データ』『確定済データ』が選択可能な状態 ・『検索』ボタン押下可能な状態
絞込条件 ※③絞込条件	・「④明細一覧」に表示しているデータの絞込を行います ※「④明細一覧」にデータが表示されている状態でのみ指定可能です ※各条件コンボボックスで選択した値全てをAND条件とし『明細一覧』の絞込を行いますが、各条件コンボボックスの絞込は行いません ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、「直接納品先」は「直接納品先コード」、「取引先」は「取引先コード」を検索キーとして用います ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード:名称」で重複判断を行います ただし、絞込処理は「コード」のみで行うため、選択した「コード:名称」のデータのみを表示することはできません ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示、選択不可の状態
明細一覧 ※④明細一覧	・「②対象」「③絞込条件」で指定した条件に該当するデータを表示します ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示

画面名	出荷確定
-----	------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・オンライン受信した受注データの「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ ・電話受注入力画面で作成した受注データの「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ ・受注ファイル入力で作成した受注データの「出荷未確定」「出荷確定済」のデータ ※「出荷データ有無区分」が「02:作成不要」のデータは表示しない
---------	--

表示並び順	明細一覧 ※④明細一覧	納品日年月日＞訂正後納品日＞伝票番号＞納品店舗コード＞直接納品先コード
	納品年月日 ※③絞込条件	納品年月日(降順)
	伝票番号 ※③絞込条件	伝票番号(昇順)
	納品店舗 ※③絞込条件	納品店舗コード(昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先コード(昇順)
	取引先 ※③絞込条件	取引先コード(昇順)

画面名	出荷確定
-----	------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③絞込条件	納品年月日	最終納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
2	③絞込条件	伝票番号	取引番号(発注・返品)	半角文字	9			入力/選択		半角数字のみ	
3	③絞込条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
4	③絞込条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
5	③絞込条件	取引先	取引先コード／ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
6	④明細一覧	納品年月日	最終納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
7	④明細一覧	訂正後納品日	訂正後直接納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
8	④明細一覧	伝票番号	取引番号(発注・返品)	半角文字	10			不可			
9	④明細一覧	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
10	④明細一覧	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
11	④明細一覧	取引先	取引先コード／ 取引先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
12	④明細一覧	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い表示 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
13	④明細一覧	出荷送信区分	出荷データ有無区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:出荷データ作成要 02:出荷データ作成不要
14	④明細一覧	原価金額合計	原価金額合計	数値	10		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
15	④明細一覧	データ作成元	データ作成元	半角文字	1			不可			以下に従い表示 0:オンライン受信 1:電話受注入力画面作成 2:ファイル入力作成

画面名 出荷送信

画面内容 出荷確定済データの送信を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style application window titled '出荷送信' (Shipping Transmission). The window has a green header bar with a red 'X' button and the text '閉じる(F12)'. Below the header, there are four main sections: 1. '送信モード' (Transmission Mode) with a radio button for '送信' (Transmission). 2. '対象' (Target) with a radio button for '全送信' (All Transmission) and a dropdown menu for '訂正後納品年月日' (Date of delivery after correction) showing '20150305'. 3. '出力帳票' (Output Invoice) with a checkbox for '送信ブルーリスト' (Transmission Blue List). 4. A '送信開始' (Start Transmission) button at the bottom right. The entire window is outlined with a red dashed border, and each section is also outlined with a red dashed border.

①メニューボタン

②送信モード

③対象

④出力帳票

⑤送信開始

画面名	出荷送信
-----	------

画面操作方法

- ◆ 出荷データを送信する
 - ①.送信対象を指定します
 - ②.送信と同時に出力する帳票を選択します
 - ③.送信対象、出力帳票の指定が終わったら、『送信開始』ボタンを押すことで送信が開始されます

画面名	出荷送信
-----	------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
メニューボタン ※①メニューボタン	初期表示状態 ・TOP画面で選択した利用会社がテストモードだった場合、赤字で“テストモード”と表示する ※本番モードの時は何も表示しない
送信モード ※②送信モード	初期表示状態 ・『送信』ラジオボタンが選択されている状態
対象 ※③対象	・「③対象」内ラジオボタンにて選択した値を条件とし、送信対象データを絞り込みます ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ----- 初期表示状態 ・『全送信』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『全送信』『訂正後納品年月日』が選択可能な状態
出力帳票 ※④出力帳票	・「④出力帳票」内チェックボックスにて選択した対象を帳票出力対象とします ----- 初期表示状態 ・チェックボックスは『送信ブルーリスト』が選択可能な状態 ※『閉じる』ボタンによるチェック状態の保存が行われていない時(初期状態)、全てのチェックボックスにチェックがない状態になります
送信開始ボタン ※⑤送信開始	・「③対象」で選択した該当出荷確定済データを送信します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	出荷送信
-----	------

表示対象データ	「③対象」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します ・出荷確定済 & 未送信データ
---------	--

表示並び順	訂正後納品年月日 ※③対象	訂正後納品年月日(降順)
-------	------------------	--------------

画面名	出荷送信
-----	------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③対象	訂正後納品年月日	訂正後直接納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する

画面名 出荷梱包送信

画面内容 出荷梱包確定済データの送信を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style application window titled '出荷梱包送信'. The window has a green header bar with a red 'X' button and the text '閉じる(F12)'. The main area is divided into several sections by dashed red lines, each labeled with a number and a description:

- ①メニューボタン: Points to the red 'X' button in the header bar.
- ②送信モード: Points to the '送信モード' section, which contains a radio button labeled '送信'.
- ③対象: Points to the '対象' section, which contains a radio button labeled '全送信' and a dropdown menu labeled '訂正後納品年月日' with the value '20150306'.
- ④出力帳票: Points to the '出力帳票' section, which contains a checkbox labeled '出荷梱包送信ブルーフリスト'.
- ⑤送信開始: Points to the '送信開始' button at the bottom right of the window.

画面名	出荷梱包送信
-----	--------

画面操作方法

- ◆ 出荷梱包データを送信する
 - ①.送信対象を指定します
 - ②.送信と同時に出力する帳票を選択します
 - ③.送信対象、出力帳票の指定が終わったら、『送信開始』ボタンを押すことで送信が開始されます

画面名	出荷梱包送信
-----	--------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
メニューボタン ※①メニューボタン	初期表示状態 ・TOP画面で選択した利用会社がテストモードだった場合、赤字で“テストモード”と表示する ※本番モードの時は何も表示しない
送信モード ※②送信モード	初期表示状態 ・『送信』ラジオボタンが選択されている状態
対象 ※③対象	・「③対象」内ラジオボタンにて選択した値を条件とし、送信対象データを絞り込みます ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ----- 初期表示状態 ・『全送信』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『全送信』『訂正後納品年月日』が選択可能な状態
出力帳票 ※④出力帳票	・「④出力帳票」内チェックボックスにて選択した対象を帳票出力対象とします ----- 初期表示状態 ・チェックボックスは『送信ブルーリスト』が選択可能な状態 ※『閉じる』ボタンによるチェック状態の保存が行われていない時(初期状態)、全てのチェックボックスにチェックがない状態になります
送信開始ボタン ※⑤送信開始	・「③対象」で選択した該当出荷確定済データを送信します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	出荷梱包送信
-----	--------

表示対象データ	「③対象」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します ・出荷梱包確定済&未送信データ
---------	--

表示並び順	訂正後納品年月日 ※③対象	訂正後納品年月日(降順)
-------	------------------	--------------

画面名	出荷梱包送信
-----	--------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③対象	訂正後納品年月日	最終納品先名称カナ	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する

画面名 プループリスト出力

画面内容 受注受信／出荷送信プループリストの出力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style application window titled "プループリスト出力" (Plu List Output). The window has a menu bar with three items: "印刷(F5)" (Print), "プレビュー(F6)" (Preview), and "閉じる(F12)" (Close). Below the menu bar is a section labeled "出力帳票" (Output Form) containing two radio buttons: "受注受信プループリスト" (Order Receipt Plu List) and "出荷梱包送信プループリスト" (Shipment Packaging Transmission Plu List). Below this is a section labeled "出力条件" (Output Conditions) with three rows of dropdown menus: "受信日" (Received Date) with values "2015/03/11 11:35:4", "納品年月日" (Delivery Year/Month/Day) with values "20150305", and "納品店舗" (Delivery Store) with values "08505:町北町". Below this is a section labeled "対象" (Target) with three radio buttons: "未発行" (Not Issued), "再発行" (Re-issue), and "両方" (Both). The window is surrounded by a red dashed border, and four numbered callouts point to specific elements: ①メニューボタン (Menu Button) points to the menu bar, ②出力帳票 (Output Form) points to the radio buttons, ③出力条件 (Output Conditions) points to the dropdown menus, and ④対象 (Target) points to the radio buttons at the bottom.

①メニューボタン

②出力帳票

③出力条件

④対象

画面名	ブルーリスト出力
-----	----------

画面操作方法

◆受信/送信ブルーリストを出力する

- ①.出力を行う帳票を選択します
- ②.出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ③.出力対象を指定します
 - 未発行 : 一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします
 - 再発行 : 過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします
 - 両方 : 全てのデータを出力対象とします
- ④.出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名	ブルーリスト出力
-----	----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ※プレビュー画面を表示したデータは『発行済』データにはしませんが、プレビュー画面から出力を行った場合は、『発行済』データになります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で帳票を出力します ※帳票出力後、出力したデータを『発行済』データとし、「④対象」の『未発行』を選択時に出力対象にならないようにします ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ※「④対象」のラジオボタンは選択されている状態を保持し、変更しません ----- 初期表示状態 ・『受注受信ブルーリスト』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『受注受信ブルーリスト』『出荷送信ブルーリスト』が選択可能な状態 ※「受注/出荷業務メニュー(検品システム連携)」から遷移してきた場合、ラジオボタンは『受注受信ブルーリスト』『出荷梱包送信ブルーリスト』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・「②出力帳票」にて選択した帳票によって、一番上の条件項目が下記のように変わります 『受注受信ブルーリスト』選択 → 『受信日』 『出荷送信ブルーリスト』選択 → 『送信日』 ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定「～」の右にあるコンボボックス未指定 →左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定「～」の右にあるコンボボックス指定 →右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス未指定「～」の右にあるコンボボックス未指定 →全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態

機能名称	機能説明
対象 ※④対象	・「④対象」内ラジオボタンにて選択した対象を帳票出力対象とします ※「④対象」は以下のいずれかを選択します - 未発行 - 再発行 - 両方
	初期表示状態 ・『未発行』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『未発行』『再発行』『両方』が選択可能な状態

画面名	ブルーリスト出力
-----	----------

表示対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（出力対象データも同様） 「②出力帳票」にて『受注受信ブルーリスト』選択時 ・オンライン受信した受注データ ・[電話受注画面]にて作成した受注データ ・[受注データファイル入力画面]にて入力した受注データ 「②出力帳票」にて『出荷送信ブルーリスト』選択時 ・出荷送信した全てのデータ	
---------	---	--

表示並び順	受信日（左） ※③出力条件	受信日（降順）
	受信日（右） ※③出力条件	受信日（降順）
	送信日（左） ※③出力条件	送信日（降順）
	送信日（右） ※③出力条件	送信日（降順）
	納品年月日（左） ※③出力条件	納品年月日（降順）
	納品年月日（右） ※③出力条件	納品年月日（降順）
	納品店舗 ※③出力条件	納品店舗コード（昇順）

画面名	ブルーリスト出力
-----	----------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
出力条件(受注受信ブルーリスト選択時)											
1	③出力条件	受信日(左)	受信した日時、電話受注入力・受注 ファイル入力した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	受信日(右)	受信した日時、電話受注入力・受注 ファイル入力した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
出力条件(出荷送信ブルーリスト選択時)											
1	③出力条件	送信日(左)	送信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	送信日(右)	送信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			

画面名 集計表リスト出力

画面内容 集計表受注受信プループリストの出力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a software window titled '集計表リスト出力' (Summary Table List Output). The window has a menu bar with three items: '印刷(F5)' (Print), 'プレビュー(F6)' (Preview), and '閉じる(F12)' (Close). Below the menu bar is a large text area labeled '出力帳票' (Output Form) containing a radio button and the text '集計表リスト' (Summary Table List). Below this is a section labeled '出力条件' (Output Conditions) with three rows of input fields: '受信日' (Reception Date) with values '2015/03/11 11:21:1', '納品年月日' (Delivery Date) with values '20150305', and '集計表No' (Summary Table No) with values '01234567'. At the bottom is a section labeled '対象' (Target) with three radio buttons: '未発行' (Not Issued), '再発行' (Re-issued), and '両方' (Both). The window is annotated with four red dashed boxes and labels: ①メニューボタン (Menu Button) pointing to the menu bar, ②出力帳票 (Output Form) pointing to the text area, ③出力条件 (Output Conditions) pointing to the input fields, and ④対象 (Target) pointing to the radio buttons.

①メニューボタン

②出力帳票

③出力条件

④対象

画面名	集計表リスト出力
-----	----------

画面操作方法

- ①.出力を行う帳票を選択します
- ②.出力条件を入力、選択します
- ③.出力対象を指定します
 - 未発行 :一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします
 - 再発行 :過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします
 - 両方 :全てのデータを出力対象とします
- ④.出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名	集計表リスト出力
-----	----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ※プレビュー画面を表示したデータは『発行済』データにはしませんが、プレビュー画面から出力を行った場合は、『発行済』データになります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で帳票を出力します ※帳票出力後、出力したデータを『発行済』データとし、「④対象」の『未発行』を選択時に出力対象にならないようにします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ※「④対象」のラジオボタンは選択されている状態を保持し、変更しません ----- 初期表示状態 ・『集計表リスト』ラジオボタンが選択されている状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックス、テキストボックスにて選択/入力した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス、テキストボックスの間に“～”があるコンボボックス、テキストボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒左のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス指定」 ⇒右のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード: 名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・各条件が入力/選択可能な状態

機能名称	機能説明
対象 ※④対象	・「④対象」内ラジオボタンにて選択した対象を帳票出力対象とします ※「④対象」は以下のいずれかを選択します - 未発行 - 再発行 - 両方
	初期表示状態 ・『未発行』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『未発行』『再発行』『両方』が選択可能な状態

画面名	集計表リスト出力
-----	----------

表示対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（出力対象データも同様） ・オンライン受信した集計表受注データ
---------	---

表示並び順	受信日（左） ※③出力条件	受信日（降順）
	受信日（右） ※③出力条件	受信日（降順）
	納品年月日（左） ※③出力条件	納品年月日（降順）
	納品年月日（右） ※③出力条件	納品年月日（降順）

画面名	集計表リスト出力
-----	----------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	受信日(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	受信日(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	集計表No(左)	取引番号(発注・返品)	半角文字	8			入力		半角数値のみ	
6	③出力条件	集計表No(右)	取引番号(発注・返品)	半角文字	8			入力		半角数値のみ	

画面名 ピッキングリスト出力

画面内容 納品先別／商品別ピッキングリストの出力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a software window titled 'ピッキングリスト出力' (Picking List Output). The window has a menu bar with '印刷(F5)' (Print) and 'プレビュー(F6)' (Preview), and a '閉じる(F12)' (Close) button. The main area is divided into four sections, each highlighted with a red dashed box and a numbered callout:

- ①メニューボタン (Menu Button): Located at the top right of the window.
- ②出力帳票 (Output Form): A section containing three radio buttons for selecting the output format:
 - ☒ 納品先別ピッキングリスト (Picking List by Delivery Point)
 - ☐ 商品別納品先縦並びピッキングリスト (Picking List by Item, Delivery Point Vertical)
 - ☐ 商品別納品先横並びピッキングリスト (Picking List by Item, Delivery Point Horizontal)
- ③出力条件 (Output Conditions): A section containing four dropdown menus for specifying output criteria:
 - 納品年月日 (Delivery Date): 20150304 ~ 20150305
 - 納品店舗 (Delivery Store): 08505町北町
 - 直接納品先 (Direct Delivery Point): 0899947400北関東
 - 受信日 (Reception Date): 2015/03/11 11:35:4
- ④対象 (Target): A section containing three radio buttons for selecting the target status:
 - ☒ 未発行 (Not Issued)
 - ☐ 再発行 (Re-issue)
 - ☐ 両方 (Both)

画面名 ピッキングリスト出力

画面操作方法

◆ピッキングリストを出力する

- ①.出力を行う帳票を選択します
- ②.出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ③.出力対象を指定します
 - 未発行 :一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします
 - 再発行 :過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします
 - 両方 :全てのデータを出力対象とします
- ④.出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名	ピッキングリスト出力
-----	------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ※プレビュー画面を表示したデータは『発行済』データにはしませんが、プレビュー画面から出力を行った場合は、『発行済』データになります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で帳票を出力します ※帳票出力後、出力したデータを『発行済』データとし、「④対象」の『未発行』を選択時に出力対象にならないようにします ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ※「④対象」のラジオボタンは選択されている状態を保持し、変更しません ----- 初期表示状態 ・『納品先別ピッキングリスト』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『納品先別ピッキングリスト』『商品別納品先縦並びピッキングリスト』『商品別納品先横並びピッキングリスト』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態

機能名称	機能説明
対象 ※④対象	・「④対象」内ラジオボタンにて選択した対象を帳票出力対象とします ※「④対象」は以下のいずれかを選択します - 未発行 - 再発行 - 両方
	初期表示状態 ・『未発行』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『未発行』『再発行』『両方』が選択可能な状態

画面名	ピッキングリスト出力
-----	------------

表示対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（出力対象データも同様） ・オンライン受信した受注データ ・[電話受注画面]にて作成した受注データ ・[受注データファイル入力画面]にて入力した受注データ
---------	--

表示並び順	納品年月日(左) ※③出力条件	納品年月日(降順)
	納品年月日(右) ※③出力条件	納品年月日(降順)
	納品店舗 ※③出力条件	納品店舗コード(昇順)
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先コード(昇順)
	受信日 ※③出力条件	受信日(降順)

画面名	ピッキングリスト出力
-----	------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
4	③出力条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	10/12			選択			
5	③出力条件	受信日	受信した日時、電話受注入力・受注 ファイル入力した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する

画面名 納品リスト出力

画面内容 納品明細書の出力を行います

画面レイアウト

①メニューボタン

②出力帳票

③出力条件

④対象

画面名	納品リスト出力
-----	---------

画面操作方法

- ①.出力を行う帳票を選択します
- ②.出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ③.出力対象を指定します
 - 未発行 :一度も帳票を出力したことがないデータを出力対象とします
 - 再発行 :過去に出力を行ったデータのみ出力対象とします
 - 両方 :全てのデータを出力対象とします
- ④.出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名	納品リスト出力
-----	---------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ※プレビュー画面を表示したデータは『発行済』データにはしませんが、プレビュー画面から出力を行った場合は、『発行済』データになります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」「④対象」にて指定した条件で帳票を出力します ※帳票出力後、出力したデータを『発行済』データとし、「④対象」の『未発行』を選択時に出力対象にならないようにします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ※「④対象」のラジオボタンは選択されている状態を保持し、変更しません ----- 初期表示状態 ・『納品明細書』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『納品明細書』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態

機能名称	機能説明
対象 ※④対象	・「④対象」内ラジオボタンにて選択した対象を帳票出力対象とします ※「④対象」は以下のいずれかを選択します - 未発行 - 再発行 - 両方
	初期表示状態 ・『未発行』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『未発行』『発行済』『両方』が選択可能な状態

画面名	納品リスト出力
-----	---------

表示対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(出力対象データも同様) ・オンライン受信したデータ ・電話受注で作成した受注データ ・受注データファイル入力で作成した受注データ
---------	---

表示並び順 ※仕入伝票	受信日(左) ※③出力条件	登録日時(降順)
	受信日(右) ※③出力条件	登録日時(降順)
	納品年月日(左) ※③出力条件	最終納品先納品日(降順)
	納品年月日(右) ※③出力条件	最終納品先納品日(降順)
	納品店舗 ※③出力条件	最終納品先コード(昇順)
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先コード(昇順)
	確定日(左) ※③出力条件	出荷確定日時(降順)
	確定日(右) ※③出力条件	出荷確定日時(降順)

画面名	納品リスト出力
-----	---------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	受信日(左)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	受信日(右)	登録日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
6	③出力条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	10/12			選択			

画面名 受注データファイル出力

画面内容 受注データの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

受注データファイル出力

閉じる(F12)

出力ファイル形式

☒ CSV形式

☐ 固定長

出力条件

受信日 2015/03/11 11:11

納品年月日 20150304 ~ 20150305

納品店舗 08505:町北町

直接納品先 0899960000:郡

データ作成元 0:オンライン受信

出力ファイルパス

C:\受注.csv 参照

出力処理開始

①メニューボタン

②ファイル形式

③出力条件

④出力ファイルパス

⑤出力処理開始

画面名	受注データファイル出力
-----	-------------

画面操作方法

◆ 受注データをファイル出力する

- ①. 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②. 出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ③. 出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④. ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	受注データファイル出力
-----	-------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」をそれぞれ検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード: 名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
出力処理開始ボタン ※⑤出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います - 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	受注データファイル出力
-----	-------------

表示/ファイル 出力対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（ファイル出力対象データも同様） ・オンライン受信した受注データ ・[電話受注]画面にて作成した受注データ ・[受注データファイル入力]画面にて入力した受注データ
--------------------	--

表示並び順	受信日 ※③出力条件	受信日（降順）
	納品年月日（左） ※③出力条件	納品年月日（降順）
	納品年月日（右） ※③出力条件	納品年月日（降順）
	納品店舗 ※③出力条件	納品店舗コード（昇順）
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先コード（昇順）
	データ作成元 ※③出力条件	データ作成元（昇順）

画面名	受注データファイル出力
-----	-------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	受信日	受信した日時、電話受注入力・受注 ファイル入力した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
5	③出力条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	10/12			選択			
6	③出力条件	データ作成元	データ作成元	半角文字	1			選択			以下に従い表示 0:オンライン受信 1: 電話受注入力画面作成 2: ファイル入力作成
7	④出力ファイルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 受注データファイル入力

画面内容 受注データの外部ファイル入力を行います

画面レイアウト

受注データファイル入力

閉じる(F12)

入力ファイル形式

☒ CSV形式

☐ 固定長

入力ファイルパス

C:\受注.csv 参照

入力処理開始

①メニューボタン

②ファイル形式

③入力ファイルパス

④入力処理開始

画面名	受注データファイル入力
-----	-------------

画面操作方法

◆ 受注データをファイル入力する

- ①. 入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②. 入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します
- ③. ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が始まります

画面名	受注データファイル入力
-----	-------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル入力処理を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル入力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
入力ファイルパス ※③入力ファイルパス	・入力ファイルパスを入力します ※ファイルパスは絶対パスで入力してください ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『入力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル入力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③入力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『入力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
入力処理開始ボタン ※④入力処理開始	・「②ファイル形式」「③入力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル入力を行います ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの記憶を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③入力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル入力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	受注データファイル入力
-----	-------------

ファイル入力 対象データ	ファイル入力対象データは以下になります ・新規受注データ ★ファイル入力は以下の項目をキーとして用います★ 支払法人コード、発注者コード、請求取引先コード、取引先コード、最終納品先納品日、最終納品先コード 取引番号(発注・返品)、取引明細番号(発注・返品) ◆「新規受注データ」「取込済み受注データ」の判断について◆ ・キー項目が全て一致するデータが存在しない入力データに関しては“新規受注データ”、 - キー項目が全て一致するデータが存在する入力データに関しては“取込済み受注データと判断します
-----------------	--

表示並び順		

画面名	受注データファイル入力
-----	-------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③入力ファイルパス	入力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 出荷確定データファイル出力

画面内容 出荷確定／送信データの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

出荷確定データファイル出力

閉じる(F12)

出力ファイル形式

☒ CSV形式

☐ 固定長

出力条件

確定日 2015/03/11 16:

訂正納品年月日 20150304 ~ 20150305

納品店舗 08505:町北町

直接納品先 0899960000:都

データ作成元 0:オンライン受信

出力ファイルパス

C:\出荷確定.csv 参照

出力処理開始

①メニューボタン

②ファイル形式

③出力条件

④出力ファイルパス

⑤出力処理開始

画面名	出荷確定データファイル出力
-----	---------------

画面操作方法

◆ 出荷確定データをファイル出力する

- ①. 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②. 出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ③. 出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④. ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	出荷確定データファイル出力
-----	---------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」をそれぞれ検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～”の左にあるコンボボックス指定」「～”の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～”の左にあるコンボボックス未指定」「～”の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～”の左にあるコンボボックス未指定」「～”の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」「出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力処理開始ボタン ※⑤出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	出荷確定データファイル出力
-----	---------------

表示/ファイル 出力対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（ファイル出力対象データも同様） ・出荷確定したデータ ・出荷送信したデータ ※出荷未確定のデータは対象外になります
--------------------	--

表示並び順	確定日 ※③出力条件	確定日（降順）
	訂正 納品年月日（左） ※③出力条件	訂正納品年月日（降順）
	訂正 納品年月日（右） ※③出力条件	訂正納品年月日（降順）
	納品店舗 ※③出力条件	納品店舗コード（昇順）
	直接納品先 ※③出力条件	直接納品先コード（昇順）
	データ作成元 ※③出力条件	データ作成元（昇順）

画面名	出荷確定データファイル出力
-----	---------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	確定日	出荷確定した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	訂正納品年月日(左)	訂正後直接納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	訂正納品年月日(右)	訂正後直接納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
5	③出力条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	10/12			選択			
6	③出力条件	データ作成元	データ作成元	半角文字	1			選択			以下に従い表示 0:オンライン受信 1:電話受注入力画面作成 2:ファイル入力作成
7	④出力ファイルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 出荷確定データファイル入力

画面内容 出荷データの外部ファイル入力を行うことで、数量等訂正、出荷確定処理を行います

画面レイアウト

①メニューボタン

②ファイル形式

③入力ファイルパス

④入力処理開始

画面名	出荷確定データファイル入力
-----	---------------

画面操作方法

- ①.入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②.入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します
- ③.ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が開始されます

画面名	出荷確定データファイル入力
-----	---------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル入力処理を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル入力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
入力ファイルパス ※③入力ファイルパス	・入力ファイルパスを入力します ※ファイルパスは絶対パスで入力してください ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『入力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル入力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③入力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『入力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
入力処理開始ボタン ※④入力処理開始	・「②ファイル形式」「③入力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル入力を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式、入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③入力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル入力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	出荷確定データファイル入力
-----	---------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③入力ファイルパス	入力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 集計表受注データファイル出力

画面内容 集計表受注データの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

集計表受注データファイル出力

閉じる(F12)

出力ファイル形式

☒ CSV形式

☐ 固定長

出力条件

受信日 2015/03/11 11:~ 2015/03/11 11:~

納品年月日 20150304 ~ 20150305

集計表 No 01234567 ~ 01234569

出力ファイルパス

C:\集計表受注.csv 参照

出力処理開始

①メニューボタン

②ファイル形式

③出力条件

④出力ファイルパス

⑤出力処理開始

画面名	集計表受注データファイル出力
-----	----------------

画面操作方法

- ①.出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②.出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ③.出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④.ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	集計表受注データファイル出力
-----	----------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックス、テキストボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス、テキストボックスの間に“～”があるコンボボックス、テキストボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒左のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス指定」 ⇒右のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ----- 初期表示状態 ・各条件が入力/選択可能な状態
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力処理開始ボタン ※⑤出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	集計表受注データファイル出力
-----	----------------

表示/ファイル 出力対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（ファイル出力対象データも同様） ・オンライン受信した集計表受注データ
--------------------	---

表示並び順	受信日（左） ※③出力条件	受信日（降順）
	受信日（右） ※③出力条件	受信日（降順）
	納品年月日（左） ※③出力条件	納品年月日（降順）
	納品年月日（右） ※③出力条件	納品年月日（降順）
	納品年月日（右） ※③出力条件	納品年月日（降順）

画面名	集計表受注データファイル出力
-----	----------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	受信日(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	受信日(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	集計表No(左)	取引番号(発注・返品)	半角文字	8			入力		半角数値のみ	
6	③出力条件	集計表No(右)	取引番号(発注・返品)	半角文字	8			入力		半角数値のみ	
7	④出力ファイルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 検品システム連携ファイル出力

画面内容 検品システム連携用ファイル(出荷予定データファイル)の出力を行います

画面レイアウト

①メニューボタン

②出力条件

③出力処理開始

画面名	検品システム連携ファイル出力
-----	----------------

画面操作方法

◆検品システム連携用のデータ(出荷予定データ)をファイル出力する

- ①.出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ②.出力条件の指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	検品システム連携ファイル出力
-----	----------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力条件 ※②出力条件	・「②出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」をそれぞれ検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード: 名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態
出力処理開始ボタン ※③出力処理開始	・「②出力条件」にて指定した条件でファイル出力を行います ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	検品システム連携ファイル出力
-----	----------------

表示/ファイル 出力対象データ	「②出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（ファイル出力対象データも同様） ・オンライン受信した受注データ ・[電話受注]画面にて作成した受注データ ・[受注データファイル入力]画面にて入力した受注データ
--------------------	--

表示並び順	受信日 ※②出力条件	受信日（降順）
	納品年月日（左） ※②出力条件	納品年月日（降順）
	納品年月日（右） ※②出力条件	納品年月日（降順）
	納品店舗 ※②出力条件	納品店舗コード（昇順）
	直接納品先 ※②出力条件	直接納品先コード（昇順）
	データ作成元 ※②出力条件	データ作成元（昇順）

画面名	検品システム連携ファイル出力
-----	----------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②出力条件	受信日	受信した日時、電話受注入力・受注 ファイル入力した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	②出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
3	②出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	②出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
5	②出力条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	10/12			選択			
6	②出力条件	データ作成元	データ作成元	半角文字	2			選択			以下に従い表示 0:オンライン受信 1:電話受注画面作成 2:ファイル入力作成

画面名 大車輪SaaS連携ファイル出力

画面内容 大車輪SaaS連携用ファイル(出荷予定データファイル)の出力を行います

画面レイアウト

検品システム連携ファイル出力

閉じる(F12)

出力条件

受信日 2015/03/11 11: ▾

納品年月日 20150304 ▾ ~ 20150305 ▾

納品店舗 08505:町北町 ▾

直接納品先 0899947400:北町 ▾

データ作成元 0:オンライン受信 ▾

出力処理開始

①メニューボタン

②出力条件

③出力処理開始

画面名	大車輪SaaS連携ファイル出力
-----	-----------------

画面操作方法

◆大車輪SaaS連携用のデータ(出荷予定データ)をファイル出力する

- ①.出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ②.出力条件の指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	大車輪SaaS連携ファイル出力
-----	-----------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力条件 ※②出力条件	・「②出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」、『直接納品先』は「直接納品先コード」をそれぞれ検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード: 名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態
出力処理開始ボタン ※③出力処理開始	・「②出力条件」にて指定した条件でファイル出力を行います ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	大車輪SaaS連携ファイル出力
-----	-----------------

表示/ファイル 出力対象データ	「②出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（ファイル出力対象データも同様） ・オンライン受信した受注データ ・[電話受注]画面にて作成した受注データ ・[受注データファイル入力]画面にて入力した受注データ
--------------------	--

表示並び順	受信日 ※②出力条件	受信日（降順）
	納品年月日（左） ※②出力条件	納品年月日（降順）
	納品年月日（右） ※②出力条件	納品年月日（降順）
	納品店舗 ※②出力条件	納品店舗コード（昇順）
	直接納品先 ※②出力条件	直接納品先コード（昇順）
	データ作成元 ※②出力条件	データ作成元（昇順）

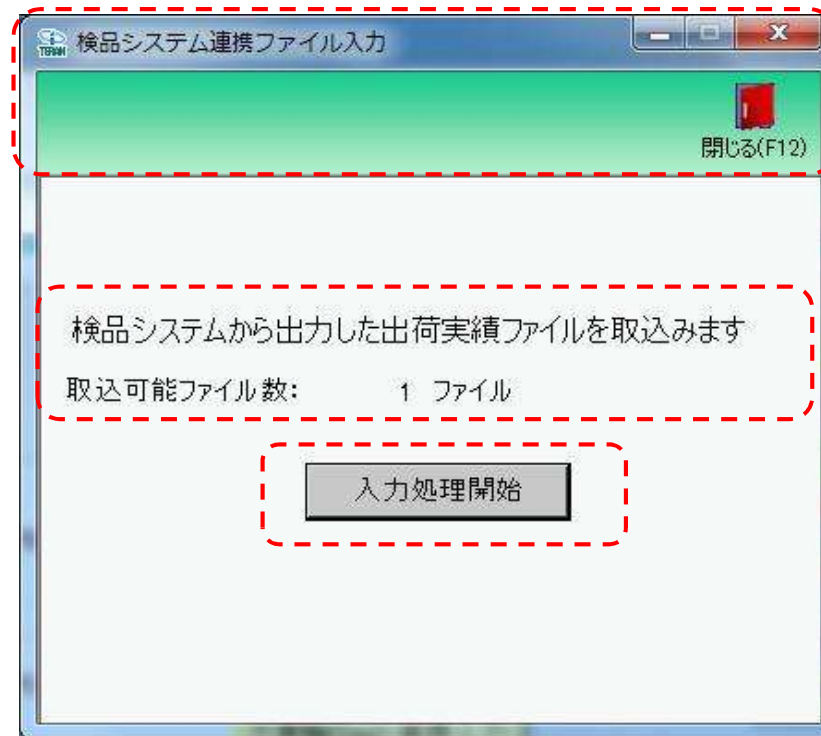
画面名	大車輪SaaS連携ファイル出力
-----	-----------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②出力条件	受信日	受信した日時、電話受注入力・受注 ファイル入力した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	②出力条件	納品年月日(左)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
3	②出力条件	納品年月日(右)	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	②出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
5	②出力条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	10/12			選択			
6	②出力条件	データ作成元	データ作成元	半角文字	2			選択			以下に従い表示 0:オンライン受信 1:電話受注画面作成 2:ファイル入力作成

画面名 検品システム連携ファイル入力

画面内容 検品システム連携データ(出荷実績データ)ファイルの入力を行います

画面レイアウト



①メニューボタン

②入力ファイル数

③入力処理開始

画面名	検品システム連携ファイル入力
-----	----------------

画面操作方法

- ◆ 検品システム連携データ(出荷実績データ)をファイル入力する
 - ①.『入力処理開始』ボタンを押すことで検品システムから出力した出荷実績ファイルの入力が開始されます

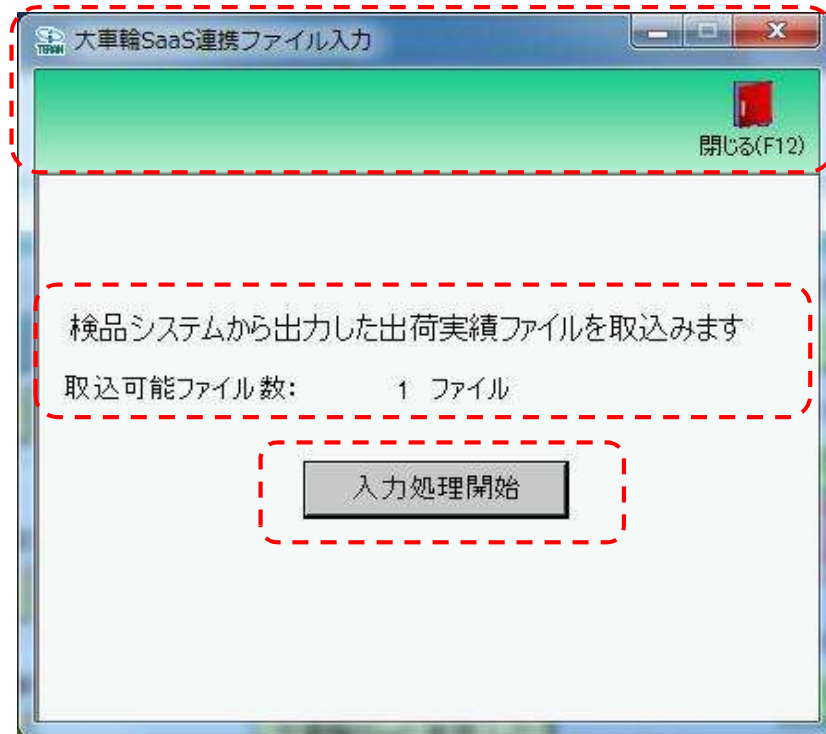
画面名	検品システム連携ファイル入力
-----	----------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
入力ファイル数 ※②入力ファイル数	・入力ファイル数を表示します
入力処理開始ボタン ※③入力処理開始	・ファイル入力を行います ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名 大車輪SaaS連携ファイル入力

画面内容 検品システム連携データ(出荷実績データ)ファイルの入力を行います

画面レイアウト



①メニューボタン

②入力ファイル数

③入力処理開始

画面名	大車輪SaaS連携ファイル入力
-----	-----------------

画面操作方法

- ◆大車輪SaaS連携データ(出荷実績データ)をファイル入力する
 - ①.『入力処理開始』ボタンを押すことで検品システムから出力した出荷実績ファイルの入力が開始されます

画面名	大車輪SaaS連携ファイル入力
-----	-----------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
入力ファイル数 ※②入力ファイル数	・入力ファイル数を表示します
入力処理開始ボタン ※③入力処理開始	・ファイル入力を行います ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	直接納品先一括変更画面
-----	-------------

画面内容	出荷データの直接納品先を一括で変更します
------	----------------------

画面レイアウト

直接納品先一括変更

保存(F4) 閉じる(F12)

変更対象:納品年月日 20150305

変更後:直接納品先 0899947400:北関東GC

※変更対象データは出荷未確定、未送信のデータのみになります

①メニューボタン

②変更対象

画面名	直接納品先一括変更画面
-----	-------------

画面操作方法
◆直接納品先を一括で変更する ①.変更対象の納品年月日を選択します ②.変更後の直接納品先を選択します ③.納品年月日、直接納品先の指定が終わったら、『保存』ボタンを押し、変更処理を確定します

画面名	直接納品先一括変更画面
-----	-------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受注/出荷業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・選択した変更対象データを一括で変更後で選択した値に変更します ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
変更対象 ※②変更対象	・変更対象する対象の納品年月日を選択します ※コンボボックスから選択できるのは、出荷未確定、未送信のデータのみになります ----- 初期表示状態 ・何も選択されていない状態（選択可能）
変更後 ※②変更対象	・変更後の直接納品先を選択します ※コンボボックスから選択できるのは、納品先マスタメンテナンス画面で“センター”として登録した納品先マスタのみになります ----- 初期表示状態 ・何も選択されていない状態（選択可能）

画面名	直接納品先一括変更画面
-----	-------------

変更対象データ	変更対象データは以下のデータになります ・出荷未確定 & 未送信データ
---------	--

表示並び順	変更対象 ※②変更対象	納品年月日(降順)
	変更後 ※②変更対象	直接納品先コード(昇順)

画面名	直接納品先一括変更画面
-----	-------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②変更対象	最終納品日	最終納品先納品日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択	○		同一日付が存在する場合は 統一して表示する
2	②変更対象	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字/ 全角文字	10/12			選択	○		

画面名 受領一覧画面

画面内容 受信した受領、返品データを一覧画面で確認します

画面レイアウト

①メニューボタン

②対象期間

③絞込条件

④確認一覧

受領一覧

閉じる(F12)

対象期間

計上日 10000101 ~ 30000101 検索

絞込条件

データ種 計上日 納品店舗 直接納品先 伝票番号

0:受領 20150305 08505:町北町 0899982700:福島TC 02606513

確認一覧

詳細	データ種	計上日	納品年月日	伝票番号	納品店舗	直接納品先	D P T	商品区分	カード区分	原価金額合計
詳細	0:受領	20150305	20150305	02606513	08505:町北町	0899982700:福島	006:分類サンプル	02:準特価(中目)	03:発注始まり(TA	717.431

画面名	受領一覧画面
-----	--------

画面操作方法

- ◆ 受領データ、受領訂正データ、返品データを確認する
 - ①.『対象期間』に表示対象の計上日を入力します
 - ②.『検索』ボタンを押すことで、「確認一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます
 - ③.「確認一覧」に表示されたデータを絞り込むには、「絞込条件」を指定します
 - ④.『詳細』ボタンを押すことで、データ種別明細画面を表示します

画面名	受領一覧画面
-----	--------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受領/返品業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
検索ボタン ※①メニューボタン	・「②対象期間」の『計上日』を条件に、「③絞込条件」内のコンボボックスを再作成、「④確認一覧」に該当データを表示します ※『検索』ボタン押下時に、「③絞込条件」内のコンボボックスに入力/選択されていた値をクリアします ※該当データが表示件数(15行)以上存在した時、「④確認一覧」にスクロールバーを表示します ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
対象期間 ※②対象期間	・『計上日』の条件は、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」⇒ 左のコンボボックスで指定した値以降全てを検索対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定」⇒ 右のコンボボックスで指定した値以前全てを検索対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス指定」⇒ 左右のコンボボックスで指定した範囲内を検索対象とします ----- 初期表示状態 ・左右の『計上日』テキストボックスにシステム日付を表示 ・『計上日』テキストボックスが入力可能の状態 ・『検索』ボタン押下可能の状態
絞込条件 ※③絞込条件	・「④確認一覧」に表示されたデータを絞込ます ※「④確認一覧」にデータが表示されている状態でのみ指定可能です ※各条件コンボボックスで選択した値全てをAND条件とし『確認一覧』の絞込を行います、各条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称カナ」となっているコンボボックスでは、「コード:名称カナ」で重複判断を行います ただし、絞込処理は「コード」のみで行うため、選択した「コード:名称カナ」のデータのみを表示することはできません ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

確認一覧
※④確認一覧

- ・「②対象期間」「③絞込条件」で指定した条件に該当するデータを表示します
 - ・『詳細』ボタンを押下することで、各データ種の明細画面を開きます
 - 受領データ ⇒ 受領明細画面
 - 受領訂正データ ⇒ 受領訂正明細画面
 - ★納品年月日について
 - ・受領訂正のデータレイアウトに納品年月日項目が存在しないため、受領訂正では納品年月日は表示されません
-
- 初期表示状態
- ・全項目データ非表示

画面名	受領一覧画面
-----	--------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・受領データ ・受領訂正データ
---------	--

表示並び順	確認一覧 ※④確認一覧	計上日＞最終納品先納品日＞取引番号＞データ種
	データ種 ※③絞込条件	データ種(昇順) ※「0:受領」>「1:受領訂正」の順
	計上日 ※③絞込条件	計上日(降順)
	納品店舗 ※③絞込条件	納品店舗コード[最終納品先コード](昇順)
	直接納品先 ※③絞込条件	直接納品先コード(昇順)
	伝票番号 ※③絞込条件	取引番号(昇順)

画面名	受領一覧画面
-----	--------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②対象期間	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	※	日付チェック	左右どちらか入力必須
2	②対象期間	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	※	日付チェック	左右どちらか入力必須
3	③絞込条件	データ種	データ種を「0:受領」「1:受領訂正」で表示する	全角文字				選択			以下に従い表示 0:受領 1:受領訂正
4	③絞込条件	計上日	計上日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
5	③絞込条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字	13/20			選択			
6	③絞込条件	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字	13/20			選択			
7	③絞込条件	伝票番号	取引番号	半角文字	10			入力/選択		半角数字のみ	
8	④確認一覧	データ種	データ種を「0:受領」「1:受領訂正」で表示する	全角文字				不可			以下に従い表示 0:受領 1:受領訂正
9	④確認一覧	計上日	計上日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
10	④確認一覧	納品年月日	最終納品先納品日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
11	④確認一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
12	④確認一覧	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字／ 全角文字	13/20			不可			
13	④確認一覧	直接納品先	直接納品先コード／ 直接納品先名称	半角文字／ 全角文字	13/20			不可			
14	④確認一覧	DPT	商品分類(大)／ 自由使用欄	半角文字／ 全角文字	10/60			不可			
15	④確認一覧	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
16	④確認一覧	カード区分	処理種別	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:出荷始まり(手書き) 03:発注始まり(TA) 05:受領訂正
17	④確認一覧	原価金額合計	原価金額合計	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 受領明細画面

画面内容 受領データを受領明細画面で確認します

画面レイアウト

受領明細

開じる(F12)

伝票番号
02606513

②伝票番号

取引情報

納品店舗コード	直接納品先コード			納品法人コード	契約法人コード	取引先コード	
納品店舗名	直接納品先名		不定貫区分	納品法人名		取引先名	
08505	0899982700			08	08	999999	
町北町	福島TC		00:定貫	08 ヨークベニマル		株式会社テスト取引	
	発注年月日	発注区分	税率	DPTコード			
	納品年月日	計上日	商品区分	カード区分	税区分	DPT名	
	20150304		01:外注		8.0	006	
	20150305	20150305	02:準特価(中目)	03:発注始まり(TA)	01:原売価内税	分類サンプル006	

取引明細情報

商品コード	品番		行	売場分類	セット入数	発注数量	出荷数量	受領数量	原価単価	受領原価金額	
	商品名称			品揃分類		発注ケース数		受領ケース数	売価単価	受領売価金額	
4513574013483	80202		01	671	1.0	6.0	6.0	6.0	1,100.00	6,600	
YBサンプル商品06				6748		6		6	1,200	7,200	
4513574013490	80202		02	673	1.0	6.0	6.0	6.0	1,340.00	8,040	
YBサンプル商品07				6712		6		6	1,540	9,240	
4514603248906	80202		03	674	1.0	6.0	3.0	3.0	1,450.00	4,350	
YBサンプル商品08				6787		6		3	1,650	4,950	
4514603248913	80202		04	674	1.0	6.0	6.0	6.0	1,580.00	9,480	
YBサンプル商品09				6748		6		6	1,900	11,400	
4547014003079	80202		05	671	9.0	63.0	45.0	45.0	2,350.33	105,765	
YBサンプル商品10				6748		7		5	2,504	112,680	
4548175295402	80202		06	674	8.0	56.0	40.0	40.0	4,550.33	182,013	
YBサンプル商品11				6787		7		5	4,804	192,160	

原価金額合計 717,431

①メニューボタン

③取引情報

④取引明細

画面名	受領明細画面
-----	--------

画面操作方法

- ◆ 受領データを確認する
 - ①.[受領一覧]画面で選択した「伝票番号」の受領データを確認します

画面名	受領明細画面
-----	--------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、[受領一覧]画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能の状態
取引番号コンボボックス ※②取引番号	・『④取引明細』に『伝票番号』コンボボックスで選択された値に該当する画面を表示します ※該当データが表示件数(6行)以上存在した時、「④取引明細」にスクロールバーを表示します 初期表示状態 ・[受領一覧]画面で選択した取引番号を表示し、入力/選択不可の状態になります
取引情報 ※③取引情報	初期表示状態 ・入力・選択された伝票番号に該当する伝票ヘッダデータを表示します
取引明細 ※④取引明細	初期表示状態 ・入力・選択された伝票番号に該当する伝票明細データを表示します

画面名	受領明細画面
-----	--------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・受領データ
---------	----------------------------------

表示並び順	取引明細情報 ※④取引明細	行(昇順)
-------	------------------	-------

画面名	受領明細画面
-----	--------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②取引番号	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
2	③取引情報	納品店舗コード	最終納品先コード	半角文字	13			不可			
3	③取引情報	納品店舗名	最終納品先名称	全角文字	20			不可			
4	③取引情報	直接納品先コード	直接納品先コード	半角文字	13			不可			
5	③取引情報	直接納品先名	直接納品先名称	全角文字	20			不可			
6	③取引情報	不定貴区分	不定貴区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:定貴 01:不定貴
7	③取引情報	納品法人コード	発注者コード	半角文字	13			不可			
8	③取引情報	納品法人名	発注者名称	全角文字	20			不可			
9	③取引情報	契約法人コード	支払法人コード	半角文字	13			不可			
10	③取引情報	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			不可			
11	③取引情報	取引先名	取引先名称	全角文字	20			不可			
12	③取引情報	納品年月日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
13	③取引情報	発注年月日	発注日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
14	③取引情報	計上日	計上日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
15	③取引情報	発注区分	発注区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:外注 02:内注
16	③取引情報	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
17	③取引情報	カード区分	処理種別	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:出荷始まり(手書き) 03:発注始まり(TA) 05:受領訂正
18	③取引情報	税率	税率	数値	2	1	Z9.9	不可			
19	③取引情報	税区分	税区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:無指定 01:原売価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
20	③取引情報	DPTコード	商品分類(大)	半角文字	10			不可			
21	③取引情報	DPT名	自由使用欄	全角文字	60			不可			
22	④取引明細	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			不可			
23	④取引明細	商品名称	商品名	全角文字	25			不可			
24	④取引明細	品番	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
25	④取引明細	行	取引明細番号(発注・返品)	半角文字	4			不可			
26	④取引明細	売場分類	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
27	④取引明細	品揃分類	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
28	④取引明細	セット入数	発注単位	数値	3	1	ZZ9.9	不可			

No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
29	④取引明細	発注数量	発注数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
30	④取引明細	発注ケース数	発注数量(発注単位数)	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
31	④取引明細	出荷数量	出荷数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
32	④取引明細	受領数量	受領数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
33	④取引明細	受領ケース数	受領数量(発注単位数)	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
34	④取引明細	原価単価	原単価	数値	8	2	ZZ,ZZZ,ZZ9.99	不可			
35	④取引明細	売価単価	売単価	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
36	④取引明細	受領原価金額	原価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
37	④取引明細	受領売価金額	売価金額	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
合計表示											
38	④取引明細	数量合計	数量合計	数値	6	0	ZZZ,ZZ9	不可			
39	④取引明細	重量合計	重量合計	数値	10	3	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9.999	不可			
40	④取引明細	原価金額合計	原価金額合計	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
41	④取引明細	売価金額合計	売価金額合計	数値	10	0	Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 受領訂正明細画面

画面内容 受領訂正データを受領訂正明細画面で確認します

画面レイアウト

受領訂正明細

閉じる(F12)

伝票番号
02606556

②伝票番号

取引情報

納品店舗コード	直接納品先コード			納品法人コード	契約法人コード	取引先コード	
納品店舗名	直接納品先名称		不定貫区分	納品法人名		取引先名称	
08514	0899982700			08	08	999999	
須賀川森宿	福島TC		00:定貫	㈱ ヨークベニマル		株式会社テスト取引先	
		計上日	商品区分	カード区分	税率	DPTコード	DPT名
					8.0	009	
		20150305	03:特売(チラシ)	05:受領訂正	05:原価外税売価外	分類サンプル009	

取引明細情報

商品コード	品番	行	売場分類	訂正数量	原価単価	訂正原価金額
	商品名称		品揃分類		売価単価	訂正売価金額
4548175387589		01	303	3.0	410.00	1,230
YBサンプル商品15			0329		490	1,470
0410803420064		02	304	5.0	772.00	3,860
YBサンプル商品03			0347		840	4,200

原価金額合計 5,090

①メニューボタン

③取引情報

④取引明細

画面名	受領訂正明細画面
-----	----------

画面操作方法

◆ 受領訂正データを確認する

- ①.[受領一覧]画面で選択した「伝票番号」の受領訂正データを確認します

画面名	受領訂正明細画面
-----	----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、[受領一覧]画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
取引番号コンボボックス ※②取引番号	・『④取引明細』に『伝票番号』コンボボックスで選択された値に該当する画面を表示します ※該当データが表示件数(6行)以上存在した時、「④取引明細」にスクロールバーを表示します ----- 初期表示状態 ・[受領一覧]画面で選択した取引番号を表示し、入力/選択不可の状態になります
取引情報 ※③取引情報	初期表示状態 ・入力・選択された取引番号に該当する伝票ヘッダデータを表示します
取引明細 ※④取引明細	初期表示状態 ・入力・選択された伝票番号に該当する伝票明細データを表示します

画面名	受領訂正明細画面
-----	----------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・受領訂正データ
---------	------------------------------------

表示並び順	取引明細情報 ※④取引明細	行(昇順)
-------	------------------	-------

画面名	受領訂正明細画面
-----	----------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②取引番号	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
2	③取引情報	納品店舗コード	最終納品先コード	半角文字	13			不可			
3	③取引情報	納品店舗名	最終納品先名称	全角文字	20			不可			
4	③取引情報	直接納品先コード	直接納品先コード	半角文字	13			不可			
5	③取引情報	直接納品先名	直接納品先名称	全角文字	20			不可			
6	③取引情報	不定貫区分	不定貫区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:定貫 01:不定貫
7	③取引情報	納品法人コード	発注者コード	半角文字	13			不可			
8	③取引情報	納品法人名	発注者名称	全角文字	20			不可			
9	③取引情報	契約法人コード	支払法人コード	半角文字	13			不可			
10	③取引情報	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			不可			
11	③取引情報	取引先名	取引先名称	全角文字	20			不可			
12	③取引情報	計上日	計上日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
13	③取引情報	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
14	③取引情報	カード区分	処理種別	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:出荷始まり(手書き) 03:発注始まり(TA) 05:受領訂正
15	③取引情報	税率	税率	数値	2	1	Z9.9	不可			
16	③取引情報	税区分	税区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:無指定 01:原価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
17	③取引情報	DPTコード	商品分類(大)	半角文字	10			不可			
18	③取引情報	DPT名	自由使用欄	全角文字	60			不可			
19	④取引明細	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			不可			
20	④取引明細	品番	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
21	④取引明細	商品名称	商品名	全角文字	25			不可			
22	④取引明細	行	取引明細番号(発注・返品)	半角文字	4			不可			
23	④取引明細	売場分類	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
24	④取引明細	品揃分類	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
25	④取引明細	訂正数量	訂正数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ.ZZ9.9	不可			
26	④取引明細	原価単価	原単価	数値	8	2	ZZ.ZZZ.ZZ9.99	不可			
27	④取引明細	売価単価	売単価	数値	10	0	Z.ZZZ.ZZZ.ZZ9	不可			
28	④取引明細	訂正原価金額	原価金額	数値	10	0	Z.ZZZ.ZZZ.ZZ9	不可			
29	④取引明細	訂正売価金額	売価金額	数値	10	0	Z.ZZZ.ZZZ.ZZ9	不可			

No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
合計表示											
30	④取引明細	原価金額合計	原価金額合計	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 受領差異確認一覧画面

画面内容 送信した出荷データと、受信した受領データ・受領訂正データとの差異を一覧画面で確認します

画面レイアウト

受領差異確認一覧

閉じる(F12)

対象期間

計上日10000101 ~ 30000101

検索

絞込条件

伝票番号計上日(納品日)納品店舗差異区分

差異確認一覧

詳細	伝票番号	計上日(納品)	納品店舗				出荷原金額計	受領/訂原金計		差異区分
詳細	00000044	20150305	08770:山形深町				0	3,738		2:受領のみ
詳細	00000055	20150305	08671:鹿沼				0	1,544		2:受領のみ
詳細	0000044	20150305	08770:山形深町				3,738	0		1:出荷のみ
詳細	0000055	20150305	08671:鹿沼				5,406	0		1:出荷のみ
詳細	02606491	20150304	08770:山形深町				6,661	6,661		0:一致
詳細	02606505	20150305	08770:山形深町				123,730	123,730		0:一致
詳細	02606513	20150305	08505:町北町				717,431	717,431		0:一致
詳細	02606521	20150305	08505:町北町				65,000	65,000		0:一致
詳細	02606530	20150305	08505:町北町				0	0		0:一致
詳細	02606548	20150305	08770:山形深町				17,730	17,730		0:一致
詳細	02606556	20150305	08514:須賀川森宿				17,730	12,640		9:差異あり
詳細	02606564	20150305	08671:鹿沼				178,320	178,320		0:一致
詳細	02606572	20150305	08671:鹿沼				65,000	65,000		0:一致
詳細	02606580	20150305	08671:鹿沼				6,150	6,150		0:一致

①メニューボタン

②対象期間

③絞込条件

④確認一覧

画面名	受領差異確認一覧画面
-----	------------

画面操作方法

◆ 出荷データ、受領データ、受領訂正データの差異を確認する

- ①.『対象期間』に表示対象の計上日を入力します
- ②.『検索』ボタンを押すことで、「差異確認一覧」に指定した「対象期間」のデータが表示されます
- ③.「受領一覧」に表示したデータを絞り込むには、「絞り込条件」を指定します
- ④.『詳細』ボタンを押すことで、受領差異確認明細画面を開きます

画面名	受領差異確認一覧画面
-----	------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受領業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
検索ボタン ※①メニューボタン	・「②対象期間」の『計上日』を条件に、「③絞込条件」内のコンボボックスを再作成、「④確認一覧」に該当データを表示します ※『検索』ボタン押下時に、「③絞込条件」内のコンボボックスに入力/選択されていた値をクリアします ※該当データが表示件数(15行)以上存在した時、「④確認一覧」にスクロールバーを表示します ----- ・「④確認一覧」の表示対象データ内で、出荷データ、受領データのどちらかに、同一取引番号のデータが複数存在した場合、警告メッセージを表示し、何もしないで、元の状態に戻ります ※『計上日』に入力した値は保持します ----- ・出荷データには「計上日」項目がないため、「納品年月日」(最終納品先納品日)で検索を行います ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
対象期間 ※②対象期間	・『計上日』の条件は、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定 ⇒ 左のコンボボックスで指定した値以降全てを検索対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定 ⇒ 右のコンボボックスで指定した値以前全てを検索対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス指定 ⇒ 左右のコンボボックスで指定した範囲内を検索対象とします ----- 初期表示状態 ・左右の『計上日』テキストボックスにシステム日付を表示 ・『計上日』テキストボックスが入力可能な状態 ・『検索』ボタン押下可能の状態
絞込条件 ※③絞込条件	・「④確認一覧」に表示されたデータを絞込ます ※「④確認一覧」にデータが表示されている状態でのみ指定可能です ※各条件コンボボックスで選択した値全てをAND条件とし『差異確認一覧』の絞込を行います、各条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード:名称」で重複判断を行います ただし、絞込処理は「コード」のみで行うため、選択した「コード:名称」のデータのみを表示することはできません ----- ・出荷データには「計上日」項目がないため、「納品年月日」(最終納品先納品日)で検索を行います ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

差異確認一覧
※④確認一覧

- ・「②対象期間」「③絞込条件」で指定した条件に該当するデータを表示します
 - ・『詳細』ボタンを押下することで、出荷/受領/受領訂正明細画面を開きます
 - ・「差異区分」は以下のキー項目によって、以下データ種の差異を判定します
- ★キー項目
- 出荷データ：「取引先コード」「伝票番号」「納品年月日」
受領/受領訂正データ：「取引先コード」「伝票番号」「計上日」
- ★対象データ種
- 出荷データ(送信済)、受領データ、受領訂正データ
※受領データと受領訂正データは上記キーによってサマリーした結果を画面に表示します
- ・受領データはプラス、受領訂正データはマイナスとしてサマリーします
(受領データ、受領訂正データ共に、数量等の数値項目は全てプラスでデータベースに格納されています)
(受領訂正データしかない場合、サマリーした結果はマイナスとなり、画面に表示されます)
- ★差異区分種類
- ※以下、出荷は送信済み出荷データを指すものとし、受領は受領データをサマリーした結果を、受領訂正は受領訂正データをサマリーした結果を指すものとし
- 0:一致：出荷データと受領/受領訂正データの「数量合計」「原価金額合計」が全て一致している状態
⇒全項目黒字で表示します
【以下のパターンに該当する場合、「0:一致」になります】
- 出荷 = 受領 (受領訂正がない場合)
出荷 = 受領 - 受領訂正 (全データ種がある場合)
- 1:出荷のみ：出荷データに対する受領/受領訂正データが存在しない状態
⇒出荷データ項目は全て赤字で表示します
【以下のパターンに該当する場合、「1:出荷のみ」になります】
- 出荷あり、受領なし、受領訂正なし
- 2:受領のみ：受領データに対する出荷データが存在しない状態
⇒受領/受領訂正データ項目は全て赤字で表示します
【以下のパターンに該当する場合、「2:受領のみ」になります】
- 出荷なし、受領あり、受領訂正なし
出荷なし、受領あり、受領訂正あり
出荷なし、受領なし、受領訂正あり
- 4:差異あり：出荷データと受領/受領訂正データの「数量合計」「原価金額合計」の合計値のいずれかが異なっている状態
⇒差異がある項目を赤字で表示します
【以下のパターンに該当する場合、「4:差異あり」になります】
- 出荷 ≠ 受領 (受領訂正データがない場合)
出荷 ≠ 受領 - 受領訂正 (全データ種がある場合)
出荷 ≠ - 受領訂正 (受領データがない場合)
-
- 初期表示状態
- ・全項目データ非表示

画面名	受領差異確認一覧画面
-----	------------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・送信済み出荷データ ・受領データ ・受領訂正データ
---------	--

表示並び順	差異確認一覧 ※④確認一覧	伝票番号[取引番号]>計上日>納品店舗コード[最終納品先コード]
	伝票番号 ※③絞込条件	伝票番号[取引番号](昇順)
	計上日 ※③絞込条件	計上日(降順)
	納品店舗 ※③絞込条件	納品店舗コード[最終納品先コード](昇順)
	差異区分 ※③絞込条件	差異区分(昇順) ※「0:一致」「1:出荷のみ」「2:受領のみ」「4:差異あり」の順

画面名	受領差異確認一覧画面
-----	------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②対象期間	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	※	日付チェック	左右どちらか入力必須
2	②対象期間	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	※	日付チェック	左右どちらか入力必須
3	③絞込条件	伝票番号	取引番号	半角文字	10			入力/選択		半角数字のみ	
4	③絞込条件	計上日	計上日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
5	③絞込条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			選択			
6	③絞込条件	差異区分	該当データの差異を「0:一致」「1:出荷のみ」「2:受領のみ」「4:差異あり」で表示する	全角文字				選択			以下に従い表示 0:一致 1:出荷のみ 2:受領のみ 4:差異あり
7	④確認一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
8	④確認一覧	計上日(納品日)	計上日/最終納品先納品日(出荷)	日付	8		YYYYMMDD	不可			
9	④確認一覧	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	13/20			不可			
10	④確認一覧	出荷原価金額計	原価金額合計(出荷)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
11	④確認一覧	受領/訂正原金計	受領、受領訂正データの原価金額合計サマリー値	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
12	④確認一覧	差異区分	該当データの差異を「0:一致」「1:出荷のみ」「2:受領のみ」「4:差異あり」で表示する	全角文字				不可			以下に従い表示 0:一致 1:出荷のみ 2:受領のみ 4:差異あり

画面名 受領差異確認明細画面

画面内容 送信した出荷データと、受信した受領、受領訂正データとの差異を明細画面で確認します

画面レイアウト

受領差異確認明細

閉じる(F12)

伝票番号
02606556

②伝票番号

取引情報

納品店舗コード	直接納品先コード			納品法人コード	契約法人コード	取引先コード	
納品店舗名	直接納品先名		不定買区分	納品法人名		取引先名	
08514	0899982700			08	08	999999	
須賀川森宿	福島TC		00:定買	㈱ ヨークベニマル		株式会社テスト取引	
	発注年月日	発注区分		税率	DPTコード		
	納品年月日	計上日	商品区分	カード区分	税区分		DPT名
	20150304		01:外注		8.0	009	
	20150305	20150305	03:特売(チラシ)	03:発注始まり(TA)	03:非課税		分類サンプル009

取引明細情報

商品コード	品番		行	売場分類			セット入数	出荷数量	受領数量		
	商品名称			品揃分類	出荷原価金額	受領原価金額					
4548175387589	71105		01	303			15.0	15.0	12.0		
YBサンプル商品15				0329	6,150	4,920					
0410803420064	71105		02	304			15.0	15.0	10.0		
YBサンプル商品03				0347	11,580	7,720					

出荷原価金額合計 17,730 受領原価金額合計 12,640

①メニューボタン

③取引情報

④取引明細

画面名	受領差異確認明細画面
-----	------------

画面操作方法

- ◆ 出荷データ、受領データの差異を明細画面で確認する
 - ①.[受領差異確認一覧]画面で選択した「伝票番号」のデータを確認します

画面名	受領差異確認明細画面
-----	------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、[受領差異確認一覧]画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能の状態
取引番号コンボボックス ※②取引番号	・「③取引情報」「④取引明細情報」に『伝票番号』コンボボックスで選択された値に該当する画面を表示します ※該当データが表示件数(6行)以上存在した時、「④取引明細」にスクロールバーを表示します 初期表示状態 ・[受領差異確認一覧]画面で選択した伝票番号を表示し、入力/選択不可の状態になります
取引情報 ※③取引情報	初期表示状態 ・[受領差異確認一覧]画面で選択した伝票番号の伝票ヘッダデータを表示します ・全項目入力/選択不可の状態 ・表示対象データが複数あった場合、[受領差異確認一覧]画面の「差異区分」に応じて以下のようにデータを取得し画面表示します ★表示元データ 「差異区分」が「0:一致」の場合 ⇒ “受領データ”を元に全項目を表示します 「1:出荷のみ」の場合 ⇒ “出荷データ”を元に全項目を表示します 「2:受領のみ」の場合 ⇒ “受領データ”を元に全項目を表示します 「4:差異あり」の場合 ⇒ “受領データ”がある場合は、“受領データ”を元に全項目を表示します “受領データ”がない場合は、“出荷データ”を元に全項目を表示します
取引明細情報 ※④取引明細	初期表示状態 ・[受領返品差異確認一覧]画面で選択した取引番号の伝票明細データを表示します ・全項目入力/選択不可の状態 ・表示対象データが複数あった場合、[受領返品差異確認一覧]画面の「差異区分」に応じて以下のようにデータを取得し画面表示します ★表示元データ 「差異区分」が「0:一致」の場合 ⇒ 「商品名」等の各データ共通項目は“受領データ”を元に表示します 「1:出荷のみ」の場合 ⇒ “出荷データ”を元に全項目を表示します 「2:受領のみ」の場合 ⇒ “受領データ”を元に全項目を表示します 「4:差異あり」の場合 ⇒ “受領データ”がある場合は、「商品名」等の各データ共通項目は“受領データ”を元に表示します “受領データ”がない場合は、「商品名」等の各データ共通項目は“出荷データ”を元に表示します
	・以下項目に差異がある場合、該当の項目全てを赤字で表示します 出荷数量 ⇔ 受領数量 出荷原価金額 ⇔ 受領原価金額計 出荷数量合計 ⇔ 受領数量合計 出荷原価金額合計 ⇔ 受領原価金額合計

画面名	受領差異確認明細画面
-----	------------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・送信済み出荷データ ・受領データ ・受領訂正データ
---------	--

表示並び順	取引明細情報 ※④取引明細	行(昇順)
-------	------------------	-------

画面名	受領差異確認明細画面
-----	------------

画面項目内容											
No	表示グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②取引番号	伝票番号	取引番号	半角文字	10			不可			
2	③取引情報	納品店舗コード	最終納品先コード	半角文字	13			不可			
3	③取引情報	納品店舗名	最終納品先名称	全角文字	20			不可			
4	③取引情報	直接納品先コード	直接納品先コード	半角文字	13			不可			
5	③取引情報	直接納品先名	直接納品先名称	全角文字	20			不可			
6	③取引情報	不定貴区分	不定貴区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:定貴 01:不定貴
7	③取引情報	納品法人コード	発注者コード	半角文字	13			不可			
8	③取引情報	納品法人名	発注者名称	全角文字	20			不可			
9	③取引情報	契約法人コード	支払法人コード	半角文字	13			不可			
10	③取引情報	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			不可			
11	③取引情報	取引先名	取引先名称	全角文字	20			不可			
12	③取引情報	納品年月日	最終納品先納品日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
13	③取引情報	発注年月日	発注日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
14	③取引情報	計上日	計上日	半角文字	8		YYYYMMDD	不可			
15	③取引情報	発注区分	発注区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:外注 02:内注
16	③取引情報	商品区分	商品区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 01:定番 02:準特価(中目) 03:特売(チラシ)
17	③取引情報	カード区分	処理種別	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:出荷始まり(手書き) 03:発注始まり(TA) 05:受領訂正
18	③取引情報	税率	税率	数値	2	1	Z9.9	不可			
19	③取引情報	税区分	税区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:無指定 01:原価価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
20	③取引情報	DPTコード	商品分類(大)	半角文字	10			不可			
21	③取引情報	DPT名	自由使用欄	全角文字	60			不可			
22	④取引明細	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	14			不可			
23	④取引明細	商品名称	商品名	全角文字	25			不可			
24	④取引明細	品番	商品コード(取引先)	半角文字	14			不可			
25	④取引明細	行	取引明細番号(発注・返品)	半角文字	4			不可			
26	④取引明細	売場分類	商品分類(小)	半角文字	10			不可			
27	④取引明細	品揃分類	商品分類(細)	半角文字	10			不可			
28	④取引明細	出荷原価金額	原価金額(出荷)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
29	④取引明細	受領原価金額	原価金額(受領)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
30	④取引明細	セット入数	発注単位	数値	3	1	ZZ9.9	不可			
31	④取引明細	出荷数量	出荷数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
32	④取引明細	受領数量	受領数量(バラ)	数値	6	1	ZZZ,ZZ9.9	不可			
合計表示											
33	④取引明細	出荷数量合計	数量合計(出荷)	数値	6		ZZZ,ZZ9	不可			
34	④取引明細	受領数量合計	数量合計(受領)	数値	6		ZZZ,ZZ9	不可			
35	④取引明細	返品数量合計	数量合計(返品)	数値	6		ZZZ,ZZ9	不可			
36	④取引明細	出荷原価金額合計	原価金額合計(出荷)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
37	④取引明細	受領原価金額合計	原価金額合計(受領)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
38	④取引明細	返品原価金額合計	原価金額合計(返品)	数値	10		Z,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 各種帳票出力画面

画面内容 受領リスト・受領訂正リスト・出荷受領差異確認リストの出力を行います

画面レイアウト

【受領リスト・受領訂正リスト選択時】

各種帳票出力

印刷(F5) プレビュー(F6) 閉じる(F12)

出力帳票

☒ 受領リスト

☐ 出荷受領差異確認リスト

☐ 受領訂正リスト

出力条件

計上日 20150301 ~ 20150331

受信日 2015/03/11 11:46:1 ~ 2015/03/11 11:46:1

納品店舗 08505#町北町

①メニューボタン

②出力帳票

③出力条件

画面名 各種帳票出力画面

画面内容 受領リスト・受領訂正リスト・出荷受領差異確認リストの出力を行います

画面レイアウト

【出荷受領差異確認リスト選択時】

①メニューボタン

②出力帳票

③出力条件

画面名	各種帳票出力画面
-----	----------

画面操作方法

- ◆各種帳票の出力をする
 - ①.出力を行う帳票を選択します
 - ②.出力条件を入力、選択します
 - ③.出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名	各種帳票出力画面
-----	----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受領業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」にて指定した条件で帳票を出力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ----- 初期表示状態 ・『受領リスト』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『受領リスト』『受領訂正リスト』『出荷受領差異確認リスト』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内テキストボックス、コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス、テキストボックスの間に“～”があるコンボボックス、テキストボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒左のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス指定」 ⇒右のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード：名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ・『差異区分』は以下のキーによって出荷データと受領データの差異を判定します ★キー項目 出荷データ 「取引先コード」「伝票番号」「納品年月日」 受領データ 「取引先コード」「伝票番号」「計上日」 ★差異区分種類 0：一致 ：キー項目が同じ出荷データと受領データの「数量合計」「重量合計」「原価金額合計」「売価金額合計」が全て一致している状態 9：差異あり：キー項目が同じ出荷データと受領データの「数量合計」「重量合計」「原価金額合計」「売価金額合計」のいずれかに差異がある状態 ・『出荷受領差異確認リスト』ラジオボタンが選択されている時、「計上日（納品日）」項目は必須項目となり、初期表示としてシステム日付が表示されます

機能名称	機能説明
	初期表示状態 ・各条件が入力/選択可能な状態

画面名	各種帳票出力画面
-----	----------

表示対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（出力対象データも同様） 1.「②出力帳票」にて『受領リスト』選択時 ・受領データ 2.「②出力帳票」にて『受領訂正リスト』選択時 ・受領訂正データ 3.「②出力帳票」にて『出荷受領差異確認リスト』選択時 ・送信済出荷データ、受領データ
---------	---

表示並び順	受信日（左） ※③出力条件	受信日（降順）
	受信日（右） ※③出力条件	受信日（降順）
	納品店舗 ※③絞込条件	納品店舗コード（昇順）
	差異区分 ※③絞込条件	差異区分（昇順） ※「0:一致」「1:出荷のみ」「2:受領のみ」「3:返品のみ」「9:差異あり」の順

画面名	各種帳票出力画面
-----	----------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
出力条件(受領リスト、受領訂正リスト選択時)											
1	③出力条件	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力		日付チェック	
2	③出力条件	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力		日付チェック	
3	③出力条件	受信日(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	受信日(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
出力条件(出荷受領差異確認リスト選択時)											
1	③出力条件	計上日(納品日)(左)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	○	日付チェック	差異区分が「出荷のみ」の 場合
2	③出力条件	計上日(納品日)(右)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	○	日付チェック	差異区分が「出荷のみ」の 場合
3	③出力条件	受信日(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	受信日(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
6	③出力条件	差異区分	該当データの差異を「0:一致」「1:出 荷のみ」「2:受領のみ」「3:返品のみ」 「9:差異あり」から選択	全角文字				選択			以下に従い表示 0:一致 1:出荷のみ 2:受領のみ 3:返品のみ 9:差異あり

画面名 受領データファイル出力

画面内容 受領データの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

受領データファイル出力

閉じる(F12)

出力ファイル形式

☒ CSV形式

☐ 固定長

出力条件

受信日 2015/03/11 11:xx ~ 2015/03/11 11:xx

計上日 20150301 ~ 20150331

納品店舗 08505:町北町

出力ファイルパス

C:\受領.csv 参照

出力処理開始

①メニューボタン

②ファイル形式

③出力条件

④出力ファイルパス

⑤出力処理開始

画面名	受領データファイル出力
-----	-------------

画面操作方法

◆ 受領データをファイル出力する

- ①. 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②. 出力条件を各コンボボックス、テキストボックスにて指定します
- ③. 出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④. ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	受領データファイル出力
-----	-------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受領業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックス、テキストボックスにて選択/入力した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス、テキストボックスの間に“～”があるコンボボックス、テキストボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒左のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス指定」 ⇒右のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・各条件が入力/選択可能な状態
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力処理開始ボタン ※⑤出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	受領データファイル出力
-----	-------------

表示/ファイル 出力対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（ファイル出力対象データも同様） ・受領データ
--------------------	---

表示並び順	受信日（左） ※③出力条件	受信日（降順）
	受信日（右） ※③出力条件	受信日（降順）
	納品店舗 ※③出力条件	納品店舗コード（昇順）

画面名	受領データファイル出力
-----	-------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	受信日(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	受信日(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYY/MM/DD	入力		日付チェック	
4	③出力条件	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYY/MM/DD	入力		日付チェック	
5	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
6	④出力ファイルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 受領訂正データファイル出力

画面内容 受領訂正データの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

受領訂正データファイル出力

開じる(F12)

ファイル形式

☒ CSV形式

☐ 固定長

出力条件

受信日 2015/03/11 11:~ 2015/03/11 11:~

計上日 20150301 ~ 20150331

納品店舗 08671:鹿沼

出力ファイルパス

C:\受領訂正.csv 参照

出力処理開始

①メニューボタン

②ファイル形式

③出力条件

④出力ファイルパス

⑤出力処理開始

画面名	受領訂正データファイル出力
-----	---------------

画面操作方法

◆ 受領訂正データをファイル出力する

- ①. 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②. 出力条件を各コンボボックス、テキストボックスにて指定します
- ③. 出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④. ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	受領訂正データファイル出力
-----	---------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、受領業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックス、テキストボックスにて選択/入力した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『納品店舗』は「納品店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックス、テキストボックスの間に“～”があるコンボボックス、テキストボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒左のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス指定」 ⇒右のコンボボックス、テキストボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス、テキストボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・各条件が入力/選択可能な状態
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力処理開始ボタン ※⑤出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	受領訂正データファイル出力
-----	---------------

表示/ファイル 出力対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（ファイル出力対象データも同様） ・受領訂正データ
--------------------	---

表示並び順	受信日（左） ※③出力条件	受信日（降順）
	受信日（右） ※③出力条件	受信日（降順）
	納品店舗 ※③出力条件	納品店舗コード（昇順）

画面名	受領訂正データファイル出力
-----	---------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	受信日(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	受信日(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYY/MM/DD	入力		日付チェック	
4	③出力条件	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYY/MM/DD	入力		日付チェック	
5	③出力条件	納品店舗	最終納品先コード／ 最終納品先名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
6	④出力ファイルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 請求予定作成

画面内容 EDI外請求データ作成、編集を行います
※EDI請求データは作成できません

画面レイアウト

請求予定作成

作成(F2) 保存(F4) 取消(F9) 納品先マスター(F10) 支払法人マスター(F11) 請求予定リスト(F6) 開じる(F12)

請求サマリ情報

総伝票件数計	総請求金額合計
1	1,000

契約法人	伝票件数計	請求金額合計	納品店舗
08:ヨークベニマル	1	1,000	表示

契約法人	08:ヨークベニマル
------	------------

納品店舗	伝票件数計	請求金額合計	一覧
08770:山形深町	1	1,000	表示

納品店舗	08770:山形深町
------	------------

請求データ絞込条件

請求フラグ区分 0:請求対象外 請求内容 0:未請求データ 計上日 ~ 検索 取得

契約法人 納品店舗 伝票番号 ~ 取得

請求データ一覧

対象	請求状態	計上日	取引先コード	契約法人コード	本法人コード	納品店舗コード	請求金額	支払内容	発行区分	削除
		伝票番号	取引先名	契約法人名	本法人名	納品店舗名	納品年月日			
☐	0:未請求	20150305	999999	08	08	08671	56,789	1001:仕入明		削除
		0198582	テスト取引先	ヨークベニマル	ヨークベニマル	鹿沼	20150305		01	

一括してチェックする 一括してチェックを外す 請求対象データを更新 行追加

①メニュー
ボタン

②サマリ情報

③絞込条件

④請求一覧

画面名	請求予定作成
-----	--------

画面操作方法

- ◆ 請求データを作成する
 - ①.『作成』ボタンを押します
 - ②.EDI外(非オンライン)データの請求データを作成します
作成する請求データを一覧に直接入力し、該当データを請求データに含める場合はチェックをして『請求対象データを更新』ボタンを、
除外する場合はチェックを外し『請求対象データを更新』ボタンを押します
 - ③.『保存』ボタンを押し、作成した請求データを保存します
- ◆ 請求予定リストを印刷する
 - ①.『請求予定リスト』ボタンを押し、プレビュー画面を表示します
 - ②.プレビュー画面内にある『印刷』ボタンを押すことによって、請求予定リストを印刷することができます

画面名	請求予定作成
-----	--------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、請求/支払業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
作成ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・請求予定データの作成を開始します 当ボタンを押下することによって、画面を以下の状態にします 作成ボタン ⇒ 押下不可な状態 保存ボタン ⇒ 押下可能な状態 取消ボタン ⇒ 押下可能な状態 納品先マスタボタン ⇒ 押下可能な状態 ※変わりません 支払法人マスタボタン ⇒ 押下可能な状態 ※変わりません 請求予定リストボタン ⇒ 押下不可な状態 閉じるボタン ⇒ 押下可能な状態 ※変わりません 「②サマリ情報」 ⇒ 既に請求対象データに追加されているデータのサマリ情報を表示 「③絞込条件」 ⇒ 選択可能な状態 「④請求一覧」 ⇒ 「③絞込条件」で選択されている条件に見合ったデータを表示 ※EDI請求ボタンが押された状態の画面になります ※請求対象に既に追加されているデータにはチェックを、追加されていないデータはチェックを外した状態になります ※請求内容項目は、既に請求送信済のデータは“請求済”、請求未送信のデータは“未請求”と表示します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・「④請求一覧」内で『請求対象データを更新』を行ったデータを保存します ※請求対象データに追加していないEDI外請求データも保存されます ・データの保存後、画面を初期表示時に戻します ----- 初期表示状態 ・押下不可な状態 ※『作成開始』ボタンを押下することによって、押下可能な状態になります
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・「④請求一覧」内で『請求対象データを更新』を行ったデータを取消し、画面を初期表示時に戻します ※初期表示時とは、「作成開始」ボタンが押下される前の状態です ----- 初期表示状態 ・押下不可な状態 ※『作成開始』ボタンを押下することによって、押下可能な状態になります

機能名称	機能説明
納品先マスタボタン ※①メニューボタン ★F10ボタンで利用可能	・[納品先マスター一覧]画面を開きます ・「納品先マスタ」の新規/変更/削除が可能です ・操作方法等は、[マスタメンテナンス業務]⇒[納品先マスター一覧]画面と同じになります ※『閉じる』ボタンを押下した時の処理のみ異なります ★[請求予定作成]画面から開いた場合の『閉じる』ボタン動作★ ・[請求予定作成]画面に戻ります ※[請求予定作成]画面の編集時に『納品先マスタ』ボタンを押下した場合は、[請求予定作成]画面には編集内容を保持した状態で戻ります ★[マスタメンテナンス業務]から開いた場合の『閉じる』ボタン動作 ・[マスタメンテナンス業務]に戻ります ・当該ボタンから行った「納品先マスタ」の新規/変更/削除データは、[請求予定作成]画面に戻って直ぐに反映され、使用することができます ※使用可能場所は「④請求一覧」の一覧内にある「納品店舗」コンボボックス(EDI外請求データ作成時) 初期表示状態 ・押下可能の状態
支払法人マスタボタン ※①メニューボタン ★F11ボタンで利用可能	・[支払法人マスタメンテ]画面を開きます ・「支払法人マスタ」の新規/変更/削除が可能です ・操作方法等は、[マスタメンテナンス業務]⇒[支払法人マスタメンテ]画面と同じになります ※『閉じる』ボタンを押下した時の処理のみ異なります ★[請求予定作成]画面から開いた場合の『閉じる』ボタン動作★ ・[請求予定作成]画面に戻ります ※[請求予定作成]画面の編集時に『支払法人マスタ』ボタンを押下した場合は、[請求予定作成]画面には編集内容を保持した状態で戻ります ★[マスタメンテナンス業務]から開いた場合の『閉じる』ボタン動作 ・[マスタメンテナンス業務]に戻ります ・当該ボタンから行った「支払法人マスタ」の新規/変更/削除データは、[請求予定作成]画面に戻って直ぐに反映され、使用することができます ※使用可能場所は「④請求一覧」の一覧内にある「契約法人」コンボボックス(EDI外請求データ作成時) 初期表示状態 ・押下可能の状態
請求予定リストボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・請求対象データに追加されているデータの請求予定リストのプレビュー画面を表示します ・請求対象データに追加されているデータがない場合、警告メッセージが表示され、画面は変わりません 初期表示状態 ・押下可能の状態

機能名称	機能説明
請求サマリ情報グループボックス ※②サマリ情報	・「総伝票件数計」欄には、請求対象データに追加されているデータの合計を計算して表示します ・「契約法人」欄には、請求対象データに追加されているデータの契約法人を一覧表示し、それぞれの契約法人で作成された請求データの合計を計算して表示します ・「契約法人」欄の『表示』ボタンを押下することによって、「納品店舗」欄に該当契約法人の納品店舗毎の合計を計算して表示します ※「納品店舗」欄の上に、選択した契約法人を「契約法人コード: 契約法人名称」の形で表示します ・「納品店舗」欄の『設定』ボタンを押下することによって、「③絞込条件」のコンボボックスを以下の状態にし、「④請求一覧」に該当データを表示します - 請求フラグ区分 ⇒ 「0: 請求対象外」が自動的に選択される - 請求データ内容 ⇒ 「0: 未請求データ」が自動的に選択される - 計上日 ⇒ 自動的に空白が選択される - 契約法人 ⇒ 該当の契約法人が自動的に選択される - 納品店舗 ⇒ 該当の納品店舗が自動的に選択される - 伝票番号 ⇒ 自動的に空白が選択される
	初期表示状態 ・「総伝票件数計」欄には、請求対象データに追加されているデータの合計を計算して表示します ・「契約法人」欄には、請求対象データに追加されているデータの契約法人を一覧表示し、それぞれの契約法人で作成された請求データの合計を計算して表示します ・「契約法人」欄の『表示』ボタンを押下することによって、「納品店舗」欄に該当契約法人の納品店舗毎の合計を計算して表示します ※「納品店舗」欄の上に、選択した契約法人を「契約法人コード: 契約法人名称」の形で表示します ※「納品店舗」欄の『設定』ボタンは押下不可の状態になります
請求データ絞込条件グループボックス ※③絞込条件	・全請求予定データから、絞込条件コンボボックスが作成されます ※以下のコンボボックスは請求データに関係なく、固定で作成されます - 請求フラグ区分 ⇒ 固定で「0: 請求対象外」「1: 請求対象」「2: 両方」から選択が可能になります - 請求データ内容 ⇒ 固定で「0: 未請求データ」「1: 請求済データ」「2: 全データ」から選択が可能になります ・各コンボボックスを指定すると同時に、「④請求一覧」に表示されているデータが絞り込まれます ・各コンボボックスで指定した条件は全てAND条件となりますが、各コンボボックス間の絞込は行いません
	初期表示状態 ・選択不可の状態 ※『作成開始』ボタンを押下後、各コンボボックスは以下の状態になり、その状態に該当したデータが「④請求一覧」に表示されます - 請求フラグ区分 ⇒ 「0: 請求対象外」が自動的に選択される - 請求データ内容 ⇒ 「0: 未請求データ」が自動的に選択される - 計上日 ⇒ 自動的に空白が選択される - 契約法人 ⇒ 自動的に空白が選択される - 納品店舗 ⇒ 自動的に空白が選択される - 伝票番号 ⇒ 自動的に空白が選択される

機能名称	機能説明																										
請求データ一覧グループボックス ※④請求一覧	・「③絞込条件」で指定した条件に該当するデータを表示します ※請求対象データの行は“薄い黄色”、請求対象外データの行は“白色”で表示します ・『一括してチェックする』ボタンを押下すると、一覧に表示されている全データの「対象」チェックボックスにチェックを入れます ・『一括してチェックを外す』ボタンを押下すると、一覧に表示されている全データの「対象」チェックボックスからチェックを外します ・『請求対象データを更新』ボタンを押下すると、チェックの付いているデータを請求対象データに追加、チェックの付いていないデータを請求対象データから除外します ※『請求対象データを更新』ボタンを押下すると、「③絞込条件」で指定している条件で「④請求一覧」の再表示を行います ※一覧内でエラーが発生している場合、各画面のボタン、コンボボックスの動作は以下のようになります 「①メニューボタン」 <table> <tr> <td>保存ボタン</td><td>⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない</td></tr> <tr> <td>取消ボタン</td><td>⇒ 押下可能な状態</td></tr> <tr> <td>納品先マスタボタン</td><td>⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない</td></tr> <tr> <td>支払法人マスタボタン</td><td>⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない</td></tr> <tr> <td>閉じるボタン</td><td>⇒ 押下可能な状態</td></tr> </table> 「②サマリ情報」 <table> <tr> <td>表示ボタン</td><td>⇒ 押下可能な状態</td></tr> <tr> <td>設定ボタン</td><td>⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない</td></tr> </table> 「③絞込条件」 <table> <tr> <td>全コンボボックス</td><td>⇒ 変更された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない</td></tr> </table> 「④請求一覧」 <table> <tr> <td>一括してチェックするボタン</td><td>⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない</td></tr> <tr> <td>一括してチェックを外すボタン</td><td>⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない</td></tr> <tr> <td>請求対象データを更新</td><td>⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない</td></tr> <tr> <td>行追加ボタン</td><td>⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない</td></tr> <tr> <td>削除ボタン</td><td>⇒ 押下可能な状態</td></tr> </table> ★EDI請求 利用できません ★EDI外請求 【訂正】 ・請求対象データでないデータ(白色の行)は、以下の項目が訂正可能です - 計上日、伝票番号、取引先コード、契約法人、納品店舗、納品年月日、請求金額、連番、取引先エリア、支払内容、未払買掛区分、発行区分 ※請求対象データ(薄い黄色の行)は訂正が出来ません(訂正を行う場合は請求対象データから除外後に行います) ※訂正が完了するまで、他行の訂正を行うことはできません ※該当行からフォーカスを動かすことで訂正が完了となります 【削除】 ・請求対象データでないデータ(白色の行)にある『削除』ボタンを押下すると、該当行が一覧から削除されます ※請求対象データ(薄い黄色の行)にある『削除』ボタンは押下することができませんので、請求対象データから除外後に削除を行ってください ※該当行にエラーがあった場合も削除することができます 【新規】 ・新規入力時は、『行追加』ボタンを押下することで、一覧の一番下に空白行が追加されます - 該当行からフォーカスを動かすことで入力完了となります ※『行追加』ボタン押下後は、新規行の入力が完了、もしくは削除されるまで、他の行を編集することはできません ※入力したデータと、「③絞込条件」で指定した条件が異なっても入力は可能です 例) 納品店舗コンボボックスで「123: 納品店舗123」を指定している状態で、納品店舗に「555: 納品店舗555」を入力する ・「契約法人」コンボボックスは、「支払法人マスタ」から作成し表示します ※マスタにない契約法人を選択するには、「支払法人マスタ」から修正を行う必要があります(マスタにない契約法人を手入力することはできます)	保存ボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない	取消ボタン	⇒ 押下可能な状態	納品先マスタボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない	支払法人マスタボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない	閉じるボタン	⇒ 押下可能な状態	表示ボタン	⇒ 押下可能な状態	設定ボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない	全コンボボックス	⇒ 変更された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない	一括してチェックするボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない	一括してチェックを外すボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない	請求対象データを更新	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない	行追加ボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない	削除ボタン	⇒ 押下可能な状態
保存ボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない																										
取消ボタン	⇒ 押下可能な状態																										
納品先マスタボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない																										
支払法人マスタボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない																										
閉じるボタン	⇒ 押下可能な状態																										
表示ボタン	⇒ 押下可能な状態																										
設定ボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない																										
全コンボボックス	⇒ 変更された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない																										
一括してチェックするボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない																										
一括してチェックを外すボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない																										
請求対象データを更新	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない																										
行追加ボタン	⇒ 押下された時に警告メッセージを表示し、処理は行わない																										
削除ボタン	⇒ 押下可能な状態																										

機能名称	機能説明
	※「契約法人」コンボボックス選択後に「支払法人マスタ」を修正した場合、再度「契約法人」コンボボックスで該当の値を選択するまで修正した値は反映されません ※マスタから選択した場合は、データ保存時にマスタの“契約法人GLN”“契約法人名称カナ”を自動的に保存しますが、手入力した場合は、“契約法人GLN”は“0”、“契約法人名称カナ”は空文字を保存します ・「納品店舗」コンボボックスは、「納品先マスタ」から作成し表示します ※マスタにない納品店舗を選択するには、「納品先マスタ」から修正を行う必要があります（マスタにない納品店舗を手入力することはできます） ※「納品店舗」コンボボックス選択後に「納品店舗マスタ」を修正した場合、再度「納品店舗」コンボボックスで該当の値を選択するまで修正した値は反映されません ※マスタから選択した場合は、データ保存時にマスタの“納品店舗GLN”“納品店舗名称カナ”を自動的に保存しますが、手入力した場合は、“納品店舗GLN”は“0”、“納品店舗名称カナ”は空文字を保存します ・「取引先」コンボボックスは、「取引先マスタ」から作成し表示します ※マスタにない取引先を選択するには、「納品先マスタ」から修正を行う必要があります（マスタにない取引先を手入力することはできます） ※「取引先」コンボボックス選択後に「取引先マスタ」を修正した場合、再度「取引先」コンボボックスで該当の値を選択するまで修正した値は反映されません ※マスタから選択した場合は、データ保存時にマスタの“取引先GLN”“取引先名称カナ”を自動的に保存しますが、手入力した場合は、“取引先GLN”は“0”、“取引先名称カナ”は空文字を保存します 初期表示状態 ・データ非表示の状態 ・各ボタンは押下不可の状態

画面名	請求予定作成
-----	--------

表示対象データ	「④絞込条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(表示対象データも同様) ・請求データ
---------	---

表示並び順	計上日(右) ※④絞込条件	計上日(降順)
	計上日(左) ※④絞込条件	計上日(降順)
	契約法人 ※④絞込条件	契約法人コード(昇順)
	納品店舗 ※④絞込条件	納品店舗コード(昇順)
	伝票番号(右) ※④絞込条件	伝票番号(昇順)
	伝票番号(左) ※④絞込条件	伝票番号(昇順)
	契約法人欄 ※③サマリ情報	契約法人コード(昇順)
	納品店舗欄 ※③サマリ情報	納品店舗コード(昇順)
	請求データ一覧 ※⑤請求一覧	計上日>伝票番号>契約法人コード>納品店舗コード

画面名	請求予定作成
-----	--------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②明細サマリ	総伝票件数計	作成済み請求データの伝票件数合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
2	②明細サマリ	総請求金額合計	作成済み請求データの請求金額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
3	②明細サマリ	契約法人	支払法人コード／ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			不可			
4	②明細サマリ	伝票件数計 ※契約法人	契約法人コード毎の伝票件数合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
5	②明細サマリ	請求金額合計	契約法人コード毎の請求金額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
6	②明細サマリ	納品店舗	計上部署コード／ 計上部署名称	半角文字/ 全角文字	5/12			不可			
7	②明細サマリ	伝票件数計 ※納品店舗	該当契約法人コードの 納品店舗コード毎の伝票件数合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
8	②明細サマリ	請求金額合計	該当契約法人コードの 納品店舗コード毎の請求金額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
9	③絞込条件	請求フラグ区分	以下から選択が可能 0:請求対象外 1:請求対象 2:両方	全角文字				選択	○		
10	③絞込条件	請求内容	以下から選択が可能 0:未請求データ 1:請求済データ 2:全データ	全角文字				選択	○		
11	③絞込条件	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
12	③絞込条件	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
13	③絞込条件	契約法人	支払法人コード／ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			選択			
14	③絞込条件	納品店舗	計上部署コード／ 計上部署名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
15	③絞込条件	伝票番号(左)	取引番号	半角文字	7			入力/選択		半角数字のみ	
16	③絞込条件	伝票番号(右)	取引番号	半角文字	7			入力/選択		半角数字のみ	
◆EDI外請求◆											
17	④請求一覧	請求状態	該当データの請求データ内容を「0:未 請求」「1:請求済」「2:請求再送信済」 で表示する	全角文字				入力			
18	④請求一覧	計上日	計上日	日付	8		YYYYMMDD	入力	○	日付チェック	
19	④請求一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	7			入力	○	半角数字のみ	
20	④請求一覧	取引先コード	取引先コード	半角文字	6			入力	○	リスト内チェック	リスト内にない時は警告表 示 ※値は消さないでそのまま 保存可能
21	④請求一覧	契約法人コード	支払法人コード	半角文字	2			入力	○	半角数字のみ	
22	④請求一覧	納品店舗コード	計上部署コード	半角文字	5			入力	○	リスト内チェック	リスト内にない時は警告表 示 ※値は消さないでそのまま 保存可能
23	④請求一覧	納品年月日	商品分類(中)	半角文字	8		YYYYMMDD	入力	○	日付チェック	

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
24	④請求一覧	請求金額	請求金額	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	入力	○	数値チェック	リスト内にはない時は警告表示 ※値は消さないでそのまま保存可能
25	④請求一覧	支払内容	支払内容	半角文字	4			選択	○	リスト内チェック	以下に従い出力 1001:仕入明細 1002:返品明細 1003:移動明細 1004:値引明細 1005:委託明細 1006:受領訂正明細 2000:相殺明細(代表コード) 3001:相殺前支払額 3002:相殺合計
26	④請求一覧	発行区分	発行区分	半角文字	2			入力		半角数字のみ	

画面名 請求確定/送信

画面内容 請求データの確認、送信を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a software window titled '請求確定/送信'. It contains several sections: a top menu bar, a selection area for contract companies and request dates, a confirmation button, a table of request details, an output statement selection area, and a final transmission button with instructions.

①メニューボタン

②対象データ

③請求内容

④出力帳票

⑤請求送信

契約法人	伝票件数計	請求金額合計
08ヨークベニマル	2	57,789

納品店舗	伝票件数計	請求金額合計
08671:鹿沼	1	56,789
08770:山形深町	1	1,000

【請求タイプ】 1回送信

【注意】 同じ支払法人、請求締め日の請求データは1度しか送信することはできませんので、ご注意ください

画面名	請求確定/送信
-----	---------

画面操作方法

- ◆請求データを送信する
 - ①.「請求送信対象データ選択」で送信対象データの契約法人、締め日を選択後、『確認』ボタンを押します
 - ②.「請求内容」に「請求送信対象データ選択」で選択した条件に該当する請求データ内容が表示されます
 - ③.送信と同時に帳票を出力する場合は、「出力帳票」から出力する帳票にチェックを入れます
 - ④.請求内容確認のチェックボックスにチェックを入れ、『送信』ボタンを押し、送信を行います

画面名	請求確定/送信
-----	---------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、請求/支払業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
テストモード表示 ※①メニューボタン	初期表示状態 ・テストモードの場合は、“テストモード”と赤字で表示する ・本番モードの場合は何も表示しない
請求送信対象データ選択グループボックス ※②対象データ	・作成した請求データの契約法人を「契約法人」コンボボックスに表示します ・契約法人選択後、「請求締め日」コンボボックスを以下の状態にします 「請求締め日」コンボボックス ⇒ 選択した契約法人のマスタに登録してある締め日が選択可能になります（手入力も可能です） ※マスタにない場合は、手入力します ・契約法人、請求締め日選択後、『確認』ボタンを押下すると、以下2つのチェックを行います ◆未来請求データチェック◆ 締め日チェック終了後、請求対象データ内に未来請求データが含まれていないかチェックします ※未来請求データ = “請求対象データの計上日>「請求締め日」コンボボックスで入力/選択した値”となるデータ ⇒未来請求データがない場合は、何も表示せずに“締め日チェック”に進みます ⇒未来請求データがある場合は、以下のメッセージを表示します 「入力/選択した締め日を越える計上日の請求データが存在します このまま処理を続行してもよろしいですか？ ※入力/選択した締め日を越える計上日の請求データを削除する場合は、 請求予定作成画面にて、対象のデータを請求対象から除外してください」 ・『はい』選択 ⇒ “締め日”チェックに進みます ・『いいえ』選択 ⇒ 初期画面に戻ります ◆締め日チェック◆ ☆支払法人マスタに登録してある場合は、入力/選択された締め日がマスタに登録してあるかどうかチェックします ⇒マスタにある場合は、何も表示せずに画面を以下の状態にします 「③請求内容」に該当の請求データを表示します 「④出力帳票」のチェックボックスがチェック可能になります 「⑤請求送信」のチェックボックスがチェック可能になります ※『送信』ボタンは押下不可の状態のままになります ⇒マスタにない場合は、以下の確認メッセージを表示します 「支払法人マスタに登録のない締め日で、請求データを送信しようとしています このまま処理を続行してもよろしいですか？」 ・『はい』選択 ⇒ 画面を以下の状態にします 「③請求内容」に該当の請求データを表示します 「④出力帳票」のチェックボックスがチェック可能になります 「⑤請求送信」のチェックボックスがチェック可能になります ※『送信』ボタンは押下不可の状態のままになります ・『いいえ』選択 ⇒ 初期画面に戻ります ☆支払法人マスタに登録してない場合は、以下のメッセージを表示します 「支払法人マスタに未登録の支払法人が選択されています 未登録の支払法人が選択されている場合、締め日の確認ができません 選択した請求締め日で請求データを送信してもよろしいですか？」

機能名称	機能説明
	・『はい』選択 ⇒ 画面を以下の状態にします 「③請求内容」に該当の請求データを表示します 「④出力帳票」のチェックボックスがチェック可能になります 「⑤請求送信」のチェックボックスがチェック可能になります ※『送信』ボタンは押下不可の状態のままになります ・『いいえ』選択 ⇒ 初期画面に戻ります 初期表示状態 ・「契約法人」コンボボックスは選択可能な状態 ・「請求締め日」コンボボックスは選択不可な状態 ※「契約法人」コンボボックス選択後、選択可能な状態になります ・『確認』ボタンは押下不可な状態 ※『確認』ボタンは「契約法人」コンボボックス、「請求締め日(月/日)」コンボボックスを選択後、押下可能な状態になります
請求内容グループボックス ※③請求内容	・「②対象データ」で選択した条件に該当する請求データを、『確認』ボタン押下することで表示します 「契約法人」欄には、「②対象データ」で選択した請求データの合計を表示します 「納品店舗」欄には、「②対象データ」で選択した請求データの納品店舗毎の合計を表示します 初期表示状態 ・データ非表示の状態 ※『確認』ボタン押下することで、データを表示します
出力帳票グループボックス ※④出力帳票	・請求データ送信と同時に出力する帳票を、以下から選択します - 請求送信合計リスト - 請求送信明細リスト 初期表示状態 ・チェック不可の状態 ※『確認』ボタンを押下することで、チェック可能になります
請求内容を確認しましたチェックボックス ※⑤請求送信	・「②対象データ」「③請求内容」「④出力帳票」を確認後、チェックを入れます ・チェックの有無によって、『確認』ボタン、『送信』ボタンは以下ようになります - チェックあり⇒ 『確認』ボタン押下不可 『送信』ボタン押下可能 - チェックなし⇒ 『確認』ボタン押下可能 『送信』ボタン押下不可 初期表示状態 ・チェック不可の状態 ※『確認』ボタンを押下することで、チェック可能になります
送信ボタン ※⑤請求送信	・「②対象データ」で選択した請求データを送信します ・送信後は当画面を初期画面に戻します 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※「請求内容を確認しました」チェックボックスにチェックを入れることで、押下可能な状態になります

画面名	請求確定/送信
-----	---------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります(送信対象データも同様) ・[請求予定作成]画面にて作成した請求予定データ ・[請求データファイル入力]画面にて入力した請求予定データ
---------	---

表示並び順	契約法人 ※②対象データ	契約法人コード(昇順)
	請求締め日 ※②対象データ	請求締め日(降順)
	納品店舗欄 ※③請求内容	納品店舗コード(昇順)

画面名	請求確定/送信
-----	---------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②対象データ	契約法人	支払法人コード／ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			選択	○		
2	②対象データ	請求締め日	対象期間終了	日付	8		YYYYMMDD	入力/選択	○	日付チェック	
3	③請求内容	契約法人	支払法人コード／ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			不可			
4	③請求内容	伝票件数計 ※契約法人	契約法人に該当する請求データの 伝票件数計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
5	③請求内容	請求金額合計 ※契約法人	契約法人に該当する請求データの 請求金額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
6	③請求内容	納品店舗	計上部署コード／ 計上部署名称	半角文字/ 全角文字	5/12			不可			
7	③請求内容	伝票件数計 ※納品店舗	契約法人に該当する請求データの 納品店舗毎の伝票件数計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
8	③請求内容	請求金額合計 ※納品店舗	契約法人に該当する請求データの 納品店舗毎の請求金額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			

画面名 支払一覧

画面内容 受信した支払データを一覧表示します

画面レイアウト

①メニューボタン

②対象

③合計情報

④明細サマリ

⑤絞込条件

⑥支払一覧

支払一覧

閉じる(F12)

対象

受信日 2019/08/27 14:40:05 ~ 絞り日 検索

支払合計情報

契約法人	支払内容	支払内容(名称)	金額
08:	3001:小計	33:旧税率8% 合計	95,000
08:	3001:小計	31:標準税率10%	60,000
08:	3001:小計	32:軽減税率8% 合	70,000
08:	3003:合計	0	225,000

支払明細サマリ情報

総伝票件数計 9 総支払金額合計 235,000

契約法人	伝票件数計	支払金額合計	納品店舗
08:	9	235,000	表示

契約法人 08:

納品店舗	伝票件数計	支払金額合計	条件設定
08001:	9	235,000	設定

支払データ絞込条件

契約法人 納品店舗 計上日 伝票番号 支払内容

支払データ一覧

計上日	伝票番号	契約法人コード	納品店舗コード	取引先コード	部門コード	請求金額	納品日(請求)	税区分	支払内容	未払買掛区分
支払年月日						支払金額	伝票区分	税率	内容(名称)	発行区分
20191002	1000007	08	08001	111111	001	23,000	2019-10-02	01:原売価内税	1001:仕入明細	01:買掛金請求
20191030						23,000	0122	10.0	11:標準税率10%	01
20191002	1000008	08	08001	111111	001	52,000	2019-10-02	01:原売価内税	1001:仕入明細	01:買掛金請求
20191030						52,000	0122	8.0	12:軽減税率8%	01
20191002	1000009	08	08001	111111	001	10,000	2019-10-02	01:原売価内税	1001:仕入明細	01:買掛金請求
20191030						10,000	0122	8.0	12:軽減税率8%	01
20191001	1000004	08	08001	111111	001	25,000	2019-10-01	01:原売価内税	1001:仕入明細	01:買掛金請求

画面名	支払一覧
-----	------

画面操作方法

◆ 支払データを確認する

- ①.表示対象のデータを「対象」で「受信日」コンボボックス、「請求締め日」コンボボックスから選択します
- ②.『検索』ボタンを押すことで、「支払合計情報」「支払明細サマリ情報」「支払データ一覧」に支払データが表示されます
- ③.「支払データ一覧」に表示するデータを絞り込む場合は、「支払データ絞り込条件」で条件を指定します
- ④.店毎の支払明細情報を確認したい時は、店表示欄にある『設定』ボタンを押します
「支払データ一覧」に、設定した条件に該当するデータが表示されます

画面名	支払一覧
-----	------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、請求/支払業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
対象グループボックス ※②対象	・「受信日」、「請求締め日」コンボボックスで、支払データを表示する対象を指定します ・『検索』ボタンを押下することで、「受信日」「請求締め日」コンボボックスで指定した範囲内の支払データを、以下場所に表示します 「③合計情報」欄には、支払内容が“3000”番台のデータを一覧表示します 「④明細サマリ」の「総合計」欄には、支払内容が“1000”、“2000”番台のデータの合計を計算して表示します 「④明細サマリ」の「契約法人」欄には、支払内容が“1000”、“2000”番台のデータを、契約法人毎の合計を計算して表示します 「④明細サマリ」の「納品店舗」欄には何も表示しません 「⑤絞込条件」の各コンボボックスには、対象データの絞込条件が選択可能になります 「⑥支払一覧」には、対象データが一覧表示されます ※「受信日」「請求締め日」を選択しないで『検索』ボタンを押下した場合、警告メッセージが出て、支払データを表示することは出来ません ----- 初期表示状態 ・「受信日」コンボボックスは、支払データの受信日が選択可能な状態になります ・「請求締め日」コンボボックスは、支払データの請求締め日が選択可能な状態になります ・『検索』ボタンは押下可能な状態になります
支払合計情報グループボックス ※③合計情報	・支払データの支払内容が“3000”番台のデータを一覧表示します ※当データは、「④明細サマリ」「⑥支払一覧」の合計には用いません ----- 初期表示状態 ・データ非表示の状態
支払明細サマリ情報グループボックス ※④明細サマリ	・「総合計」欄には、支払データの支払内容が“1000”、“2000”番台のデータの合計を計算して表示します ・「契約法人」欄には、支払データの支払内容が“1000”、“2000”番台のデータを、契約法人毎の合計を計算して表示します ・「契約法人」欄の『表示』ボタンを押下することによって、「納品店舗」欄に該当契約法人の納品店舗毎の合計を計算して表示します ※「納品店舗」欄の上に、選択した契約法人を「契約法人コード: 契約法人名称」の形で表示します ・「納品店舗」欄の『設定』ボタンを押下することによって、「⑤絞込条件」のコンボボックスを以下の状態にし、「⑥支払一覧」に該当のデータを表示します 契約法人 ⇒ 該当の契約法人が自動的に選択される 納品店舗 ⇒ 該当の納品店舗が自動的に選択される 計上日 ⇒ 自動的に空白が選択される 伝票番号 ⇒ 自動的に空白が選択される 支払内容 ⇒ 自動的に空白が選択される ----- 初期表示状態 ・データ非表示の状態

機能名称	機能説明
支払データ絞込条件グループボックス ※⑤絞込条件	・「②対象」で選択した条件に該当する支払データの支払内容が“1000”、“2000”番台のデータから、絞込条件コンボボックスは作成されます ・各コンボボックスを指定すると同時に、「⑥支払一覧」に表示されているデータが絞り込まれます ・各コンボボックスで指定した条件は全てAND条件となりますが、各コンボボックス間の絞込は行いません 初期表示状態 ・選択不可の状態
支払データ一覧 ※⑥支払一覧	・「②対象」で選択した条件に該当する支払データの支払内容が“1000”、“2000”番台のデータを一覧表示します ・「⑤絞込条件」で絞込条件を指定した場合は、条件に該当するデータを表示します 初期表示状態 ・データ非表示の状態

画面名	支払一覧
-----	------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・支払データ
---------	----------------------------------

表示並び順	受信日(右) ※②対象	受信日(降順)
	受信日(左) ※②対象	受信日(降順)
	請求締め日(右) ※②対象	請求締め日(降順)
	請求締め日(左) ※②対象	請求締め日(降順)
	支払合計情報 ※③合計情報	契約法人コード>支払内容
	契約法人欄 ※④明細サマリ	契約法人コード(昇順)
	納品店舗欄 ※④明細サマリ	納品店舗コード(昇順)
	契約法人 ※⑤絞込条件	契約法人コード(昇順)
	納品店舗 ※⑤絞込条件	納品店舗コード(昇順)
	計上日(左) ※⑤絞込条件	計上日(降順)
	計上日(右) ※⑤絞込条件	計上日(降順)
	伝票番号(左) ※⑤絞込条件	伝票番号(昇順)
	伝票番号(右) ※⑤絞込条件	伝票番号(昇順)
	支払内容 ※⑤絞込条件	支払内容(昇順)
	支払データ一覧 ※⑥支払一覧	計上日>納品店舗コード>契約法人コード

画面名	支払一覧
-----	------

画面項目内容											
No	表示グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②対象	受信日(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			
2	②対象	受信日(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			
3	②対象	請求締め日(左)	対象期間終了	日付	8		YYYYMMDD	選択			
4	②対象	請求締め日(右)	対象期間終了	日付	8		YYYYMMDD	選択			
5	③合計情報	契約法人	支払法人コード/ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			不可			
6	③合計情報	支払内容	支払内容	半角文字	4			不可			以下に従い出力 3001:小計 3003:合計
7	③合計情報	支払内容(名称)	支払内容(個別名称)	半角文字/ 全角文字	25			不可			
8	③合計情報	金額	支払金額	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
9	④明細サマリ	総伝票件数計	支払内容が“1000”“2000”番台の 支払データの伝票件数合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
10	④明細サマリ	総支払金額合計	支払内容が“1000”“2000”番台の 支払データの支払金額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
11	④明細サマリ	契約法人	支払法人コード/ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			不可			
12	④明細サマリ	伝票件数計 ※契約法人	支払内容が“1000”“2000”番台の 支払データの該当契約法人コードの 伝票件数合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
13	④明細サマリ	支払金額合計	支払内容が“1000”“2000”番台の 支払データの該当契約法人コードの 支払金額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
14	④明細サマリ	納品店舗	計上部署コード/ 計上部署名称	半角文字/ 全角文字	5/12			不可			
15	④明細サマリ	伝票件数計 ※納品店舗	支払内容が“1000”“2000”番台の 支払データの該当契約法人コードの 該当店コードの伝票件数合計	数値	9		ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
16	④明細サマリ	支払金額合計	支払内容が“1000”“2000”番台の 支払データの該当契約法人コードの 該当店コードの支払金額合計	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
17	⑤絞込条件	契約法人	支払法人コード/ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			選択			
18	⑤絞込条件	納品店舗	計上部署コード/ 計上部署名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
19	⑤絞込条件	計上日(左)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
20	⑤絞込条件	計上日(右)	計上日	日付	8		YYYYMMDD	選択			
21	⑤絞込条件	伝票番号(左)	取引番号	半角文字	7			入力/選択		半角数字のみ	
22	⑤絞込条件	伝票番号(右)	取引番号	半角文字	7			入力/選択		半角数字のみ	

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
23	⑤絞込条件	支払内容	支払内容	半角文字	4			選択			以下に従い出力 1001:仕入明細 1002:返品明細 1003:移動明細 1004:値引明細 1005:委託明細 1006:受領訂正明細
24	⑥支払一覧	計上日	計上日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
25	⑥支払一覧	支払年月日	支払日	日付	8		YYYYMMDD	不可			
26	⑥支払一覧	伝票番号	取引番号	半角文字	7			不可			
27	⑥支払一覧	契約法人コード	支払法人コード	半角文字	2			不可			
28	⑥支払一覧	納品店舗コード	計上部署コード	半角文字	5			不可			
29	⑥支払一覧	取引先コード	取引先コード	半角文字	6			不可			
30	⑥支払一覧	部門コード	商品分類(大)	半角文字	3			不可			
31	⑥支払一覧	請求金額	請求金額	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
32	⑥支払一覧	支払金額	支払金額	数値	11		ZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	不可			
33	⑥支払一覧	納品日(請求)	商品分類(中)	日付	8		YYYYMMDD	不可			
34	⑥支払一覧	伝票区分	支払内容(個別)	半角文字	4			不可			
35	⑥支払一覧	税区分	税区分	半角文字	2			不可			以下に従い出力 00:無指定 01:原価内税 03:非課税 05:原価外税売価外税
36	⑥支払一覧	税率	税率	数値	2	1		不可			
37	⑥支払一覧	支払内容	支払内容	半角文字	4			不可			以下に従い出力 1001:仕入明細 1002:返品明細 1003:移動明細 1004:値引明細 1005:委託明細 1006:受領訂正明細
38	⑥支払一覧	内容(名称)	支払内容(個別名称)	半角文字/ 全角文字	25			不可			
39	⑥支払一覧	未払買掛区分	未払買掛区分	半角文字	2			不可			以下に従い表示 01:買掛(商品代金) 02:未払い金(商品以外代金)
40	⑥支払一覧	発行区分	発行区分	半角文字	2			不可			

画面名 請求リスト出力

画面内容 請求リストの出力を行います

画面レイアウト

◆『請求予定合計リスト』『請求予定明細リスト』選択時

①メニューボタン

②出力帳票

③出力条件

画面レイアウト

◆『請求送信合計リスト』『請求送信明細リスト』選択時

①メニューボタン

②出力帳票

③出力条件

画面名	請求リスト出力
-----	---------

画面操作方法

- ◆ 請求リストを出力する
 - ①. 出力を行う帳票を選択します
 - ②. 出力条件を各コンボボックスにて指定します
 - ③. 出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名	請求リスト出力
-----	---------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、請求/支払業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」にて指定した条件で帳票を出力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ----- 初期表示状態 ・『請求予定合計リスト』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『請求予定合計リスト』『請求予定明細リスト』『請求送信合計リスト』『請求送信明細リスト』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『契約法人』は「契約法人コード」を、『納品店舗』は「納品店舗コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・「②出力帳票」にて選択した帳票によって、3、4行目の条件項目が下記のように変わります 『請求予定合計リスト』『請求予定明細リスト』選択 ⇒ 非表示 『請求送信合計リスト』『請求送信明細リスト』選択 ⇒ 『請求締め日』、『送信日』 ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード: 名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態

画面名	請求リスト出力
-----	---------

表示対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（出力対象データも同様） 1.「②出力帳票」にて『請求予定合計リスト』選択時 ・作成済請求データ（未送信データのみ） 2.「②出力帳票」にて『請求予定明細リスト』選択時 ・作成済請求データ（未送信データのみ） 3.「②出力帳票」にて『請求送信合計リスト』選択時 ・請求送信済データ 4.「②出力帳票」にて『請求送信明細リスト』選択時 ・請求送信済データ
---------	---

表示並び順	契約法人 ※③出力条件	契約法人コード（昇順）
	納品店舗 ※③出力条件	納品店舗コード（昇順）
	請求締め日（左） ※③出力条件	請求締め日（降順）
	請求締め日（右） ※③出力条件	請求締め日（降順）
	送信日 ※③出力条件	送信日（降順）

画面名	請求リスト出力
-----	---------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
出力条件(請求確定合計リスト/請求確定明細リスト選択時)											
1	③出力条件	契約法人	支払法人コード／ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			選択			
2	③出力条件	納品店舗	計上部署コード／ 計上部署名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
出力条件(請求送信合計リスト/請求送信明細リスト選択時)											
1	③出力条件	契約法人	支払法人コード／ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			選択			
2	③出力条件	納品店舗	計上部署コード／ 計上部署名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
3	③出力条件	請求締め日(左)	対象期間終了日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
4	③出力条件	請求締め日(右)	対象期間終了日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	送信日	送信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は 統一して表示する

画面名 支払リスト出力

画面内容 支払リストの出力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style application window titled '支払リスト出力'. The window has a green header bar with three buttons: '印刷(F5)' (Print), 'プレビュー(F6)' (Preview), and '閉じる(F12)' (Close). Below the header is a large white area labeled '出力帳票' (Output Statement) containing a radio button and the text '支払明細リスト' (Payment Detail List). At the bottom is a section labeled '出力条件' (Output Conditions) with three rows of input fields: '請求締め日' (Request Closing Date) with values '20150331' and '20150331', '契約法人' (Contracting Company) with value '08', and '受信日' (Reception Date) with values '2015/03/11 11:54:5' and '2015/03/11 11:54:5'. Red dashed boxes and numbers 1, 2, and 3 point to the header bar, the output statement area, and the output conditions section, respectively.

①メニューボタン

②出力帳票

③出力条件

画面名	支払リスト出力
-----	---------

画面操作方法

- ◆ 支払リストを出力する
 - ①. 出力を行う帳票を選択します
 - ②. 出力条件を各コンボボックスにて指定します
 - ③. 出力帳票、出力条件の指定が終わったら、『印刷』ボタンを押すことで出力が開始されます

画面名	支払リスト出力
-----	---------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、請求/支払業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」にて指定した条件で出力される帳票のプレビュー画面を表示します ・プレビュー画面から当該帳票を直接出力することもできます ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②出力帳票」「③出力条件」にて指定した条件で帳票を出力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力帳票 ※②出力帳票	・ラジオボタンにて選択した帳票を、『印刷』ボタン・『プレビュー』ボタンにて処理します ・ラジオボタンを変更した場合、「③出力条件」の全てのコンボボックスをクリアします ----- 初期表示状態 ・『支払明細リスト』ラジオボタンが選択されている状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、帳票出力対象データを絞り込みます ※『契約法人』は「契約法人コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～”の左にあるコンボボックス指定」「～”の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～”の左にあるコンボボックス未指定」「～”の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～”の左にあるコンボボックス未指定」「～”の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします ----- 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態

画面名	支払リスト出力
-----	---------

表示対象データ	「③出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（ファイル出力対象データも同様） ・支払データ
---------	---

表示並び順	請求締め日(左) ※③出力条件	請求締め日(降順)
	請求締め日(右) ※③出力条件	請求締め日(降順)
	契約法人 ※③出力条件	契約法人コード(昇順)
	受信日(左) ※③出力条件	受信日(降順)
	受信日(右) ※③出力条件	受信日(降順)

画面名	支払リスト出力
-----	---------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	請求締め日(左)	対象期間終了日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
2	③出力条件	請求締め日(右)	対象期間終了日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
3	③出力条件	契約法人	支払法人コード／ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			選択			
4	③出力条件	受信日(左)	受信日	日付/時刻	8		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する
5	③出力条件	受信日(右)	受信日	日付/時刻	8		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日付が存在する場合は 統一して表示する

画面名 請求予定データファイル入力

画面内容 請求予定訂正データ、EDI外請求予定新規データのファイル入力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style application window titled '請求データファイル入力'. The window contains several input sections, each highlighted with a red dashed box and a numbered callout on the right:

- ①メニューボタン: Points to the '閉じる(F12)' (Close) button in the top right corner.
- ②入力ファイル: Points to the '入力ファイル' (Input File) section, which contains two radio buttons: '請求予定訂正データファイル' (selected) and 'EDI外請求予定新規データファイル'.
- ③ファイル形式: Points to the '入力ファイル形式' (Input File Format) section, which contains two radio buttons: 'CSV形式' (selected) and '固定長' (Fixed Length).
- ④入力ファイルパス: Points to the '入力ファイルパス' (Input File Path) section, which includes a text box containing 'C:\請求.csv' and a '参照' (Reference) button.
- ⑤入力処理開始: Points to the '入力処理開始' (Start Input Processing) button at the bottom right.

画面名	請求予定データファイル入力
-----	---------------

画面操作方法

◆請求予定訂正データをファイル入力する

- ①.入力するファイルの種類で『請求予定訂正データファイル』を選択します
- ②.入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ③.入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④.ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が始まります

◆請求予定訂正データをファイル入力する

- ①.入力するファイルの種類で『EDI外請求予定新規データファイル』を選択します
- ②.入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ③.入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④.ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が始まります

画面名	請求予定データファイル入力
-----	---------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、請求/支払業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
入力ファイル ※②入力ファイル	・ラジオボタンにて選択した種類のファイル入力処理を行います ----- 初期表示状態 ・『請求予定訂正データファイル』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『請求予定訂正データファイル』『EDI外請求予定新規データファイル』が選択可能な状態
ファイル形式 ※③ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル入力処理を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル入力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
入力ファイルパス ※④入力ファイルパス	・入力ファイルパスを入力します ※ファイルパスは絶対パスで入力してください ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『入力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル入力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④入力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『入力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
入力処理開始ボタン ※⑤入力処理開始	・「②ファイル形式」「③ファイル形式」「④入力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル入力を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式、入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④入力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル入力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	請求予定データファイル入力
-----	---------------

ファイル入力 対象データ	ファイル入力対象データは以下になります ・「②入力ファイル」にて「請求予定訂正データファイル」を選択した場合 ⇒ 請求予定訂正データ ・「②入力ファイル」にて「EDI外請求予定新規データファイル」を選択した場合 ⇒ EDI外請求予定新規登録データ ★ファイル入力は以下の項目をキーとして用います★ 支払法人コード、発注者コード、請求取引先コード、取引番号(発注・返品)、計上部署コード、計上日 ◆「新規データ」「取込済データ」の判断について◆ ・キー項目が全て一致するデータが存在しない入力データに関しては“新規データ”、 - キー項目が全て一致するデータが存在する入力データに関しては“取込済データ”と判断します
-----------------	--

表示並び順		

画面名	請求予定データファイル入力
-----	---------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	④入力ファイルパス	入力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 請求データファイル出力

画面内容

送信した請求データの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

①メニューボタン

②ファイル形式

③出力条件

④出力ファイルパス

⑤出力処理開始

画面名	請求データファイル出力
-----	-------------

画面操作方法

◆請求データをファイル出力する

- ①.出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②.出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ③.出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④.ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	請求データファイル出力
-----	-------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、請求/支払業務画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『契約法人』は「契約法人コード」、『納品店舗』は「納品店舗コード」をそれぞれ検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード:名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」「出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力処理開始ボタン ※⑤出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	請求データファイル出力
-----	-------------

表示/ファイル 出力対象データ	「②出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します（ファイル出力対象データも同様） ・請求送信済データ
--------------------	--

表示並び順	請求締め日(左) ※③出力条件	請求締め日(降順)
	請求締め日(右) ※③出力条件	請求締め日(降順)
	契約法人 ※③出力条件	契約法人コード(昇順)
	納品店舗 ※③出力条件	納品店舗コード(昇順)
	送信日 ※③出力条件	送信日(降順)

画面名	請求データファイル出力
-----	-------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	請求締め日(左)	対象期間終了日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は統一して表示する
2	③出力条件	請求締め日(右)	対象期間終了日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は統一して表示する
3	③出力条件	契約法人	支払法人コード／ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			選択			
4	③出力条件	納品店舗	計上部署コード／ 計上部署名称	半角文字/ 全角文字	5/12			選択			
5	③出力条件	送信日	送信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は統一して表示する
6	④出力ファイルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 支払データファイル出力

画面内容 支払データの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "支払データファイル出力" (Payment Data File Output). The dialog has a green header bar with a red close button and the text "閉じる(F12)". The main area is divided into several sections, each highlighted with a red dashed box and a numbered callout:

- ①メニューボタン: Points to the close button in the header bar.
- ②ファイル形式: Points to the "出力ファイル形式" (Output File Format) section, which contains two radio buttons: "CSV形式" (selected) and "固定長" (Fixed Length).
- ③出力条件: Points to the "出力条件" (Output Conditions) section, which contains three rows of dropdown menus: "請求締め日" (Request Closing Date) with values "20150331" and "20150331", "契約法人" (Contracting Company) with value "08", and "受信日" (Reception Date) with values "2015/03/11 11:" and "2015/03/11 11:". Each row is separated by a tilde (~) symbol.
- ④出力ファイルパス: Points to the "出力ファイルパス" (Output File Path) section, which contains a text box with the value "C:\支払.csv" and a "参照" (Reference) button.
- ⑤出力処理開始: Points to the "出力処理開始" (Start Output Processing) button at the bottom right.

画面名	支払データファイル出力
-----	-------------

画面操作方法

◆ 支払データをファイル出力する

- ①. 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②. 出力条件を各コンボボックスにて指定します
- ③. 出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ④. ファイル形式、出力条件、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	支払データファイル出力
-----	-------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、請求/支払業務画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、該当画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力条件 ※③出力条件	・「③出力条件」内コンボボックスにて選択した値全てをAND条件とし、ファイル出力対象データを絞り込みます ※『契約法人』は「契約法人コード」を検索キーとして用います ※条件コンボボックスの選択によって、他の条件コンボボックスの絞込は行いません ・コンボボックスの間に“～”があるコンボボックスに関しては、以下のような指定が可能です 1.「～」の左にあるコンボボックス指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒左のコンボボックスで指定した値以降全てを出力対象とします 2.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス指定」 ⇒右のコンボボックスで指定した値以前全てを出力対象とします 3.「～」の左にあるコンボボックス未指定」「～」の右にあるコンボボックス未指定」 ⇒全てのデータを出力対象とします ・コンボボックス内の重複する値は統一して表示します ※「コード: 名称」となっているコンボボックスでは、「コード」のみで重複判断を行います 「コード」が同じで「名称」のみ異なるデータは重複するデータとみなします 初期表示状態 ・全ての条件コンボボックスが選択可能な状態
出力ファイルパス ※④出力ファイルパス	・「②ファイル形式」「③出力条件」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※④出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
出力処理開始ボタン ※⑤出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力条件」「④出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います - 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「④出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします
	初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	支払データファイル出力
-----	-------------

表示/ファイル 出力対象データ	「②出力条件」の各条件コンボボックスには、以下のデータを表示します(ファイル出力対象データも同様) ・支払データ
--------------------	---

表示並び順	請求締め日(左) ※③出力条件	請求締め日(降順)
	請求締め日(右) ※③出力条件	請求締め日(降順)
	契約法人 ※③出力条件	契約法人コード(昇順)
	受信日(左) ※③出力条件	受信日(降順)
	受信日(右) ※③出力条件	受信日(降順)

画面名	支払データファイル出力
-----	-------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力条件	請求締め日(左)	対象期間終了日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は統一して表示する
2	③出力条件	請求締め日(右)	対象期間終了日	日付	8		YYYY/MM/DD	選択			同一日付が存在する場合は統一して表示する
3	③出力条件	契約法人	支払法人コード／ 支払法人名称	半角文字/ 全角文字	2/20			選択			
4	③出力条件	受信日(左)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は統一して表示する
5	③出力条件	受信日(右)	受信した日時	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	選択			同一日時が存在する場合は統一して表示する
6	④出力ファイルパス	出力ファイルパス		半角文字/ 全角文字	256			入力	○		

画面名 支払法人マスタメンテ

画面内容 支払法人マスタの新規作成、変更、削除を行います

画面レイアウト

①メニューボタン

②支払法人コード

③設定情報

④締日情報

画面名	支払法人マスタメンテ
-----	------------

画面操作方法

◆ 支払法人マスタを新規登録する

- ①.『支払法人コード』、『支払法人GLN』コンボボックスに該当の支払法人コード、支払法人GLNを入力します
- ②.『新規』ボタンを押下します
- ③.『支払法人名(漢字)』等の各項目を入力します
- ④.『保存』ボタンを押下し、新規登録を確定します

◆ 支払法人マスタを変更する

- ①.『支払法人コード』、『支払法人GLN』コンボボックスに該当の支払法人コード、支払法人GLNを入力/選択します
- ②.『変更』ボタンを押下します
- ③.『支払法人名(漢字)』等の各項目を入力/訂正します
- ④.『保存』ボタンを押下し、変更を確定します

◆ 支払法人マスタを削除する

- ①.『支払法人コード』、『支払法人GLN』コンボボックスに該当の支払法人コード、支払法人GLNを入力/選択します
- ②.『削除』ボタンを押下します
- ③.『保存』ボタンを押下し、削除を確定します

画面名	支払法人マスタメンテ
-----	------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ※データ編集中であった場合も、警告無しに全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『取消』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	★『新規』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・新規に入力されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『変更』ボタン押下によって『保存』ボタンを表示した時★ ・変更されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『削除』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・『支払法人コード』『支払法人GLN』コンボボックスで選択したデータを削除します ※削除後は初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『支払法人コード』『支払法人GLN』コンボボックスに入力した「支払法人コード」「支払法人GLN」に該当するデータの新規作成を行います ※『新規』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『支払法人コード』『支払法人GLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」「④締日情報」を入力可 ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『支払法人コード』『支払法人GLN』コンボボックスに入力/選択した「支払法人コード」「支払法人GLN」に該当するデータの変更を行います ※『変更』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『支払法人コード』『支払法人GLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」「④締日情報」に対象データ表示、入力可 ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・『支払法人コード』、『支払法人GLN』コンボボックスに入力/選択した「支払法人コード」「支払法人GLN」に該当するデータの削除を行います ※『削除』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『支払法人コード』、『支払法人GLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」「④締日情報」に対象データ表示、入力不可
	初期表示状態 ・押下可能な状態
支払法人コードコンボボックス 支払法人GLNコンボボックス ※②支払法人コード	・『支払法人コード』、『支払法人GLN』コンボボックスに値を入力/選択後、『新規』『変更』『削除』ボタンを押下することで、各処理を開始することができます ◆コンボボックス絞込 ・『支払法人コード』コンボボックスを選択することで、『支払法人GLN』コンボボックスを、選択した“支払法人コード”で絞り込みます ・『支払法人GLN』コンボボックスを選択することで、『支払法人コード』コンボボックスを、選択した“支払法人GLN”で絞り込みます ※既に入力、選択済みだった場合、入力、選択した値が絞り込んだ値になかった場合は、該当コンボボックスは空を選択した状態にします
	初期表示状態 ・入力/選択可能な状態
設定情報 ※③設定情報	・『支払法人コード』、『支払法人GLN』コンボボックスに入力・選択した値に該当するデータを表示します
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態
請求締め日設定 ※④締日設定	・当該の支払法人で利用する請求締め日を入力します ・月末を指定する場合は、“99”を入力します
	初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

画面名	支払法人マスタメンテ
-----	------------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・支払法人マスタ
---------	------------------------------------

表示並び順	支払法人コード ※②支払法人	支払法人コード(昇順)
	支払法人GLN ※②支払法人	支払法人GLN(昇順)

画面名	支払法人マスタメンテ
-----	------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②支払法人	支払法人コード	支払法人コード	半角数字	13			入力・選択	○	半角数字のみ	
2	②支払法人	支払法人GLN	支払法人GLN	半角数字	13			入力・選択	○	半角数字のみ	
3	③設定情報	支払法人名(漢字)	支払法人名称	全角文字	20			入力	○	全角のみ	
4	③設定情報	支払法人名(カナ)	支払法人名称カナ	半角文字	20			入力		半角のみ	
5	④締日情報	締め日1	対象期間終了日	数値	2		Z9	入力	○	半角数字のみ ※1～31、99のみ 入力可	
6	④締日情報	締め日2	対象期間終了日	数値	2		Z9	入力		半角数字のみ ※1～31、99のみ 入力可	
7	④締日情報	締め日3	対象期間終了日	数値	2		Z9	入力		半角数字のみ ※1～31、99のみ 入力可	
8	④締日情報	締め日4	対象期間終了日	数値	2		Z9	入力		半角数字のみ ※1～31、99のみ 入力可	
9	④締日情報	締め日5	対象期間終了日	数値	2		Z9	入力		半角数字のみ ※1～31、99のみ 入力可	
10	④締日情報	締め日6	対象期間終了日	数値	2		Z9	入力		半角数字のみ ※1～31、99のみ 入力可	

画面名 発注者マスタメンテ

画面内容 発注者マスタの新規作成、変更、削除を行います

画面レイアウト

①メニューボタン

②発注者コード

③設定情報

発注者マスタメンテ					
取消(F9)	新規(F2)	変更(F3)	削除(F6)	保存(F4)	閉じる(F12)
発注者コード	24				
発注者GLN	56				
発注者名(漢字)	サンプルもの				
発注者名(カナ)	サンプルオーダー				

画面名	発注者マスタメンテ
-----	-----------

画面操作方法

◆発注者マスタを新規登録する

- ①.『発注者コード』、『発注者GLN』コンボボックスに該当の発注者コード、発注者GLNを入力します
- ②.『新規』ボタンを押下します
- ③.『発注者名(漢字)』等の各項目を入力します
- ④.『保存』ボタンを押下し、新規登録を確定します

◆発注者マスタを変更する

- ①.『発注者コード』、『発注者GLN』コンボボックスに該当の発注者コード、発注者GLNを入力/選択します
- ②.『変更』ボタンを押下します
- ③.『発注者名(漢字)』等の各項目を入力/訂正します
- ④.『保存』ボタンを押下し、変更を確定します

◆発注者マスタを削除する

- ①.『発注者コード』、『発注者GLN』コンボボックスに該当の発注者コード、発注者GLNを入力/選択します
- ②.『削除』ボタンを押下します
- ③.『保存』ボタンを押下し、削除を確定します

画面名	発注者マスタメンテ
-----	-----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ※データ編集中であった場合も、警告無しに全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『取消』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	★『新規』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・新規に入力されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『変更』ボタン押下によって『保存』ボタンを表示した時★ ・変更されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『削除』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・『発注者コード』『発注者GLN』コンボボックスで選択したデータを削除します ※削除後は初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『発注者コード』『発注者GLN』コンボボックスに入力した「発注者コード」「発注者GLN」に該当するデータの新規作成を行います ※『新規』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『発注者コード』『発注者GLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」を入力可 ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『発注者コード』『発注者GLN』コンボボックスに入力した「発注者コード」「発注者GLN」に該当するデータの変更を行います ※『変更』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『発注者コード』『発注者GLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」に対象データ表示、入力可 ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・『発注者コード』、『発注者GLN』コンボボックスに入力した「発注者コード」「発注者GLN」に該当するデータの削除を行います ※『削除』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』『削除』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『発注者コード』、『発注者GLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」に対象データ表示、入力不可 ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
発注者コードコンボボックス 発注者GLNコンボボックス ※②発注者コード	・『発注者コード』、『発注者GLN』コンボボックスに値を入力/選択後、『新規』『変更』『削除』ボタンを押下することで、各処理を開始することができます ※コンボボックスは展開すると、常に登録済のデータが全て表示されます ◆コンボボックス絞込表示 ・『発注者コード』コンボボックスを選択すると、対応する“発注者GLN”が『発注者GLN』コンボボックスに表示されます ・『発注者GLN』コンボボックスを選択すると、対応する“発注者コード”が『発注者コード』コンボボックスに表示されます ※片方のコンボボックスに“0”を入力または選択した場合、もう片方のコンボボックスには対応するデータが存在しても自動的に表示されません (0を重複して作成した時のみ) ----- 初期表示状態 ・入力/選択可能な状態
設定情報 ※③設定情報	・『発注者コード』、『発注者GLN』コンボボックスに入力・選択した値に該当するデータを表示します ----- 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

画面名	発注者マスタメンテ
-----	-----------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・発注者マスタ
---------	-----------------------------------

表示並び順	発注者コード ※②発注者	発注者コード(昇順)
	発注者GLN ※②発注者	発注者GLN(昇順)

画面名	発注者マスタメンテ
-----	-----------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②発注者	発注者コード	発注者コード	半角数字	13			入力・選択	○	半角数字のみ	
2	②発注者	発注者GLN	発注者GLN	半角数字	13			入力・選択	○	半角数字のみ	
3	③設定情報	発注者名(漢字)	発注者名称	全角文字	20			入力	○	全角のみ	
4	③設定情報	発注者名(カナ)	発注者名称カナ	半角文字	20			入力		半角のみ	

画面名 利用会社マスタメンテ

画面内容 利用会社マスタの新規作成、変更、削除を行います

画面レイアウト

①メニューボタン

②請求取引先情報

③取引先一覧

画面操作方法

◆利用会社マスタの新規作成を行う

- ①.『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに該当の請求取引先コード、請求取引先GLNを入力します
- ②.『新規』ボタンを押します
- ③.『請求取引先名(漢字)』等の各項目を入力します
- ④.複数の取引先コードを登録する場合は、『複数取引先コード設定』ボタンを押すと、複数取引先コード設定画面が表示されるので、取引先コード等を入力、入力後は『設定』ボタンで前画面に戻ります
- ⑤.『保存』ボタンを押すことで、新規登録を確定します

◆利用会社マスタの変更を行う

- ①.『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに該当の請求取引先コード、請求取引先GLNを入力/選択します
- ②.『変更』ボタンを押下します
- ③.『請求取引先名(漢字)』等の各項目を入力/訂正します
- ④.複数の取引先コードを登録/変更する場合は、『複数取引先コード設定』ボタンを押すと、複数取引先コード設定画面が表示されるので、取引先コード等を入力/訂正、入力後は『設定』ボタンで前画面に戻ります
- ⑤.『保存』ボタンを押すことで、変更を確定します

◆利用会社マスタの削除を行う

- ①.『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに該当の請求取引先コード、請求取引先GLNを入力/選択します
- ②.『削除』ボタンを押下します
- ③.『保存』ボタンを押すことで、削除を確定します

画面名	利用会社マスタメンテ
-----	------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・マスタメンテナン業務画面から遷移してきた場合、当該画面を終了し、マスタメンテナン業務画面に戻ります ※データ設定中であった場合は、警告メッセージを表示します ・初期導入ウィザード画面から遷移してきた場合、当該画面を終了し、初期導入ウィザード画面に戻ります ※データ設定中であった場合は、警告メッセージを表示します ・TOP画面から遷移してきた場合、当該画面を終了し、TOP画面に戻ります ※データ設定中であった場合は、警告メッセージを表示します 初期表示状態 ・押下可能の状態
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・全ての処理を取り消し、警告無しで初期画面に戻ります 初期表示状態 ・押下不可の状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・新規/変更時は「②請求取引先情報」「③取引先一覧」に入力/変更したデータを保存します - 削除時は『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスで選択したデータを削除します ・保存後は「②請求取引先情報」「③取引先一覧」をクリアし、初期画面に戻ります ・新規時、「③取引先一覧」で取引先コードを設定しなかった場合、以下の値によって自動的に設定されます - 取引先コード : 『請求取引先コード』コンボボックスの値が設定されます - 取引先GLN : 『請求取引先GLN』コンボボックスの値が設定されます - 取引先名(漢字) : 『請求取引先名(漢字)』テキストボックスの値が設定されます - 取引先名(カナ) : 『請求取引先名(カナ)』テキストボックスの値が設定されます ・変更時は以下のように動作します ◆取引先コードが1つだけ登録されている場合 *“請求取引先コード=取引先コード”かつ“請求取引先GLN=取引先GLN”の時、以下のように登録します - 取引先名(漢字) : 『請求取引先名(漢字)』テキストボックスの値が設定されます - 取引先名(カナ) : 『請求取引先名(カナ)』テキストボックスの値が設定されます *“請求取引先コード=取引先コード”かつ“請求取引先GLN=取引先GLN”でない時、以下のように登録します - 取引先名(漢字) : 複数取引先コード設定画面で入力した『取引先名(漢字)』テキストボックスの値が設定されます - 取引先名(カナ) : 複数取引先コード設定画面で入力した『取引先名(カナ)』テキストボックスの値が設定されます ◆取引先コードが複数登録されている場合 複数取引先コード設定画面で入力した値がそれぞれ設定されます 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』『削除』ボタンを押下すると押下可能な状態になります
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに入力した「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータの新規作成を行います ・『新規』ボタン押下後、「②請求取引先情報」を入力/選択可能な状態、『複数取引先コード設定』ボタンを押下可能な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』『取消』ボタンは押下可能な状態になります 初期表示状態 ・マスタメンテナン業務画面から遷移してきた場合、押下不可な状態 ・初期導入画面の『設定変更/削除』ボタンから遷移してきた場合、押下不可な状態 ・初期導入画面の『新規登録』ボタンから遷移してきた場合、押下可能な状態 ・TOP画面の『利用会社の登録』ボタンから遷移してきた場合、押下可能な状態

機能名称	機能説明
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに入力/選択した「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータの変更を行います ・『変更』ボタン押下後、『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに表示されている「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータを「②請求取引先情報」に表示し入力/選択可能な状態に、『複数取引先コード設定』ボタンを押下可能な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』『取消』ボタンは押下可能な状態になります 初期表示状態 ・マスタメンテナンス業務画面から遷移してきた場合、押下可能な状態 ・初期導入画面の『設定変更/削除』ボタンから遷移してきた場合、押下可能な状態 ・初期導入画面の『新規登録』ボタンから遷移してきた場合、押下不可な状態 ・TOP画面の『利用会社の登録』ボタンから遷移してきた場合、押下可能な状態
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに入力/選択した「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータの削除を行います ・『削除』ボタン押下後、「②請求取引先情報」を入力/選択不可な状態に、『複数取引先コード設定』ボタンを押下不可な状態にします ※『新規』『変更』『削除』ボタンは押下不可の状態に、『保存』『取消』ボタンは押下可能な状態になります 初期表示状態 ・マスタメンテナンス業務画面から遷移してきた場合、押下不可な状態 ・初期導入画面の『設定変更/削除』ボタンから遷移してきた場合、押下可能な状態 ・初期導入画面の『新規登録』ボタンから遷移してきた場合、押下不可な状態 ・TOP画面の『利用会社の登録』ボタンから遷移してきた場合、押下可能な状態
請求取引先コードコンボボックス 請求取引先GLNコンボボックス ※②請求取引先情報	・『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに表示されている「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータが、当画面での作成/変更/削除対象になります ◆コンボボックス絞込 ・『請求取引先コード』コンボボックスを選択することで、『請求取引先GLN』コンボボックスを、選択した“請求取引先コード”で絞り込みます ・『請求取引先GLN』コンボボックスを選択することで、『請求取引先コード』コンボボックスを、選択した“請求取引先GLN”で絞り込みます ※既に入力、選択済みだった場合、入力、選択した値が絞り込んだ値になかった場合は、該当コンボボックスは空を選択した状態にします 初期表示状態 ・マスタメンテナンス業務画面から遷移してきた場合、TOP画面の利用会社コンボボックスで選択したコードを表示し、入力/選択不可の状態にします ・初期導入画面の『設定変更/削除』ボタンから遷移してきた場合、TOP画面で利用会社コンボボックスで選択したコードを表示し、入力/選択不可の状態にします ・初期導入画面の『新規登録』ボタンから遷移してきた場合、空表示し、入力/選択可能な状態になります ・TOP画面の『利用会社の登録』ボタンから遷移してきた場合、空表示し、入力/選択可能な状態になります
請求取引先情報入力欄 ※②請求取引先情報	・『請求取引先コード』、『請求取引先GLN』コンボボックスに表示されている「請求取引先コード」「請求取引先GLN」に該当するデータを表示します ※新規作成時は、全ての項目が空の状態が表示されます 初期表示状態 ・『新規』『変更』ボタンを押下した場合、入力/選択可能な状態になります ・『削除』ボタンを押下した場合、入力/選択不可な状態になります
複数取引先コード設定ボタン ※②請求取引先情報	・『複数取引先コード設定』ボタンを押下することで、「③取引先一覧」画面を表示することができます 初期表示状態 ・『新規』『変更』ボタンを押下した場合、押下可能な状態になります ・『削除』ボタンを押下した場合、押下不可な状態になります

機能名称	機能説明
取引先コード一覧 ※③取引先一覧	・登録する取引先情報を、「取引先コード一覧」に直接入力します ※必須項目は「取引先コード」「取引先GLN」になります ※入力後に下行に移動、もしくは他オブジェクトにフォーカスを移した時点で入力は完了となります ・フォーカスを動かしたタイミングで必須チェック等を行います 全て未入力の行がある場合に『設定』ボタンを押した時も各種チェックエラー（必須エラー等）は発生します ・該当行へ入力後に下キーを押すことで、下に空白行を追加します ・入力した情報を削除する場合は、「取引先コード一覧」内にある『削除』ボタンを押下します 削除ボタンを押すことで、該当行が一覧から削除されます ※全ての行を削除することはできません（最低1行は残します） ★データの追加、削除が反映されるのは「①メニューボタン」の『保存』ボタンが押されたタイミングになります 初期表示状態 ・『新規』ボタンを押下した場合、以下のように2行表示します（下キーを押すことでデータの追加が可能です） ★1行目★ 取引先コード : 『請求取引先コード』コンボボックスの値が設定されます 取引先GLN : 『請求取引先GLN』コンボボックスの値が設定されます 取引先名（漢字） : 『請求取引先名（漢字）』テキストボックスの値が設定されます 取引先名（カナ） : 『請求取引先名（カナ）』テキストボックスの値が設定されます ※他項目は空 ※『請求取引先名（漢字）』『請求取引先名（カナ）』テキストボックスが空だった場合、『取引先名（漢字）』『取引先名（カナ）』は空で表示します 一度取引先コード一覧画面を開いた場合、『請求取引先名（漢字）』『請求取引先名（カナ）』テキストボックスを入力後に、 再度開き直しても、『取引先名（漢字）』『取引先名（カナ）』は自動的に表示されません（保存時には最新の値が登録されます） ★2行目★ 全て空で入力可能な行 ・『変更』ボタンを押下した場合は、登録されている取引先コード情報を表示します ※最終行は全て空で入力可能な行になります
設定ボタン ※③取引先一覧	・「取引先コード一覧」で行った処理を保持し、前画面に戻ります ※「取引先コード一覧」で各種チェックエラーが発生していた場合、エラーがなくなるまで、前画面に戻れません ※空行があった場合もチェックエラーが発生するため、前画面に戻れません 初期表示状態 ・押下可能な状態
取消ボタン/ ×ボタン ※③取引先一覧	・「取引先コード一覧」で行った全ての処理を取り消し、前画面に戻ります ※「取引先コード一覧」で各種チェックエラーが発生していた場合も、全ての処理を取り消し、前画面に戻ります ※データ設定中であった場合も、警告無しに前画面に戻ります 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	利用会社マスタメンテ
-----	------------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・利用会社マスタ
---------	------------------------------------

表示並び順	請求取引先コード ※②請求取引先	請求取引先コード(昇順)
	請求取引先GLN ※②請求取引先	請求取引先GLN(昇順)
	取引先コード一覧 ※③取引先一覧	取引先コード(昇順)

画面名	利用会社マスタメンテ
-----	------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②請求取引先	請求取引先コード	請求取引先コード	半角数字	13			入力・選択	○	半角数字のみ	
2	②請求取引先	請求取引先GLN	請求取引先GLN	半角数字	13			入力・選択	○	半角数字のみ	
新規作成/変更時											
3	②請求取引先	請求取引先名(漢字)	請求取引先名(漢字)	全角文字	20			入力	○	全角のみ	
4	②請求取引先	請求取引先名(カナ)	請求取引先名(カナ)	半角英数/ 半角カナ	20			入力	○	半角のみ	
5	②請求取引先	宛先コード	SBDH送信者ID	半角文字	8			入力	○	半角数字のみ 8桁のみ	
6	③取引一覧	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			入力	○	半角数字のみ	
7	③取引一覧	取引先GLN	取引先GLN	半角文字	13			入力	○	半角数字のみ	
8	③取引一覧	取引先名(漢字)	取引先名(漢字)	全角文字	20			入力		全角のみ	
9	③取引一覧	取引先名(カナ)	取引先名(カナ)	半角文字	20			入力		半角のみ	
10	③取引一覧	枝番	取引先枝番	半角文字	2			入力		半角数字のみ	
11	③取引一覧	出荷先コード	出荷先コード	半角文字	4			入力		半角数字のみ	
12	③取引一覧	担当者(漢字)	担当者(漢字)	全角文字	20			入力		全角のみ	
13	③取引一覧	担当者(カナ)	担当者(カナ)	半角文字	10			入力		半角のみ	
14	③取引一覧	TEL	電話番号	半角文字	13			入力		半角のみ	
15	③取引一覧	FAX	FAX	半角文字	13			入力		半角のみ	
16	③取引一覧	作成日	登録日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			
17	③取引一覧	更新日	更新日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			

削除時											
1	②請求取引先	請求取引先名(漢字)	請求取引先名(漢字)	全角文字	20			不可			
2	②請求取引先	請求取引先名(カナ)	請求取引先名(カナ)	半角英数/ 半角カナ	20			不可			
3	②請求取引先	宛先コード	SBDH送信者ID	半角文字	8			不可			
4	③取引一覧	取引先コード	取引先コード	半角文字	13			不可			
5	③取引一覧	取引先GLN	取引先GLN	半角文字	13			不可			
6	③取引一覧	取引先名(漢字)	取引先名(漢字)	全角文字	20			不可			
7	③取引一覧	取引先名(カナ)	取引先名(カナ)	半角文字	20			不可			
8	③取引一覧	枝番	取引先枝番	半角文字	2			不可			
9	③取引一覧	出荷先コード	出荷先コード	半角文字	4			不可			
10	③取引一覧	担当者(漢字)	担当者(漢字)	全角文字	20			不可			
11	③取引一覧	担当者(カナ)	担当者(カナ)	半角文字	10			不可			
12	③取引一覧	TEL	電話番号	半角文字	13			不可			
13	③取引一覧	FAX	FAX	半角文字	13			不可			
14	③取引一覧	作成日	登録日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			
15	③取引一覧	更新日	更新日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			

画面名	納品先マスター一覧
-----	-----------

画面内容	納品先マスタを一覧画面で確認、削除を行います また、納品先マスタの新規作成、変更を行う画面へ遷移することもできます
------	--

画面レイアウト

[illegible]

画面名	納品先マスター一覧
-----	-----------

画面操作方法

◆納品先マスタの新規作成、変更を行う

- ①.『新規/変更』ボタンを押し、[納品先マスタメンテ]画面を表示します
- ②.表示された[納品先マスタメンテ]画面で新規登録、変更を行います

◆納品先マスタの削除を行う

- ①.削除対象の納品先マスタの「削除対象」チェックボックスにチェックを入れ、『削除』ボタンを押します

◆納品先マスタリストを印刷、プレビュー画面を参照する

- ①.『全印刷』、または『全プレビュー』ボタンを押します

画面名	納品先マスター一覧
-----	-----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
新規/変更ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・[納品先マスタメンテ]画面を開きます ※新規/変更時は、チェックボックスのチェックは関係ありません ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」の『削除対象』チェックボックスにチェックが付けられた納品マスタデータを、以下の警告メッセージ表示後に削除します 「削除対象にチェックされている納品マスタを削除しますよろしいですか？」 「OK」選択 ⇒ 『削除対象』チェックボックスにチェックが付けられた納品マスタデータを削除します 「キャンセル」選択 ⇒ 何もせずに[納品マスター一覧]画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
全選択ボタン ※①メニューボタン ★F10ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」に表示されている全てのデータの『削除対象』チェックボックスにチェックを付けます ※既に全てのチェックボックスにチェックが付いている状態で押下しても、何も動作しません ※「②マスター一覧」にスクロールバーが表示されている時、スクロールして表示ができる全てのデータにチェックが付けられます ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
選択解除ボタン ※①メニューボタン ★F11ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」に表示されている全てのデータの『削除対象』チェックボックスからチェックを外します ※既に全てのチェックボックスからチェックが外されている状態で押下しても、何も動作しません ※「②マスター一覧」にスクロールバーが表示されている時、スクロールして表示ができる全てのデータのチェックが外されます ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
全印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」に表示されている全てのデータを印刷対象として、「納品先マスタリスト」を印刷します ※印刷対象を絞り込んで印刷することはできません ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
全プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」に表示されている全てのデータを印刷対象として、[プレビュー]画面を表示します ※印刷対象を絞り込んで印刷することはできません ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態

機能名称	機能説明
納品マスター一覧 ※②マスター一覧	・納品先マスターデータを一覧表示します ※[納品先マスターメンテ]画面から戻ってきた時は、表示データを再読込して、最新のデータを表示します
	初期表示状態 ・登録済みデータがある場合は、データ表示した状態

画面名	納品先マスター一覧
-----	-----------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・[納品先マスタメンテ]画面で作成した納品先マスタデータ ・[納品先マスタファイル入力]画面で入力した納品先マスタデータ
---------	---

表示並び順	マスター一覧 ※②マスター一覧	店舗/センターコード＞店舗/センターGLN
-------	--------------------	-----------------------

画面名	納品先マスター一覧
-----	-----------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②マスター一覧	店舗／センターコード	納品先コード	半角文字	13			不可			
2	②マスター一覧	店舗／センターGLN	納品先GLN	半角数字	13			不可			
3	②マスター一覧	種類	“0:店舗”、“1:センター”を表示	半角文字	1			不可			以下に従い表示 0:店舗 1:センター
4	②マスター一覧	店舗／センター名(漢字)	納品先名称(漢字)	半角/全角文字	20			不可			
5	②マスター一覧	店舗／センター名(カナ)	納品先名称(カナ)	半角文字	20			不可			

画面名 納品先マスタメンテ

画面内容 納品先マスタの新規作成、変更を行います
納品先マスタファイル入力画面で入力した納品先マスタデータの変更も行うことができます

画面レイアウト

①メニューボタン

②店舗コード

③設定情報

画面名	納品先マスタメンテ
-----	-----------

画面操作方法

◆納品先マスタを新規作成をする

- ①.『店舗／センターコード』、『店舗／センターGLN』コンボボックスに該当の店舗／センターコード、店舗／センターGLNを入力します
- ②.『新規』ボタンを押下します
- ③.『店舗／センター名(漢字)』等の各項目を入力します
- ④.『保存』ボタンを押下し、新規登録を確定します

◆納品先マスタを変更する

- ①.『店舗／センターコード』、『店舗／センターGLN』コンボボックスに該当の店舗／センターコード、店舗／センターGLNを入力/選択します
- ②.『変更』ボタンを押下します
- ③.『店舗／センター名(漢字)』等の各項目を入力/訂正します
- ④.『保存』ボタンを押下し、変更を確定します

画面名	納品先マスタメンテ
-----	-----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、[納品先マスター一覧]画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ※データ編集集中であった場合も、警告無しに全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』ボタンを押下すると『取消』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	★『新規』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・新規に入力されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ★『変更』ボタン押下によって『保存』ボタンを表示した時★ ・変更されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『店舗／センターコード』、『店舗／センターGLN』コンボボックスに入力した「店舗／センターコード」「店舗／センターGLN」に該当するデータの 新規作成を行います ※『新規』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『店舗／センターコード』、『店舗／センターGLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」を入力可 ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『店舗／センターコード』、『店舗／センターGLN』コンボボックスに入力した「店舗／センターコード」「店舗／センターGLN」に該当するデータの 変更を行います ※『変更』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『店舗／センターコード』、『店舗／センターGLN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「③設定情報」に対象データ表示、入力可 ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
店舗／センターコードコンボボックス 店舗／センターGLNコンボボックス ※②店舗コード	・『店舗／センターコード』、『店舗／センターGLN』コンボボックスに値を入力/選択後、『新規』『変更』ボタンを押下することで、各処理を開始することができます ★コンボボックス絞込 ・『店舗／センターコード』コンボボックスを選択することで、『店舗／センターGLN』コンボボックスを、選択した“店舗／センターコード”で絞り込みます ・『店舗／センターGLN』コンボボックスを選択することで、『店舗／センターコード』コンボボックスを、選択した“店舗／センターGLN”で絞り込みます ※既に入力、選択済みだった場合、入力、選択した値が絞り込んだ値になかった場合、該当コンボボックスは空を選択した状態にします 初期表示状態 ・入力/選択可能な状態
設定情報 ※③設定情報	・『店舗／センターコード』、『店舗／センターGLN』コンボボックスに入力・選択した値に該当するデータを表示します 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

画面名	納品先マスタメンテ
-----	-----------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・[納品先マスタメンテ]画面で作成した納品先マスタデータ ・[納品先マスタファイル入力]画面で入力した納品先マスタデータ
---------	---

表示並び順	店舗／センターコード ※②店舗コード	店舗／センターコード(昇順)
	店舗／センターGLN ※②店舗コード	店舗／センターGLN(昇順)
	種類 ※③設定情報	種類(昇順) ※「0:店舗」「1:センター」の順

画面名	納品先マスタメンテ
-----	-----------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②店舗コード	店舗／センターコード	納品先コード	半角文字	13			入力・選択	○	半角数字のみ	
2	②店舗コード	店舗／センターGLN	納品先GLN	半角数字	13			入力・選択	○	半角数字のみ	
3	③設定情報	種類	“0:店舗”、“1:センター”を表示	半角数字	1			選択	○		以下に従い表示 0:店舗 1:センター
4	③設定情報	店舗／センター名(漢字)	納品先名称(漢字)	半角/全角文字	20			入力	○	全角のみ	
5	③設定情報	店舗／センター名(カナ)	納品先名称(カナ)	半角文字	20			入力		半角のみ	
6	③設定情報	作成日	登録日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			
7	③設定情報	更新日	更新日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			

画面名 商品マスター一覧

画面内容 商品マスタを一覧画面で確認、削除を行います
また、商品マスタの新規作成、変更を行う画面へ遷移することもできます

画面レイアウト

商品マスター一覧

新規/変更(F2)

削除(F8)

全選択(F10)

選択解除(F11)

全印刷(F5)

全レビュー(F6)

閉じる(F12)

削除対象	登録区分	商品コード	GTIN	商品名称(漢字)	商品名称(カナ)	原価単価	売価単価	セット
☐	0:全共通	0410803420002	0	YBサンプル商品01	YBサンフ゛ルショウビン01	1,110.15	1,210	
☐	0:全共通	0410803420026	0	YBサンプル商品02	YBサンフ゛ルショウビン02	2,350.04	2,500	
☐	0:全共通	0410803420064	0	YBサンプル商品03	YBサンフ゛ルショウビン03	772.00	840	
☐	0:全共通	087703174542	0	YBサンプル商品33	YBサンフ゛ルショウビン33	1,580.00	1,900	
☐	0:全共通	45072574	0	YBサンプル商品41	YBサンフ゛ルショウビン41	2,350.00	2,500	
☐	0:全共通	4513574013483	0	YBサンプル商品06	YBサンフ゛ルショウビン06	1,100.00	1,200	
☐	0:全共通	4513574013490	0	YBサンプル商品07	YBサンフ゛ルショウビン07	1,340.00	1,540	
☐	0:全共通	4514603248906	0	YBサンプル商品08	YBサンフ゛ルショウビン08	1,450.00	1,650	
☐	0:全共通	4514603248913	0	YBサンプル商品09	YBサンフ゛ルショウビン09	1,580.00	1,900	
☐	0:全共通	4547014003079	0	YBサンプル商品10	YBサンフ゛ルショウビン10	2,350.33	2,504	
☐	0:全共通	4548175295402	0	YBサンプル商品11	YBサンフ゛ルショウビン11	4,550.33	4,804	
☐	0:全共通	4548175295419	0	YBサンプル商品12	YBサンフ゛ルショウビン12	5,700.33	5,904	
☐	0:全共通	4548175382287	0	YBサンプル商品13	YBサンフ゛ルショウビン13	6,500.33	6,804	
☐	0:全共通	4548175386261	0	YBサンプル商品14	YBサンフ゛ルショウビン14	6,500.00	6,800	
☐	0:全共通	4548175387589	0	YBサンプル商品15	YBサンフ゛ルショウビン15	410.00	490	
☐	0:全共通	4548176203949	0	YBサンプル商品16	YBサンフ゛ルショウビン16	1,100.00	1,200	
☐	0:全共通	4548780501257	0	YBサンプル商品17	YBサンフ゛ルショウビン17	1,340.00	1,540	
☐	0:全共通	4548780501264	0	YBサンプル商品18	YBサンフ゛ルショウビン18	1,450.00	1,650	
☐	0:全共通	4548780591708	0	YBサンプル商品19	YBサンフ゛ルショウビン19	1,580.00	1,900	
☐	0:全共通	4548780591715	0	YBサンプル商品57	YBサンフ゛ルショウビン57	5,700.00	5,900	
☐	0:全共通	4560137051956	0	YBサンプル商品21	YBサンフ゛ルショウビン21	6,500.00	6,800	

①メニューボタン

②マスター一覧

画面名	商品マスター一覧
-----	----------

画面操作方法

◆商品マスタの新規作成、変更を行う

- ①.『新規/変更』ボタンを押し、[商品マスタメンテ]画面を表示します
- ②.表示された[商品マスタメンテ]画面で新規登録、変更を行います

◆商品マスタの削除を行う

- ①.削除対象の商品マスタの「削除対象」チェックボックスにチェックを入れ、『削除』ボタンを押します

◆商品マスタリストを印刷、プレビュー画面を参照する

- ①.『全印刷』、または『全プレビュー』ボタンを押します

画面名	商品マスター一覧
-----	----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
新規/変更ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・[商品マスタメンテ]画面を開きます ※新規/変更時は、チェックボックスのチェックは関係ありません ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
削除ボタン ※①メニューボタン ★F8ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」の『削除対象』チェックボックスにチェックが付けられた商品マスタデータを、以下の警告メッセージ表示後に削除します 「削除対象にチェックされている納品マスタを削除しますよろしいですか？」 「OK」選択 ⇒ 『削除対象』チェックボックスにチェックが付けられた納品マスタデータを削除します 「キャンセル」選択 ⇒ 何もせずに[納品マスター一覧]画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
全選択ボタン ※①メニューボタン ★F10ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」に表示されている全てのデータの『削除対象』チェックボックスにチェックを付けます ※既に全てのチェックボックスにチェックが付いている状態で押下しても、何も動作しません ※「②マスター一覧」にスクロールバーが表示されている時、スクロールして表示ができる全てのデータにチェックが付けられます ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
選択解除ボタン ※①メニューボタン ★F11ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」に表示されている全てのデータの『削除対象』チェックボックスからチェックを外します ※既に全てのチェックボックスからチェックが外されている状態で押下しても、何も動作しません ※「②マスター一覧」にスクロールバーが表示されている時、スクロールして表示ができる全てのデータのチェックが外されます ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
全印刷ボタン ※①メニューボタン ★F5ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」に表示されている全てのデータを印刷対象として、「商品マスタリスト」を印刷します ※印刷対象を絞り込んで印刷することはできません ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
全プレビューボタン ※①メニューボタン ★F6ボタンで利用可能	・「②マスター一覧」に表示されている全てのデータを印刷対象として、[プレビュー]画面を表示します ※印刷対象を絞り込んで印刷することはできません ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態

機能名称	機能説明
商品マスター一覧 ※②マスター一覧	- 商品マスターデータを一覧表示します ※[商品マスターメンテナンス]画面から戻ってきた時は、表示データを再読込して、最新のデータを表示します
	初期表示状態 登録済みデータがある場合は、データ表示した状態

画面名	商品マスター一覧
-----	----------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・[商品マスタメンテ]画面で作成した商品マスタデータ ・[商品マスタファイル入力]画面で入力した商品マスタデータ
---------	---

表示並び順	マスター一覧 ※②マスター一覧	登録区分＞商品コード＞GTIN
-------	--------------------	-----------------

画面名	商品マスター一覧
-----	----------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②マスター一覧	登録区分	該当データの登録区分を「0:全共通」 「1:発注者指定」で表示する	半角文字	1			不可			以下に従い表示 0:全共通 1:発注者指定
2	②マスター一覧	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	13			不可			
3	②マスター一覧	GTIN	商品コード(GTIN)	半角文字	14			不可			
4	②マスター一覧	商品名称(漢字)	商品名(漢字)	半角/全角文字	25			不可			
5	②マスター一覧	商品名称(カナ)	商品名(カナ)	半角文字	25			不可			
6	②マスター一覧	原価単価	原単価	数値	7	2	Z,ZZZ,ZZ9.99	不可			
7	②マスター一覧	売価単価	売単価	数値	7		Z,ZZZ,ZZ9	不可			
8	②マスター一覧	セット入数	発注単位	数値	3	1	ZZ9.9	不可			
	②マスター一覧	色コード	カラーコード	半角文字	2			不可			
9	②マスター一覧	カラー名称(漢字)	カラー名称	全角文字	10			不可			
	②マスター一覧	カラー名称(カナ)	カラー名称カナ	半角文字	7			不可			
	②マスター一覧	サイズコード	サイズコード	半角文字	3			不可			
	②マスター一覧	サイズ名称(漢字)	サイズ名称	全角文字	10			不可			
10	②マスター一覧	サイズ名称(カナ)	サイズ名称カナ	半角文字	5			不可			
11	②マスター一覧	指定発注者コード	発注者コード	半角文字	15			不可			

画面名 商品マスタメンテ

画面内容 商品マスタの新規作成、変更を行います
商品マスタファイル入力画面で入力した商品マスタデータの変更も行うことができます

画面レイアウト

商品マスタメンテ

取消(F9) 新規(F2) 変更(F3) 保存(F4) 閉じる(F12)

①メニューボタン

②商品コード

登録区分

全発注者共通
発注者指定 08:ヨークベニマル

③登録区分

④設定情報

商品コード 111111111111
GTIN 0

商品名称(漢字)
商品名称(カナ)

色コード
色名称(漢字)
色名称(カナ)
サイズコード
サイズ名称(漢字)
サイズ名称(カナ)

原価単価 0
売価単価 0
セット入数 00

作成日 更新日

画面名	商品マスタメンテ
-----	----------

画面操作方法

◆商品マスタを新規作成をする

- ①.『登録区分』から登録する区分を選択します
「発注者指定」を選択した場合は、コンボボックスから対象の発注者を選択します
- ②.『商品コード』、『GTIN』コンボボックスに登録する商品コード、GTINを入力します
- ③.『新規』ボタンを押下します
- ④.『商品名称(漢字)』等の各項目を入力します
- ⑤.『保存』ボタンを押下し、新規登録を確定します

◆商品マスタを変更する

- ①.『登録区分』から変更する商品マスタの区分を選択します
「発注者指定」を選択した場合は、コンボボックスから対象の発注者を選択します
- ②.『商品コード』、『GTIN』コンボボックスから変更対象の商品コード、GTINを入力/選択します
- ③.『変更』ボタンを押下します
- ④.『商品名称(漢字)』等の各項目を入力/訂正します
- ⑤.『保存』ボタンを押下し、変更を確定します

画面名	商品マスタメンテ
-----	----------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、[商品マスター一覧]画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
取消ボタン ※①メニューボタン ★F9ボタンで利用可能	・全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ※データ編集集中であった場合も、警告無しに全ての処理を取り消し、初期画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』ボタンを押下すると『取消』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	★『新規』ボタン押下によって『保存』ボタンが表示されている時★ ・新規に入力されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります(登録区分で選択したラジオボタン、コンボボックスの値は初期に戻しません) ★『変更』ボタン押下によって『保存』ボタンを表示した時★ ・変更されたデータを保存します ※保存後は初期画面に戻ります(登録区分で選択したラジオボタン、コンボボックスの値は初期に戻しません) ----- 初期表示状態 ・押下不可の状態 ※『新規』『変更』ボタンを押下すると『保存』ボタンが表示され、押下可能な状態になります
新規ボタン ※①メニューボタン ★F2ボタンで利用可能	・『商品コード』、『GTIN』コンボボックスに入力した「商品コード」「GTIN」、『登録区分』ラジオボタンで選択した区分に該当するデータの新規作成を行います ※『新規』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『登録区分』ラジオボタン(コンボボックス)選択不可 ・『商品コード』、『GTIN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「④設定情報」を入力可 ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
変更ボタン ※①メニューボタン ★F3ボタンで利用可能	・『商品コード』、『GTIN』コンボボックスに入力した「商品コード」「GTIN」、『登録区分』ラジオボタンで選択した区分に該当するデータの変更を行います ※『変更』ボタン押下後、画面を下記の状態にします ・『新規』『変更』ボタンを押下不可 ・『保存』『取消』ボタンを押下可能 ・『登録区分』ラジオボタン(コンボボックス)選択不可 ・『商品コード』、『GTIN』コンボボックスを入力/選択不可 ・「④設定情報」に対象データ表示、入力可 ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

機能名称	機能説明
商品コードコンボボックス GTINコンボボックス ※②商品コード	・『登録区分』ラジオボタン(コンボボックス)を選択し、『商品コード』、『GTIN』コンボボックスに値を入力/選択後、『新規』『変更』ボタンを押下することで、各処理を開始することができます ・『商品コード』、『GTIN』コンボボックスを選択することで、互いのコンボボックス内の値を、存在する値で絞り込みます ※絞り込む条件には、『登録区分』ラジオボタン(コンボボックス)で選択されている値も含まれます 初期表示状態 ・入力/選択可能な状態
登録区分 ※③登録区分	・発注者指定を選択すると、横のコンボボックスが選択可能な状態になります ※コンボボックスには、発注者マスタの値が表示されます ・『登録区分』ラジオボタンを選択すると、『商品コード』、『GTIN』コンボボックスの値が以下のように変更されます 全発注者共通 ⇒ 全発注者共通を選択した状態で登録した値のみをコンボボックスに表示 発注者指定 ⇒ 発注者指定コンボボックスで指定した発注者を選択した状態で登録した値のみをコンボボックスに表示 ※『商品コード』、『GTIN』コンボボックスに既に値が入力/選択されていた場合は、その値をクリアします 初期表示状態 ・選択可能な状態 ・“全発注者共通”が選ばれた状態
設定情報 ※④設定情報	・『登録区分』ラジオボタン(コンボボックス)、『商品コード』、『GTIN』コンボボックスに入力・選択した値に該当するデータを表示します 初期表示状態 ・全項目データ非表示、入力不可の状態

画面名	商品マスタメンテ
-----	----------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・[商品マスタメンテ]画面で作成した商品マスタデータ ・[商品マスタファイル入力]画面で入力した商品マスタデータ
---------	---

表示並び順	商品コード	商品コード(昇順)
	※②商品コード	
	GTIN	GTIN(昇順)
	※②商品コード	
	発注者指定	発注者コード(昇順)
	※③登録区分	

画面名	商品マスタメンテ
-----	----------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②商品コード	商品コード	商品コード(発注用)	半角文字	13			入力/選択	○	半角数字のみ	
2	②商品コード	GTIN	商品コード(GTIN)	半角文字	14			入力/選択	○	半角数字のみ	
3	③登録区分	発注者指定	発注者コード/ 発注者名称	半角文字/ 全角文字	2/15			選択	※		※発注者指定ラジオボタン が選択されている時は必須
4	④設定情報	商品名称(漢字)	商品名	全角文字	25			入力		全角のみ	
5	④設定情報	商品名称(カナ)	商品名カナ	半角文字	25			入力		半角のみ	
6	④設定情報	原価単価	原単価	数値	7	2	Z,ZZZ,ZZ9.99	入力	○	数値のみ	
7	④設定情報	売価単価	売単価	数値	7		Z,ZZZ,ZZ9	入力		数値のみ	
8	④設定情報	セット入数	発注単位	数値	3	1	ZZ9.9	入力	○	数値のみ	
9	④設定情報	色コード	カラーコード	半角文字	2			入力			
10	④設定情報	色名称(漢字)	カラー名称	全角文字	5			入力		全角のみ	
11	④設定情報	色名称(カナ)	カラー名称カナ	半角文字	7			入力			
12	④設定情報	サイズコード	サイズコード	半角文字	3			入力			
13	④設定情報	サイズ名称(漢字)	サイズ名称	全角文字	5			入力		全角のみ	
14	④設定情報	サイズ名称(カナ)	サイズ名称カナ	半角文字	5			入力			
15	④設定情報	作成日	登録日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			
16	④設定情報	更新日	更新日	日付/時刻	14		YYYY/MM/DD HH:MM:SS	不可			

画面名 自動採番マスタメンテ

画面内容

[電話受注入力]画面等で使用する伝票番号の自動採番マスタ設定を行います

画面レイアウト

①メニューボタン

自動採番マスタメンテ	
電話受注入力画面での自動採番を設定する画面です	
最小値	000001
最大値	999999
次回採番番号	000001
フォーマット	000000
チェックデジット	1:7DR

②入力項目

③表示項目

画面名	自動採番マスタメンテ
-----	------------

画面操作方法

◆自動採番マスタを設定する

- ①.『最小値』『最大値』『次回採番番号』『フォーマット』『チェックデジット』を入力/選択します
 - 『最小値』 : 採番番号の最小値を設定します
 - 『最大値』 : 採番番号の最大値を設定します
 - 『次回採番番号』 : 次回の電話受注入力時の採番番号を設定します
 - 『フォーマット』 : 伝票番号の桁数を設定します。桁数は0の数で設定します
 - 『チェックデジット』 : リストボックスより利用するチェックデジットを選択します
- ②.『保存』ボタンを押すことで設定した値を保存します

画面名	自動採番マスタメンテ
-----	------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
保存ボタン ※①メニューボタン ★F4ボタンで利用可能	・「入力項目」の入力/訂正された値を保存します ----- 初期表示状態 ・押下可能の状態
入力項目 ※②入力項目	・「自動採番マスタ」が未登録の場合は入力を行い新規作成、作成済の場合は訂正を行う ----- 初期表示状態 ・全項目空の状態、入力/選択は可能 ※「自動採番マスタ」が既に登録されている場合、該当データを表示
表示項目 ※③表示項目	・『フォーマット』に入力した表示形式で『最小値』『最大値』『次回採番番号』を表示します ※チェックデジットは表示されません 例)『最小値』=12、『フォーマット』=000000 の時は「000012」と表示します ----- 初期表示状態 ・入力不可の状態 ※「自動採番マスタ」が既に登録されている場合、該当データの表示形式を表示します

画面名	自動採番マスタメンテ
-----	------------

表示対象データ	当画面表示対象データは以下のデータになります ・自動採番マスタ
---------	------------------------------------

表示並び順		

画面名	自動採番マスタメンテ
-----	------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	②入力項目	最小値(左)	採番番号最小値	半角文字	7			入力	○	半角数字のみ	
2	②入力項目	最大値(左)	採番番号最大値	半角文字	7			入力	○	半角数字のみ	
3	②入力項目	次回採番番号(左)	次回採番番号	半角文字	7			入力	○	半角数字のみ	
4	②入力項目	フォーマット	採番番号フォーマット	半角文字	7			入力	○	半角数字のみ	
5	②入力項目	チェックデジット	チェックデジット	半角文字	1			選択			プルダウンから選択 1:7DR
6	③表示項目	最小値(右)	フォーマット形式の最小値	半角文字	7			不可			
7	③表示項目	最大値(右)	フォーマット形式の最大値	半角文字	7			不可			
8	③表示項目	次回採番番号(右)	フォーマット形式の次回採番番号	半角文字	7			不可			

画面名 商品マスタファイル入力

画面内容 商品マスタデータの外部ファイル入力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style application window titled '商品マスタファイル入力画面'. The window has a green header bar with a red '閉じる(F12)' button. Below the header is a section for 'ファイル形式' (File Format) with two radio buttons: 'CSV形式' (selected) and '固定長' (Fixed Length). Below this is a section for '入力ファイルパス' (Input File Path) with a text box containing 'C:\商品マスタ.csv' and a blue '参照' (Reference) button. At the bottom right is a grey button labeled '入力処理開始' (Start Input Processing). Red dashed boxes and numbers 1 through 4 point to these elements: 1 points to the window title bar, 2 points to the file format section, 3 points to the input file path section, and 4 points to the start input processing button.

①メニューボタン

②ファイル形式

③入力ファイルパス

④入力処理開始

画面名	商品マスタファイル入力
-----	-------------

画面操作方法

◆ 商品マスタデータをファイル入力する

- ①. 入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②. 入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します
- ③. ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が始まります

画面名	商品マスタファイル入力
-----	-------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル入力処理を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル入力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
入力ファイルパス ※③入力ファイルパス	・入力ファイルパスを入力します ※ファイルパスは絶対パスで入力してください ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『入力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル入力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③入力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『入力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
入力処理開始ボタン ※④入力処理開始	・「②ファイル形式」「③入力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル入力を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式、入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③入力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル入力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	商品マスタファイル入力
-----	-------------

ファイル入力 対象データ	ファイル入力対象データは以下になります ・新規商品マスタデータ ※ファイル入力は以下の項目をキーとして用います チェーンコード、発注者コード、発注者商品コード ◆「新規商品マスタデータ」「取込済み商品マスタデータ」の判断について◆ ・キー項目が全て一致するデータが存在しない入力データに関しては“新規商品マスタデータ”、 - キー項目が全て一致するデータが存在する入力データに関しては“取込済み商品マスタデータと判断します
-----------------	--

表示並び順		

画面名	商品マスタファイル入力
-----	-------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③入力ファイルパス	入力ファイルパス		半角/全角文字	256			入力	○		

画面名 納品先マスタファイル入力

画面内容 納品先マスタデータの外部ファイル入力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled '納品先マスタファイル入力'. It contains the following elements:

- ①メニューボタン**: A red square button in the top right corner labeled '閉じる(F12)' (Close (F12)).
- ②ファイル形式**: A section titled 'ファイル形式' (File Format) containing two radio buttons: 'CSV形式' (CSV Format) and '固定長' (Fixed Length).
- ③入力ファイルパス**: A text input field labeled '入力ファイルパス' (Input File Path) containing the text 'C:\納品先マスタ.csv'. To the right of the field is a blue button labeled '参照' (Reference).
- ④入力処理開始**: A large grey button at the bottom right labeled '入力処理開始' (Start Input Processing).

画面名	納品先マスタファイル入力
-----	--------------

画面操作方法

◆納品先マスタデータをファイル入力する

- ①.入力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②.入力ファイルパスを入力・もしくは『参照』ボタンから選択します
- ③.ファイル形式、入力ファイルパスの指定が終わったら、『入力処理開始』ボタンを押すことでファイル入力が始まります

画面名	納品先マスタファイル入力
-----	--------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル入力処理を行います ・ファイル入力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル入力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
入力ファイルパス ※③入力ファイルパス	・入力ファイルパスを入力します ※ファイルパスは絶対パスで入力してください ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『入力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル入力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③入力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『入力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
入力処理開始ボタン ※④入力処理開始	・「②ファイル形式」「③入力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル入力を行います ・ファイル入力処理と同時に入力ファイルパスの記憶を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③入力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル入力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	納品先マスタファイル入力
-----	--------------

ファイル入力 対象データ	ファイル入力対象データは以下になります ・新規納品先マスタデータ ※ファイル入力は以下の項目をキーとして用います チェーンコード、納品先コード、納品先GLN ◆「新規納品先マスタデータ」「取込済み納品先マスタデータ」の判断について◆ ・キー項目が全て一致するデータが存在しない入力データに関しては“新規納品先マスタデータ”、 - キー項目が全て一致するデータが存在する入力データに関しては“取込済み納品先マスタデータと判断します
-----------------	---

表示並び順		

画面名	納品先マスタファイル入力
-----	--------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③入力ファイルパス	入力ファイルパス		半角/全角文字	256			入力	○		

画面名 商品マスタファイル出力

画面内容 商品マスタデータの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

The screenshot shows a Windows-style application window titled '商品マスタファイル出力画面'. The window has a green header bar with a red '閉じる(F12)' button. Below the header is a section labeled 'ファイル形式' (File Format) containing two radio buttons: 'CSV形式' (selected) and '固定長' (Fixed Length). At the bottom, there is a text field for '出力ファイルパス' (Output File Path) containing 'C:\商品マスタ.csv', a '参照' (Reference) button, and a large '出力処理開始' (Start Output Processing) button. Red dashed boxes and numbers 1 through 4 point to specific UI elements: 1 points to the menu bar area, 2 points to the file format section, 3 points to the output file path section, and 4 points to the start output processing button.

①メニューボタン

②ファイル形式

③出力ファイルパス

④出力処理開始

画面名	商品マスタファイル出力
-----	-------------

画面操作方法

◆ 商品マスタデータをファイル出力する

- ①. 出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②. 出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ③. ファイル形式、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	商品マスタファイル出力
-----	-------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力ファイルパス ※③出力ファイルパス	・「②ファイル形式」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力処理開始ボタン ※④出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	商品マスタファイル出力
-----	-------------

表示/ファイル 出力対象データ	ファイル出力対象は以下のデータになります ・[商品マスタメンテ]画面にて作成した商品マスタデータ ・[商品マスタファイル入力画面]にて入力した商品マスタデータ
--------------------	---

表示並び順		

画面名	商品マスタファイル出力
-----	-------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力ファイルパス	出力ファイルパス		半角/全角文字	256			入力	○		

画面名 納品先マスタファイル出力

画面内容 納品先マスタデータの外部ファイル出力を行います

画面レイアウト

納品先マスタファイル出力

開じる(F12)

ファイル形式

☒ CSV形式

☐ 固定長

出力ファイルパス

C:\納品先マスタ.csv 参照

出力処理開始

①メニューボタン

②ファイル形式

③出力ファイルパス

④出力処理開始

画面名	納品先マスタファイル出力
-----	--------------

画面操作方法

◆納品先マスタデータをファイル出力する

- ①.出力するファイルの形式を『CSV形式』『固定長』から選択します
- ②.出力ファイルパスを入力、もしくは『参照』ボタンから選択します
- ③.ファイル形式、出力ファイルパスの指定が終わったら、『出力処理開始』ボタンを押すことでファイル出力が開始されます

画面名	納品先マスタファイル出力
-----	--------------

機能一覧	
機能名称	機能説明
閉じるボタン ※①メニューボタン ★F12ボタンで利用可能	・当該画面を終了し、マスタメンテナンス業務画面に戻ります ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
ファイル形式 ※②ファイル形式	・ラジオボタンにて選択した形式にてファイル出力処理を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式の保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『ファイル形式』ラジオボタンに前回ファイル出力処理を行ったファイル形式を自動選択します ----- 初期表示状態 ・『CSV形式』ラジオボタンが選択されている状態 ※ラジオボタンは『CSV形式』『固定長』が選択可能な状態
出力ファイルパス ※③出力ファイルパス	・「②ファイル形式」『出力ファイルパス』テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時に出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、『出力ファイルパス』テキストボックスに前回ファイル出力処理を行ったファイルパスを自動表示します ----- 初期表示状態 ・入力可能な状態
参照ボタン ※③出力ファイルパス	・「名前を付けて保存」画面を表示し、入力/選択したファイルパスを『出力ファイルパス』テキストボックスに自動的に入力します ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態
出力処理開始ボタン ※④出力処理開始	・「②ファイル形式」「③出力ファイルパス」テキストボックスにて指定した条件でファイル出力を行います ・ファイル出力処理と同時にファイル形式、出力ファイルパスの保存を行います 次回、当該画面を開いた時に、「②ファイル形式」のラジオボタン、「③出力ファイルパス」テキストボックスを、前回ファイル出力時の状態にします ----- 初期表示状態 ・押下可能な状態

画面名	納品先マスタファイル出力
-----	--------------

表示/ファイル 出力対象データ	ファイル出力対象は以下のデータになります ・[納品先マスタメンテ]画面にて作成した納品先マスタデータ ・[納品先マスタファイル入力画面]にて入力した納品先マスタデータ
--------------------	---

表示並び順		

画面名	納品先マスタファイル出力
-----	--------------

画面項目内容											
No	表示 グループ	タイトル名	表示内容(BMS項目名)	型	最大桁数		表示形式	入力			備考
					整数	小数		形式	必須	チェック	
1	③出力ファイルパス	出力ファイルパス		半角/全角文字	256			入力	○		